（案）

ジノテフラン
農薬使用者安全評価書

２０２６年９月１７日

農業資材審議会農薬分科会

農薬使用者安全評価部会

目　次

＜経緯＞ 2
＜農薬使用者安全評価部会出席者名簿＞ 2
Ⅰ．評価対象農薬の概要 3
1．有効成分の概要 3
2．有効成分の物理的・化学的性状 4
3．申請に係る情報 5
4．作用機作 5
5．適用病害虫雑草等の範囲及び使用方法 5
Ⅱ．安全性に係る試験の概要 6
1．経口吸収率 6
2．毒性試験の結果概要 10
3．公表文献における研究結果（資料 48、49、50） 11
3.1　ヒトにおける知見 14
3.1.1　疫学研究 14
3.1.2　その他の情報（バイオモニタリング） 16
Ⅲ．農薬使用者暴露許容量（AOEL） 18
Ⅳ．急性農薬使用者暴露許容量（AAOEL） 22
Ⅴ．暴露量の推計 24
1．経皮吸収試験 24
2．圃場における農薬使用者暴露 29
3．暴露量の推計 29
Ⅵ．リスク評価結果 29
評価資料 30

＜経緯＞

令和4年（2022年）12月14日	農業資材審議会への諮問（再評価）
令和8年（2026年）9月17日	農業資材審議会農薬分科会農薬使用者安全評価部会（第27回）

＜農薬使用者安全評価部会出席者名簿＞

（第 27 回）

（委員）	（臨時委員）	（専門委員）	（専門参考人）
櫻井　裕之	天野　昭子	相﨑　健一	小坂　忠司
		石井　雄二	
		藤堂　浩明	
		成田　伊都美	
		元村　淳子	

ジノテフラン

Ⅰ．評価対象農薬の概要

1.　有効成分の概要

1.1　申請者　　三井化学クロップ＆ライフソリューション株式会社

1.2　登録名　　ジノテフラン
(*RS*)-1-ﾒﾁﾙ-2-ﾆﾄﾛ-3-(ﾃﾄﾗﾋﾄﾞﾛ-3-ﾌﾘﾙﾒﾁﾙ)ｸﾞｱﾆｼﾞﾝ

1.3　一般名　　dinotefuran（ISO）

1.4　化学名

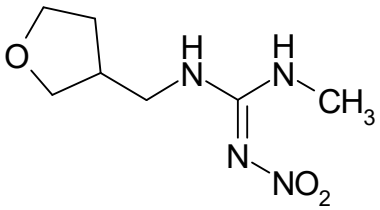
IUPAC 名：　　(*EZ*)-(*RS*)-1-methyl-2-nitro-3-[(tetrahydro-3-furyl)methyl] guanidine

CAS 名　：　　*N*-methyl-*N*'-nitro-*N*''-[(tetrahydro-3-furanyl)methyl] guanidine
（CAS No. 165252-70-0）

1.5　分子式、構造式、分子量

分子式　　$C_7H_{14}N_4O_3$

構造式



分子量　　202.22

2. 有効成分の物理的・化学的性状

<table>
<tr><th colspan="3">試験項目</th><th>純度(%)</th><th>試験方法</th><th>試験結果</th></tr>
<tr><td colspan="3">蒸気圧</td><td>99.7</td><td>OECD 104</td><td><1.7 × 10^{-6} Pa (30 ℃)
<1.8 × 10^{-6} Pa (40 ℃)
<2.1 × 10^{-6} Pa (50 ℃)</td></tr>
<tr><td colspan="3">融点</td><td>99.7</td><td>OECD 102</td><td>108 ℃</td></tr>
<tr><td colspan="3">沸点</td><td>99.7</td><td>OECD 103</td><td>測定不能(208.3 ℃で分解)</td></tr>
<tr><td colspan="3">熱安定性</td><td>99.7</td><td>OECD 113</td><td>150 ℃まで安定</td></tr>
<tr><td rowspan="10">溶解度</td><td colspan="2">水</td><td>99.7</td><td>OECD 105</td><td>39.8 g/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td rowspan="9">有機溶媒</td><td>ヘキサン</td><td rowspan="9">99.7</td><td rowspan="9">OECD 105</td><td>0.0090 mg/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td>ヘプタン</td><td>0.0105 mg/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td>キシレン</td><td>71.8 mg/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td>トルエン</td><td>149 mg/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td>ジクロロメタン</td><td>60.9 g/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td>アセトン</td><td>57.8 g/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td>メタノール</td><td>57.2 g/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td>エタノール</td><td>19.4 g/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td>酢酸エチル</td><td>5.17 g/L (20 ℃)</td></tr>
<tr><td colspan="3">解離定数
(pK_a)</td><td>99.7</td><td>OECD 112</td><td>12.6 (20 ℃)</td></tr>
<tr><td colspan="3">1-オクタノール／水分配係数
($\log P_{ow}$)</td><td>99.7</td><td>OECD 107</td><td>-0.549 (25 ℃)</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">加水分解性</td><td>99.6</td><td>OECD 111</td><td>安定（25 ℃、60日間、pH 4、7及び9)</td></tr>
<tr><td>99.5</td><td>OECD 111</td><td>安定（50 ℃、5日間、pH 4、7及び9)</td></tr>
<tr><td colspan="3">水中光分解性</td><td>99.6</td><td>9 農産第 5089 号</td><td>半減期 3.8 時間(滅菌精製水、25 ℃、400 W/m^2、300～800 nm)</td></tr>
<tr><td colspan="3">紫外可視吸収
(UV/VIS)
スペクトル</td><td>99.7</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th>極大吸収波長
(nm)</th><th>吸光度</th><th>モル吸光係数
(L mol^{-1} cm^{-1})</th></tr>
<tr><td colspan="3">中性</td></tr>
<tr><td>206
269</td><td>0.672
1.30</td><td>6460
12500</td></tr>
<tr><td colspan="3">酸性</td></tr>
<tr><td>268</td><td>1.05</td><td>12600</td></tr>
<tr><td colspan="3">アルカリ性</td></tr>
<tr><td>268</td><td>0.887</td><td>10700</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

3. 申請に係る情報

令和 4 年（2022 年）3 月 11 日～3 月 30 日に、再評価を受けるべき者から農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）第 8 条第 3 項に基づく試験成績等を受理した。

ジノテフランは、令和 8 年（2026 年）9 月現在、米国等の国々で登録されている。

4. 作用機作

ジノテフランはネオニコチノイド系化合物であり、昆虫神経のシナプス後膜のニコチン性アセチルコルン受容体に作用し、シナプス伝達の遮断を起こし、殺虫作用を示す。

（IRAC 分類：4A※）

※参照：https://irac-online.org

5. 適用病害虫雑草等の範囲及び使用方法

評価対象となるジノテフランを含有する農薬 80 製剤について、適用病害虫雑草等の範囲及び使用方法を別添 1 に示す。

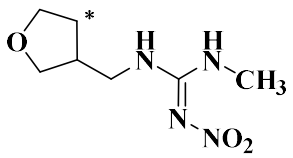
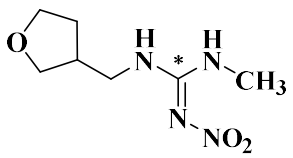
Ⅱ．安全性に係る試験の概要

ジノテフランは、令和 8 年（2026 年）7 月 29 日、内閣府食品安全委員会において、食品健康影響評価（資料 1）がなされている。食品安全委員会では評価に用いた試験成績において、過去のテストガイドラインに基づき実施されている試験も確認されたが、ジノテフランの代謝・毒性プロファイルを適切に把握できることから、評価は可能と判断されている。

1．経口吸収率

ジノテフランのテトラヒドロフラン環 4 位の炭素を ^{14}C で標識したもの（以下「[tet-^{14}C]ジノテフラン」という。）、ジノテフランのグアニジンの炭素を ^{14}C で標識したもの（以下「[gua-^{14}C]ジノテフラン」という。）（表 1）を用いた動物代謝試験による動物体内への吸収率（経口吸収率）の概要をまとめた。

表 1　標識化合物

略称	[tet-^{14}C]ジノテフラン	[gua-^{14}C]ジノテフラン
構造式		
標識位置	テトラヒドロフラン環4位の炭素を標識	グアニジンの炭素を標識

① ラット（資料 2、GLP）（資料 3、非 GLP）

SD ラットを用いた動物代謝試験が実施された。

試験条件の概要は表 2 に示されている。

表 2　ラットにおける動物代謝試験条件の概要

試験区分	①	②	③	④
標識体	[tet-^{14}C]ジノテフラン及び [gua-^{14}C]ジノテフランの等量混合物		[tet-^{14}C] ジノテフラン	[gua-^{14}C] ジノテフラン
投与量	50 mg/kg 体重	1,000 mg/kg 体重	200 mg/kg 体重	200 mg/kg 体重
投与経路	経口			
投与回数	1	1	1	1
動物/群	雌雄 各 3～5	雌雄 各 3～5	雄 1～3	雄 1～3

a. 尿及び糞中排泄－1（資料 2、GLP）

①及び②の各試験における尿及び糞中排泄率は表 3 に示されている。いずれの試験においても、投与放射能は主に尿中に排泄された。

投与後 24 時間で、尿中に 84.3%TAR～98.9%TAR が排泄され、投与後 168 時間で、尿中に 87.7%TAR～99.8%TAR、糞中に 1.19%TAR～2.39%TAR が排出された。

表 3　投与後 168 時間における尿及び糞中排泄率（%TAR）

試験区分	①		②	
投与量	50 mg/kg 体重		1,000 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌
尿	98.9	99.8	90.1	87.7
糞	1.66	1.19	2.15	2.39
ケージリンス [a]	0.49	0.15	1.04	1.61
ケージ洗浄液	0.38	0.24	0.54	0.85
ケージ拭き取り	0.46	0.23	0.94	0.21
カーカス及び組織	0.06	0.08	0.10	0.06
経口吸収率 [b]	100	101	92.7	90.4
総回収率	102	102	94.9	92.8

表の値は 5 匹の平均値
[a]：投与 24 時間後に回収した。
[b]：尿、ケージリンス、ケージ洗浄液、ケージ拭き取り並びにカーカス及び組織の合計

b.　尿及び糞中排泄－２（資料 3、非 GLP）

③及び④の各試験における尿及び糞中排泄率は表 4 に示されている。

投与放射能は主に尿中に排泄され、投与後 120 時間で 93%TAR 以上が尿中に排泄された。糞中への排泄は 5%TAR で、標識位置による差は認められなかった。

表 4　投与 120 時間後の尿及び糞中排泄率（%TAR）

試験区分	③	④
標識体	[tet-^{14}C]ジノテフラン	[gua-^{14}C]ジノテフラン
投与量	200 mg/kg 体重	
尿	93.2	98.6
糞	5.19	4.99
経口吸収率 [a]	93.2	98.6
総回収率	98.4	104

表の値は雄 1 匹における測定値
[a]：尿の値

c.　胆汁中排泄－１（資料 2、GLP）

試験①及び②の条件で、胆管カニューレを挿入した SD ラット（一群雌雄各 4 匹）を用いた胆汁中排泄試験が実施された。

投与後 48 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率並びに動物体残存率は表 5 に示されている。

投与後 48 時間の胆汁中への排泄は 0.58%TAR～0.88%TAR であり、尿中

への排泄は 85.2%TAR～94.7%TAR、糞中への排泄は 1.08%TAR～1.34%TAR であった。

本試験より得られた胆汁、尿、ケージリンス、ケージ洗浄液及びケージ拭き取りの合計より、単回投与後 48 時間の吸収率は 50 mg/kg 体重投与群で 97.4～98.0%、1,000 mg/kg 体重投与群で 93.0～95.0%であると算出された。なお、動物体については、消化管内容物が含まれている可能性があり、吸収されたか不明であったため、吸収率の計算には含めなかった。

表 5　投与後 48 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率並びに動物体残存率（%TAR）

試験	①		②	
投与量	50 mg/kg 体重		1,000 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌
胆汁	0.62	0.58	0.78	0.88
尿	94.7	90.9	85.2	90.3
糞	1.08	1.21	1.33	1.34
動物体	0.39	0.51	0.38	2.43
ケージリンス [a]	0.63	2.36	1.15	1.42
ケージ洗浄液	0.65	2.20	1.27	1.63
ケージ拭き取り	1.42	1.39	4.62	0.78
経口吸収率 [b]	98.0	97.4	93.0	95.0
総回収率	99.5	99.2	94.7	98.8

動物体：排泄物の最終採取後のと体
表の値は 50 mg/kg 体重投与群は 4 匹、1,000 mg/kg 体重投与群は 3 匹の平均値
[a]：投与 24 時間後に回収した。
[b]：胆汁、尿、ケージリンス、ケージ洗浄液及びケージ拭き取りの合計

d.　胆汁中排泄－２（資料 3、非 GLP）

試験③及び④の条件で、胆管カニューレを挿入した SD ラット（一群雄 3 匹）を用いた胆汁中排泄試験が実施された。

投与後 48 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率は表 6 に示されている。

投与後 48 時間の胆汁への排泄は、0.63%TAR～0.82%TAR であり、排泄における胆汁経路の関与は僅かと考えられた。

本試験より得られた胆汁及び尿の合計より、単回投与後 48 時間の吸収率は 200 mg/kg 体重投与群で 98.7～101%であると算出された。

表 6　投与後 48 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率（%TAR）

試験	③	④
標識体	[tet-^{14}C]ジノテフラン	[gua-^{14}C]ジノテフラン
投与量	200 mg/kg 体重	
胆汁	0.82	0.63
尿	97.9	99.9
糞	3.10	3.46
経口吸収率 [a]	98.7	101
総回収率	102	104

表の値は雄 3 匹の平均値

[a]：胆汁及び尿の合計

2. 毒性試験の結果概要

各種毒性試験（資料 4～47）の結果は、資料 1（食品安全委員会農薬評価書）の II.安全性に係る試験の概要を参照した。

ジノテフランの急性経口毒性試験の LD_{50} はラットで 2,000 mg/kg 体重、マウスで 2,280 mg/kg 体重であった。経皮、吸入のいずれの投与経路においても急性毒性は弱く（LD_{50}（経皮）: >2,000 mg/kg 体重、LC_{50}（吸入）: >4.09 mg/L）、皮膚及び眼に対して軽度の刺激性が認められ、皮膚感作性は陰性であった。

ジノテフラン投与による影響は主に体重（増加抑制）に認められた。発がん性、神経毒性、発達神経毒性、繁殖能に対する影響、催奇形性、遺伝毒性、免疫毒性及び発達免疫毒性は認められなかった。

疫学研究について、ジノテフランの食品を通じた摂取に係る健康影響への懸念を示す知見はなかった。

イヌの 90 日間反復経口投与毒性試験において、雌で無毒性量が設定できなかったが、より低い用量でより長期に実施されたイヌの 1 年間反復経口投与毒性試験で雌の無毒性量が得られており、イヌの雌における無毒性量の設定は可能であると考えられた。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量及び最小毒性量のうち最小値は、イヌを用いた 1 年間反復経口投与毒性試験の無毒性量 22 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として安全係数 100 で除した 0.22 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。

また、ジノテフランの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量及び最小毒性量のうち最小値は、ウサギを用いた発生毒性試験②の無毒性量 125 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 1.2 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

3. 公表文献における研究結果（資料 48、49、50）

表 7 に示すデータベース［Web of Science（Core Collection）及び J-STAGE］を用いて、それぞれ 2006 年 7 月 1 日～2021 年 7 月 3 日を検索対象期間として、有効成分名及びジノテフランを含む製剤名をキーワードとして公表文献を検索し、評価対象となる影響、評価対象の生物種等についてガイドライン[1]で定めるキーワードで絞り込みが行われた。

その結果、全文に基づく適合性評価の対象となったヒトに対する毒性の分野（動物を用いた研究、疫学研究等）に該当するとして収集された公表文献 1,670 報（データベース間等での重複を含む。）のうち、評価の目的と適合するものとして 16 報の公表文献が提出された。

海外評価機関が作成した評価書中に引用されている公表文献のうち、ヒトに対する毒性の分野に該当する公表文献は 1 報であった。

公表文献に関する情報募集等からの情報提供により、公表文献 8 報（公表文献検索による収集との重複を含む。）が追加された。また、2026 年 4 月 8 日～5 月 7 日にジノテフランに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）に対して実施した国民からの意見・情報の募集により、公表文献 2 報が追加された。

以上から、疫学以外については 12 報、疫学については 11 報の公表文献が選択された。評価目的との適合性等の観点から、さらに本部会で検討[2]した結果、疫学について公表文献 9 報（II.3.1）を評価に使用する公表文献と判断した。

---

[1] 公表文献の収集、選択等のためのガイドライン（令和 3 年 9 月 22 日 農業資材審議会農薬分科会決定、令和 5 年 7 月 27 日一部改正）

[2] 「農業資材審議会農薬分科会農薬使用者安全評価部会での公表文献の取扱いについて（令和 4 年 9 月 2 日 農業資材審議会農薬分科会農薬使用者安全評価部会決定）」に基づく検討。

表 7　ジノテフランに関する公表文献の検索結果

データベース名	Web of Science(Core Collection) [a]
検索対象期間	2006/7/1～2021/7/3
データベース名	J-STAGE
検索対象期間	2006/7/1～2021/7/3
検索結果（全データベースの検索結果を統合したもの）	
対象とする農薬名で検索抽出した総論文数	7,092[b]
ヒトに対する毒性の分野の論文数	1,670[bc]
全文に基づく適合性評価の対象となったヒトに対する毒性の分野の論文数	26
全文に基づく適合性評価の結果、評価の目的と適合するとした文献数	16
調査対象とした海外評価書	EFSA等評価書[d]
評価書に引用されたヒトに対する毒性の分野の文献数	1

[a]：令和 5 年 7 月に文献ガイドラインが一部改正されたため、改正後の文献ガイドラインに照らし、追加で Web of Science（Core Collection）を用いた収集を実施。
[b]：データベース間等での重複あり
[c]：他の評価分野との重複あり
[d]：調査対象とした評価書は下記のとおり

- ECHA (2014): Biocidal Products Committee (BPC) Opinion on the application for approval of the active substance: Dinotefuran, Product type: 18. ECHA/BPC/006/2014
- UK (2014): Regulation (EU) No 528/2012 assessment report dinotefuran, producttype 18 (insecticides, acaricides and to control other arthropods), dated 17 June 2014
- Anonymous (2012): White paper in support of the proposed risk assessment process for Bees. Office of Chemical Safety and Pollution Prevention. Docket number EPA-HQ-OPP-2012-0543-0004, date September 2012
- Anonymous (2020): NTP Research report on the scoping review of potential human health effects associated with exposure to neonicotinoid pesticides. US Department of Health and Human Services, dated September 2020
- EPA (2004): Pesticide Fact Sheet: Dinotefuran, dated September 2004
- EPA (2011a): Registration Review: Problem formulation for environmental fate, ecological risk, endangered species, and drinking water exposure assessments for dinotefuran. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920-0005, dated December 2011
- EPA (2011b): Dinotefuran summary document registration review: Initial docket December 2011. Case number 7441. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920, dated January 2020
- EPA (2012a): Guidance for considering and using open literature toxicity studies to support human health risk assessment. Office of Pesticide Programs, U.S. Environmental Protection Agency
- EPA (2012b): Dinotefuran: Human health risk assessment for proposed section 3 uses on rice and food/feed handling establishments, and new horse Spot-On and Total Release Fogger Products. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0903-0005, dated August 2012
- EPA (2016): Office of pesticide programs′ framework for incorporating human epidemiologic & incident data in risk assessments for pesticides. Office of Pesticide Programs, U.S. Environmental Protection Agency
- EPA (2017a): Draft assessment of the potential effects of dinotefuran on bees. Docket number

EPA-HQ-OPP-2011-0920-0014, dated January 2017
・EPA (2017b): Preliminary ecological risk assessment (excluding terrestrial invertebrates) for the registration review of dinotefuran. Docket number EPA-HQOPP-2011-0920-0616, dated November 2017
・EPA (2017c): Dinotefuran: Registration review drinking water assessment. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920-0615, dated June 2017
・EPA (2017d): Preliminary ecological risk assessment (excluding terrestrial invertebrates) for the registration review of dinotefuran. Docket number EPA-HQOPP-2011-0920-0616, dated November 2017
・EPA (2017e): Dinotefuran: Human health draft risk assessment for registration review. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920-0620, dated September 2017
・EPA (2017f): Dinotefuran: Occupational and residential exposure assessment for registration review. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920-0621, dated September 2017
・EPA (2017g): Response to public comments submitted on the Environmental Protection Agency′s proposal to mitigate exposure to bees from acutely toxic pesticide products. Docket number EPA-HQ-OPP-2014-0818-0478, January 2017
・EPA (2019): Open literature review summary of Raby et al. (2018) [chronic] toxicity data. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0865-1168, dated July 2019
・EPA (2020a): Dinotefuran: Proposed interim registration review decision. Case number 7441. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920, dated January 2020
・EPA (2020b): Comparative analysis of aquatic invertebrate risk quotients generated for neonicotinoids using Raby et al. (2018) toxicity data. Docket number EPA-HQ-OPP-2008-0844-1623, dated January 2020
・EPA (2020c): Attachment 2 to the neonicotinoid final bee risk assessments. Residue bridging analysis of foliar and soil agricultural uses of neonicotinoids. Docket number EPA-HQ-OPP-2008-0844-1628, dated January 2020
・EPA (2020d): Attachment 3 to the neonicotinoid final bee risk assessments. Residue bridging analysis for foliar and soil non-agricultural uses of neonicotinoids. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0581-0376, January 2020
・EPA (2020e): EFED response to public comments common to the preliminary bee and preliminary non-pollinator registration review risk assessments across the four neonicotinoid pesticides (imidacloprid, thiamethoxam, clothianidin, and dinotefuran). Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0581-0373, dated January 2020
・EPA (2020f): Final bee risk assessment to support the registration review of dinotefuran. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920-0761, dated January 2020
・EPA (2020g): Response to comments regarding the draft bee and non-bee ecological risk assessments for the registration review of dinotefuran. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920-0762, dated January 2020
・EPA (2017h): Dinotefuran: Tier I update review of human incidents and epidemiology for draft risk assessment. Docket number EPA-HQ-OPP-2011-0920-0619, dated July 2017
・FAO/WHO (2012): Summary report from the 2012 Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues (JMPR)

3.1　ヒトにおける知見

3.1.1　疫学研究

提出された疫学研究に該当する文献について、ジノテフランへの暴露と健康影響との関連について検討した。

健康関連の事象（疾病等）との関連が検討された主な文献は、腎尿細管機能不全 1 報、思春期早発症 1 報、子宮内胎児発育不全 1 報及び歯周病 1 報であった。

また、ジノテフラン暴露の把握方法としては、生体試料（尿、歯又は血液）中の濃度が 4 報であった。

①　腎尿細管機能不全との関連

原因不明の慢性腎疾患が増加しているスリランカの北中部乾燥地帯の 2 地域において、2015 年に慢性腎臓病患者 15 人、その健康な家族 15 人及び健康な近隣住民 62 人を対象に、尿中ジノテフラン濃度と神経心理学的症状等との関連が記述研究により検討された。

ジノテフランは、尿検体の 17.4%から検出された。クレアチニン補正後の尿中ジノテフラン濃度に有意差は認められなかった。指の振戦を訴えた対象者は 13 人（14.3%）で、尿中ジノテフラン濃度が有意に高く、慢性腎臓病患者が有意に多かった。腎尿細管バイオマーカーである尿中シスタチン C 濃度が高いグループ（> 70 μg/gCre）と定量限界未満のグループでは、正常濃度のグループに比べてクレアチニン補正後の尿中ジノテフラン濃度が有意に高く、ジノテフランが腎尿細管機能障害のリスク因子の一つである可能性が示唆された。

本研究は、サンプルサイズが小さいこと、参加者の農薬暴露履歴が十分に調査されていないこと、対照の地域が設定されていないことの限界があると考えられた。（資料 51）

②　思春期早発症との関連

韓国ソウル特別市のセヴェランス小児病院において、2015 年 12 月～2017 年 1 月に患児群として思春期早発症患者女児 30 人と、対照群として正常思春期前女児 30 人を対象とした症例対照研究が実施された。それら女児の臨床特性（年齢、身長、体重、BMI、黄体形成ホルモン値、卵胞刺激ホルモン値、エストラジオール値、骨年齢）及びジノテフランを含む 320 種の農薬の尿中濃度が評価された。

患児群のうち 1 人（3.3%）、対照群のうち 2 人（6.7%）でジノテフランが検出され、統計学的有意差は認められなかった。本研究では、農薬と思春期

早発症に深い関連は認められなかった。

本研究は、症例及び対照群の選定過程において選択バイアスが生じた可能性があること、サンプルサイズが小さいこと等の限界があると考えられた。（資料 52）

③　胎児発育不全との関連

中国広西チワン族自治区において実施された出生コホートの参加者のうち、2015 年 8 月～2018 年 12 月の研究期間に、自然妊娠で、妊娠 13 週までに妊婦健診を受け、空腹時の血液が採取され、正期産で出産した妊婦とその新生児のペア 1,483 組（胎児発育不全[3]児 387 組、及び 1 対 3 でマッチングされた正常児 1,096 組）を対象に、血清中ジノテフラン濃度と胎児発育不全との関連がコホート内症例対照研究により検討された。

母親の年齢、妊娠前の BMI、妊娠中の身体活動、受動喫煙、妊娠合併症、児の性別、他のネオニコチノイド系農薬等について調整が行われたところ、ジノテフラン暴露と胎児発育不全との間に正の関連が認められた（オッズ比[4]：1.93、95%CI：1.69～2.20）。

本研究は、妊娠中の測定が 1 回のみであったこと、残余交絡の可能性があること等の限界があると考えられた。（資料 53）

④　歯周病との関連

中国において、2019 年 5～10 月に虫歯でない第 3 大臼歯が収集された歯周病患者群 71 人及び歯周病のない対照群 56 人を対象に、第 3 大臼歯中の農薬濃度と歯周病との関連が症例対照研究により検討された。

第 3 大臼歯中のジノテフランの濃度と歯周病との間に有意な正の関連は認められなかった（年齢・性別調整後オッズ比：0.89、95%CI：0.77～1.59、trend p>0.05）。

本研究には、サンプルサイズが大きくないことの限界があると考えられた。（資料 54）

これらの疫学研究のうち、一部の研究では、ジノテフラン暴露と事象（疾病等）との間に統計学的に有意な正の関連が認められたが、暴露量の推定において用いられている情報が限定的であること、同一の事象（疾病等）についての研究が複数存在せず結果の一致性を確認できないこと等の理由から、いずれの事象（疾病等）についても、ジノテフラン暴露との明確な関連を示

[3] 新生児体重が、中国における同一妊娠週数での出生児体重の 10 パーセンタイル未満
[4] ジノテフラン濃度の自然対数の 1 標準偏差増加当たりのオッズ比

す科学的知見は不十分であると判断した。

3.1.2　その他の情報（バイオモニタリング）

ヒトにおける動態及びバイオモニタリング研究の論文として、トキシコキネティクス関連 1 報を含む 5 報についてその概要を表 8 にまとめた。まとめるにあたり、欧州食品安全機関（EFSA）で採用されているバイオモニタリング試験の信頼性評価基準[5,6]に基づき信頼性を評価し、スコアー2 以下を目安として採用した。

提出された論文はいずれも、ヒトにおける尿中濃度等の測定又はトキシコキネティクス解析を目的としたものであり、健康事象との関連は報告されていなかった。また、個々の被験者について実際の暴露量と健康影響との関係を評価できる情報は得られなかったことから、現時点では報告された健康事象（3.1.1）と統合して AOEL 又は AAOEL の設定に資する解析を行うことは困難であると考えられた。

[5] EFSA PPR Panel, 2017. Scientific Opinion of the PPR Panel on the follow-up of the findings of the External Scientific Report ‘Literature review of epidemiological studies linking exposure to pesticides and health effects’. EFSA Journal 15(10), 5007, 101 pp. https://doi.org/10.2903/j.efsa.2017.5007

[6] RPA, HSL, IEH, 2017. Human biomonitoring data collection from occupational exposure to pesticides - Final Report, EFSA supporting publication 2017:EN-1185. 207pp

表 8　ジノテフランのヒトにおける動態研究

研究	被験者	分析試料	報告された有効成分及び代謝物に関するデータ
Osaka, et al. (2016) （資料 63）	都市郊外在住小児 223 人 (3 歳；男児 108 人、女児 115 人) （日本）	・尿試料 （夏期(2012)及び冬期(2013)に尿を採取）	・ジノテフランの検出率は 57.8% ・尿中濃度：ジノテフラン ：3.11 μg/g クレアチニン（中央値） :25.66 μg/g クレアチニン(95%ile 値) ・EFSA 信頼性基準スコアー：2
Ueyama, et al. (2015) （資料 64）	都市在住成人 17～20 人/年、 計 95 人 (45～75 歳；女性) （日本）	・尿試料 （1994、2000、2003、2009、2011 年に採取）	・ジノテフランは 2003 年、2009 年及び 2011 年に検出された。 ・尿中濃度：ジノテフラン (2003 年) ：<LOD（中央値） ：0.2 μg/g クレアチニン（90%ile 値） (2009 年) ：0.5 μg/g クレアチニン（中央値） ：10.2 μg/g クレアチニン（90%ile 値） (2011 年) ：1.8 μg/g クレアチニン（中央値） ：14.0 μg/g クレアチニン（90%ile 値） ・EFSA 信頼性基準スコアー：2
Oya, et al. (2021) （資料 65）	都市郊外在住小児 1,036 名(16-23 か月、男児 530 人、女児 506 人) （日本）	・尿試料 （紙おむつ中に蓄尿した尿を採取）	・ジノテフランの検出率は 45.8% ・尿中濃度：ジノテフラン ：< LOD（中央値） ：38.8 μg/g クレアチニン（95%ile 値） ・EFSA 信頼性基準スコアー：2
Ueyama, et al. (2014) （資料 66）	都市在住成人 52 人（男性 41 人、女性 11 人、平均年齢 40.9 歳、非職業暴露） （日本）	・尿試料（早朝尿）	・ジノテフランの検出率は 100% ・尿中濃度：ジノテフラン ：2.3 μg/L（中央値） ：18.3 μg/L（95%ile 値） ・EFSA 信頼性基準スコアー：2
Harada, et al. (2016) （資料 67）	①成人 9 人 （標識体単回経口投与し、尿中濃度を測定。推移から薬物動態モデルのパラメータを算出。） ②成人 12 人 （マイクロドーズ試験でモデルを検証） ③成人 373 人 （TK モデルを用いた一般日本人集団によるジノテフランの食品からの摂取量を評価） （日本）	①尿試料 （標識体単回経口投与（5μg/人）後 24 時間ごとに尿を 4 日間採取） ②尿試料 （①で作成したモデルの検証のため、尿中の代謝物を分析） ③尿試料 （尿中濃度からジノテフランの食品からの摂取量を推定）	・投与後 96 時間でジノテフラン（未変化体）の 92.8%が尿中に排泄。 ・尿中排泄量：ジノテフラン ：1.02 μg/日（中央値） ：8.63 μg/日（90%ile 値） ・24 時間ごとの尿中排泄量の推移から、ジノテフランについて 1 コンパートメント排泄動態モデルでパラメータを導出 r = 0.899 r は摂取量のうち未変化体として尿中に排泄される割合を示し、ジノテフランの大部分が未変化体として尿中に排泄されることが示された。 ・日本人成人 373 人の尿中濃度から、ジノテフランの平均 1 日摂取量は 3.66 μg/日と推定され、最大推定摂取量 64.5 μg/日も ADI の 1%未満であった。 ・EFSA 信頼性基準スコアー：2

Ⅲ．農薬使用者暴露許容量（AOEL）

急性毒性試験、28 日間反復経皮投与毒性試験及び 28 日間反復吸入毒性試験の結果において、経皮又は吸入経路特異的な毒性は見られなかったこと及び農薬としての使用方法から、ジノテフランの農薬使用者暴露許容量（AOEL）の設定に当たっては、経皮又は吸入経路特異的な毒性を考慮する必要はないと判断した。また、疫学研究については、ジノテフランの農薬使用を通じた暴露を適切に特定し健康影響との関連を評価できる知見は得られなかった。よって経口投与による短期毒性試験、生殖・発生毒性試験及び神経毒性試験の結果に基づき AOEL を設定する（表 10）。

イヌを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験において、雌の 58 mg/kg 体重/日投与群で認められた体重増加抑制等により、雌の無毒性量が設定できなかった（58 mg/kg 体重/日未満）が、より低用量で長期間実施されたイヌを用いた 1 年間反復経口投与毒性試験では、雌の無毒性量として 22 mg/kg 体重/日が得られている。

各試験で得られたジノテフランの無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた 1 年間反復経口投与毒性試験の雌における体重増加抑制に基づく無毒性量 22 mg/kg 体重/日であったことから、これを AOEL の設定根拠とすることが妥当と判断した。

また、最小の無毒性量に近い投与量におけるラットを用いた動物代謝試験の経口吸収率は、胆汁中排泄試験の 50 mg/kg 体重投与群の 97.4～98.0%であり（表 9）、80%を超えることから、AOEL の設定に当たっては、経口吸収率による補正は必要ないと判断した。

表 9　ジノテフランを単回経口投与した場合の経口吸収率（%）

投与量	50 mg/kg体重		200 mg/kg体重		1,000 mg/kg体重	
性別	雄	雌	雄	雄	雄	雌
経口吸収率（%）	98.0	97.4	98.7	101	93.0	95.0
総回収率（%）	99.5	99.2	102	104	94.7	98.8

表の値は 50 mg/kg 体重投与群は 4 匹、それ以外は 3 匹の平均値

以上の結果から、イヌを用いた 1 年間反復経口投与毒性試験の無毒性量 22 mg/kg 体重/日を安全係数 100 で除した 0.22 mg/kg 体重/日を農薬使用者暴露許容量（AOEL）と設定した。

AOEL	0.22 mg/kg 体重/日
（AOEL 設定根拠試験）	1 年間反復経口投与毒性試験
（動物種）	イヌ
（期間）	1 年間
（投与方法）	混餌
（無毒性量）	22 mg/kg 体重/日
（毒性所見）	雌：体重増加抑制
（安全係数）	100
（経口吸収率）	補正しない

表 10　AOEL の設定に関連する毒性影響等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	NOAEL (mg/kg 体重/日)	LOAEL (mg/kg 体重/日)	AOEL 設定に関連する エンドポイント*
ラット	90 日間 反復経口 投与毒性 GLP (資料 11)	0、500、5,000、25,000、50,000 ppm 雄：0、34、336、1,620、3,160 雌：0、38、384、1,870、3,620	雄：336 雌：38	雄：1,620 雌：384	雌雄：体重増加抑制及び摂餌量減少
	2 世代 繁殖毒性① GLP (資料 32)	0、300、1,000、3,000、10,000 ppm P 雄：0、24.1、79.9、241、822 P 雌：0、26.8、90.1、268、907 F_1 雄：0、27.2、90.5、269、935 F_1 雌：0、29.6、96.5、293、1,000	親動物及び児動物 P 雄：241 P 雌：268 F_1 雄：269 F_1 雌：293	親動物及び児動物 P 雄：822 P 雌：907 F_1 雄：935 F_1 雌：1,000	親動物及び児動物 雌雄：体重増加抑制等 繁殖能に対する影響は認められなかった。
	2 世代 繁殖毒性② GLP (資料 30)	0、200、2,000、20,000 ppm P 雄：0、16.2、164、1,690 P 雌：0、18.4、190、1,840 F_1 雄：0、21.4、210、2,170 F_1 雌：0、21.9、220、2,230	親動物及び児動物 P 雄：164 P 雌：190 F_1 雄：210 F_1 雌：220	親動物及び児動物 P 雄：1,690 P 雌：1,840 F_1 雄：2,170 F_1 雌：2,230	親動物及び児動物 雌雄：体重増加抑制等 繁殖能に対する影響は認められなかった。
	2 世代 繁殖毒性③ 非 GLP (資料 31)	0、2,000、20,000 ppm P 雄：0、147、1,390 P 雌：0、180、1,690 F_1 雄：0、198、2,040 F_1 雌：0、211、2,180	親動物及び児動物 P 雄：147 P 雌：180 F_1 雄：198 F_1 雌：211	親動物及び児動物 P 雄：1,390 P 雌：1,690 F_1 雄：2,040 F_1 雌：2,180	親動物及び児動物 雌雄：体重増加抑制等 繁殖能に対する影響は認められなかった。
	発生毒性 GLP (資料 34)	0、100、300、1,000 (妊娠 6～15 日投与)	母動物：300 胎　児：1,000	母動物：1,000 胎　児：－	母動物：体重増加抑制等 胎児：毒性所見なし 催奇形性は認められなかった。
	90 日間 反復経口 投与神経 毒性 GLP (資料 42)	0、500、5,000、50,000 ppm 雄：0、33、327、3,410 雌：0、40、400、3,810	雄：327 雌：400	雄：3,410 雌：3,810	雌雄：体重増加抑制等 神経毒性は認められなかった。
	発達神経 毒性 GLP (資料 43)	0、1,000、3,000、10,000 ppm 妊娠期間：0、79.4、237、784 哺育期間(0～13 日)：0、158、501、1,640 哺育期間(0～21 日)：0、188、576、1,930	母動物：237 児動物：784	母動物：784 児動物：－	母動物：体重増加抑制(妊娠期間) 児動物：毒性所見なし 発達神経毒性は認められなかった。
マウス	90 日間 反復経口 投与毒性 GLP (資料 13)	0、500、5,000、25,000、50,000 ppm 雄：0、81、844、4,440、10,600 雌：0、102、1,060、5,410、11,600	雄：4,440 雌：5,410	雄：10,600 雌：11,600	雌雄：体重増加抑制等

ウサギ	発生毒性① GLP (資料 39)	0、60、175、500 (妊娠 6～27 日投与)	母動物：175 胎　児：500	母動物：500 胎　児：－	母動物：体重減少等 胎児：毒性所見なし 催奇形性は認められなかった。
	発生毒性② GLP (資料 36)	0、52、125、300 (妊娠 6～18 日投与)	母動物：52 胎　児：300	母動物：125 胎　児：－	母動物：体重増加抑制等 胎児：毒性所見なし 催奇形性は認められなかった。
イヌ	90 日間 反復経口 投与毒性 GLP (資料 15)	0、1,600、8,000、24,000[a] ppm 雄：0、58、307、862 雌：0、58、323、950	雄：307 雌：－	雄：862 雌：58	雌雄：体重増加抑制等
	1 年間 反復経口 投与毒性 GLP (資料 18)	0、640、3,200、16,000 ppm 雄：0、20、111、559 雌：0、22、108、512	雄：559 雌：22	雄：－ 雌：108	雄：毒性所見なし 雌：体重増加抑制

*：最小毒性量で認められた主な毒性所見を示す。
―：無毒性量又は最小毒性量は設定できなかった。
a：最高用量群については、忌避による摂餌量の減少が認められたため、投与初日から 4 日目までは 40,000 ppm、5～11 日目は 30,000 ppm、12 日目からは 24,000 ppm と投与濃度を漸減した。

Ⅳ．急性農薬使用者暴露許容量（AAOEL）

ジノテフランの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響（表 11）に対する無毒性量のうち最小値は、ウサギを用いた発生毒性試験②の無毒性量 125 mg/kg 体重/日であり、得られた毒性所見を検討した結果、これを AAOEL の設定根拠とすることが妥当と判断した。

また、最小の無毒性量に近い投与量におけるラットを用いた動物代謝試験の経口吸収率は、胆汁中排泄試験の 200 mg/kg 体重投与群（雄）の 98.7～101%であった（表 9）。当該投与群は雄のみであったが、ほかの動物代謝試験の結果において供試動物の性別による顕著な違いは認められないことから、この投与量における経口吸収率は 80%以上であると考え、AAOEL の設定に当たっては、経口吸収率による補正は必要ないと判断した。

以上の結果から、ウサギを用いた発生毒性試験②の無毒性量 125 mg/kg 体重/日を根拠として、AOEL と同様に経口吸収率による補正は必要ないと判断し、安全係数 100 で除した 1.3 mg/kg 体重を急性農薬使用者暴露許容量（AAOEL）と設定した。

AAOEL	1.3 mg/kg 体重
（AAOEL 設定根拠試験）	発生毒性試験②
（動物種）	ウサギ
（期間）	妊娠 6～18 日
（投与方法）	強制経口
（無毒性量）	125 mg/kg 体重/日
（毒性所見）	母動物：自発運動低下、振戦等
（安全係数）	100
（経口吸収率）	補正しない

表 11　AAOEL の設定に関連する毒性影響等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重又は mg/kg 体重/日)	無毒性量及び AAOEL に関連する エンドポイント* (mg/kg 体重又は mg/kg 体重/日)
ラット	急性経口毒性 GLP (資料 4)	雄：1,000、2,000、3,000、5,000 雌：1,000、2,000、3,000、4,000	雌雄：－ 雄：顔面痂皮 雌：顔面赤色汚染
	一般薬理 (体温) 非 GLP (資料 47)	雄：0、550、850、1,300、2,000	雄：550 雄：体温低下
	一般薬理 (瞳孔径) 非 GLP (資料 47)	雄：0、850、1,300、2,000	雄：850 雄：縮瞳
マウス	急性経口毒性 GLP (資料 5)	1,000、2,000、3,000	雌雄：1,000 雌雄：自発運動低下、振戦等
	一般薬理 (一般状態) 非 GLP (資料 47)	0、550、850、1,300、2,000、2,600	雌雄：550 雌雄：自発運動低下等
	一般薬理 (自発運動量) 非 GLP (資料 47)	0、850、1,300、2,000	雌雄：1,300 雌雄：自発運動量減少
ウサギ	発生毒性① GLP (資料 39)	0、60、175、500	母動物：175 母動物：呼吸促迫
	発生毒性② GLP (資料 36)	0、52、125、300	母動物：125 母動物：自発運動低下、振戦等

－：無毒性量は設定されなかった。
*：最小毒性量又は最小作用量で認められた主な毒性所見を示す。

Ⅴ．暴露量の推計

1．経皮吸収試験

（1）経皮吸収率の推定

（ア）^{14}C 標識ジノテフランを用いた *in vitro* 経皮吸収試験（資料55、GLP）

調製方法：非標識ジノテフランに[^{14}C]ジノテフランを添加し、さらに製剤白試料と混合して200 g ai/kg のジノテフラン製剤を調製した。製剤が固体であるため、適切に皮膚に適用できるよう同量の水を加えてペースト状に調製した（製剤）。[^{14}C]ジノテフランに製剤白試料及び水を混合して0.0667 g ai/L になるように調製した（3,000倍希釈液）。

採取試料：レセプターチャンバーにレセプター液を満たし、その上部にヒトの皮膚試料を接触させて、上記の製剤及び3,000倍希釈液を皮膚試料の表面に均一に適用した。処理8時間後に皮膚表面を洗浄し、表面に残存する放射性物質を回収した。処理24時間後に皮膚試料を採取し、テープにより角質層中の放射性物質を回収し（テープストリップ）、その濃度及び回収率等を測定した。また、レセプター液を経時的に採取し、皮膚を透過した放射性物質の濃度を測定した。

試験例数：製剤及び希釈液のいずれも、皮膚の健全性の基準（経皮電気抵抗性（TEER）>7.7 kΩ）を満たした8例で試験が実施された。

試験結果：ジノテフラン水溶剤を用いた経皮吸収試験の結果の概要を表12に示す。

表12：製剤及び3,000倍希釈液の経皮吸収

	製剤		3,000倍希釈液 (1:3,000)	
皮膚試料数	8		8	
設定濃度 [mg/mL]	200 [g/kg]		0.0667 [g/L]	
設定投与量 [μg/cm²]	1,000		0.667	
平均実投与量 [μg/cm²]	1,087		0.722	
回収率 [%]	平均	SD	平均	SD
吸収率から除外可能な量				
8、24時間後の皮膚試料洗浄液	93.81	2.73	90.75	3.60
ドナーチャンバー洗浄液	0.17	0.40	0.18	0.18
皮膚試料に関連する量				
テープストリップ1-2	0.01	0.00	0.05	0.03
テープストリップ3-20	0.05	0.02	1.72	0.69
皮膚試料中残渣量	0.16	0.05	1.69	0.63
吸収量				
レセプター液	0.05	0.04	0.88	0.39
レセプターチャンバー洗浄液	0.01	0.00	0.05	0.03
総回収率	94.26	2.43	95.30	3.24
試料採取期間の半分の期間における透過率(t_0.5）の信頼下限値(LLC of t_0.5)	26.49	13.86	43.32	17.71
吸収は完全か否か	いいえ		いいえ	
t_0.5≦75%のときの吸収量	0.27	0.09	4.33	0.87
t_0.5>75%のときの吸収量	N/A	N/A	N/A	N/A
補正吸収量	0.27	0.09	4.33	0.87
最終吸収量	0.342		5.058	
最終吸収量(丸め値)	0.34		5.1	

BfR の経皮吸収率計算シートで解析
N/A：実施せず

ラット *in vitro* 経皮吸収率の推定結果

^{14}C 標識ジノテフランを用いた *in vitro* 経皮吸収試験結果を農薬使用者への影響評価ガイダンスに基づき評価した結果、以下のように提出されたジノテフラン水溶剤の経皮吸収率を推定した。

① 角質層中残渣量（テープストリップ）

製剤及び 3,000 倍希釈液について、試料採取期間は 24 時間であり、被験物質処理後 12 時間のレセプター液への透過率の信頼下限値（LLC of t_0.5）は 75 %未満であったことから、2 番目までのテープストリップ由来の被験物質を経皮吸収量から除外し、3 番目以降のテープストリップ由来の被験物質を経皮吸収量として加えて経皮吸収率を算出した。

② 試験の回収率による補正

製剤の試料は 8 例で平均回収率が 95%未満（94.26%）であった。一

部の試料の回収率が 95%未満であったため、95%以上の適切な回収率が得られた 2 試料（セル 2 及び 5）と 95%未満の回収率の低かった 6 試料（セル 1、3、4、6、7 及び 8）の試験結果を比較し、回収できなかった被験物質が吸収されなかったと判断した。

3,000 倍希釈液は平均回収率が 95%以上であったことから、回収率による各吸収率の補正は行わなかった。

③　サンプル間の変動

製剤及び 3,000 倍希釈液の皮膚試料数はいずれも 8 であったことから、係数 0.84 を標準偏差に乗じ平均値に加算して経皮吸収率を算出した。その結果、製剤は 0.342%、3,000 倍希釈液は 5.058%であった。

以上から、本試験に用いたジノテフラン水溶剤（200 g ai/kg 製剤）の経皮吸収率は 0.34%、3,000 倍希釈液の経皮吸収率は 5.1%と推定した。

また、試験製剤は顆粒水溶剤のため、固体製剤と判断した。

（イ）暴露評価に用いる経皮吸収率

①　スタークル顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤、ホクコースタークル顆粒水溶剤及び三井東圧アルバリン顆粒水溶剤

申請されたスタークル顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤、ホクコースタークル顆粒水溶剤及び三井東圧アルバリン水溶剤（ジノテフラン 20.0%水溶剤）は経皮吸収試験に用いた製剤と組成が同じであることから、ジノテフランのリスク評価に用いる経皮吸収率は農薬使用者への影響評価ガイダンスに基づき、表 13 のとおり適用する。

表 13：暴露評価に用いる経皮吸収率

申請された使用方法における希釈倍数	暴露評価に用いる経皮吸収率（%）	算出根拠
製剤（1倍）	0.34	経皮吸収試験の製剤の経皮吸収率を利用。
50倍	5.1	経皮吸収試験の3,000倍希釈液の経皮吸収率を利用。
100倍		
400倍		
1,000倍		
2,000倍		
3,000倍		

②　キックオフ顆粒水和剤

申請されたキックオフ顆粒水和剤（クロラントラニリプロール 4.0%・ジノテフラン 15.0%水和剤）は経皮吸収試験に用いた製剤と異なる組成で

あることから、試験に用いた製剤と申請製剤であるキックオフ顆粒水和剤の皮膚刺激性、皮膚感作性及び剤型の比較を表 14 に示す（資料 56～59、GLP）。

申請製剤の皮膚刺激性及び皮膚感作性が試験製剤と同等であること及び申請製剤の剤型が試験製剤の剤型と同等であることから、農薬使用者への影響評価ガイダンスに基づき、ジノテフラン水溶剤（200 g ai/kg 製剤）を用いたジノテフランの経皮吸収試験の結果を本剤の経皮吸収率の推定に利用できると判断した。

表 14：試験製剤と本剤の皮膚刺激性、皮膚感作性及び剤型

試験	試験製剤	申請製剤
	区分	区分
皮膚刺激性	区分外	区分外
皮膚感作性	区分外	区分外
剤型	固体製剤	固体製剤

キックオフ顆粒水和剤のジノテフランのリスク評価に用いる経皮吸収率は、農薬使用者への影響評価ガイダンスに基づき、表 15 のとおり推定した。

なお、申請製剤は経皮吸収試験に用いた製剤よりも有効成分含有量が少ないことから、経皮吸収試験の製剤の試験結果を用いることができない。このため、製剤の経皮吸収率は固体製剤のデフォルト値（製剤 10%）を利用することが適当であると判断した。

表 15：暴露評価に用いる経皮吸収率

申請された使用方法における希釈倍数	暴露評価に用いる経皮吸収率(%)	算出根拠
製剤（1倍）	10	固体製剤のデフォルト値を利用。
100倍	5.1	経皮吸収試験の3,000倍希釈液の経皮吸収率を利用。
2,000倍		

③　スケルカット顆粒水和剤及びスケルノック顆粒水和剤

申請されたスケルカット顆粒水和剤及びスケルノック顆粒水和剤（ジノテフラン 40.0%水和剤）は経皮吸収試験に用いた製剤と異なる組成であることから、試験に用いた製剤と申請製剤であるスケルカット顆粒水和剤及びスケルノック顆粒水和剤の皮膚刺激性、皮膚感作性及び剤型の比較を表 16 に示す（資料 56、57、60、61、GLP）。

申請製剤の皮膚刺激性及び皮膚感作性が試験製剤と同等であること及び申請製剤の剤型が試験製剤の剤型と同等であることから、農薬使用者へ

の影響評価ガイダンスに基づき、ジノテフラン水溶剤（200 g ai/kg 製剤）を用いたジノテフランの経皮吸収試験の結果を本剤の経皮吸収率の推定に利用できると判断した。

表 16：試験製剤と本剤の皮膚刺激性、皮膚感作性及び剤型

試験	試験製剤 区分	申請製剤 区分
皮膚刺激性	区分外	区分外
皮膚感作性	区分外	区分外
剤型	固体製剤	固体製剤

スケルカット顆粒水和剤及びスケルノック顆粒水和剤のジノテフランのリスク評価に用いる経皮吸収率は、農薬使用者への影響評価ガイダンスに基づき、表 17 のとおり推定した。

表 17：暴露評価に用いる経皮吸収率

申請された使用方法における希釈倍数	暴露評価に用いる経皮吸収率（%）	算出根拠
製剤（1倍）	0.34	経皮吸収試験の製剤の経皮吸収率を利用。
2,000倍	5.1	経皮吸収試験の3,000倍希釈液の経皮吸収率を利用。

④　オールスタースプレー

申請されたオールスタースプレー（ジノテフラン 0.010%液剤）は経皮吸収試験に用いた製剤を水で希釈した製剤であるため、ジノテフラン水溶剤（200 g ai/kg 製剤）を用いた経皮吸収試験の結果を本剤の経皮吸収率の推定に利用できると判断した。

オールスタースプレーのジノテフランのリスク評価に用いる経皮吸収率は、農薬使用者への影響評価ガイダンスに基づき、表 18 のとおり推定した。

表 18：暴露評価に用いる経皮吸収率

申請された使用方法における希釈倍数	暴露評価に用いる経皮吸収率（%）	算出根拠
製剤（1倍）	5.1	経皮吸収試験の3,000倍希釈液の経皮吸収率を利用。

⑤　その他の製剤

①～④以外の製剤のリスク評価に用いる経皮吸収率は、農薬使用者への影響評価ガイダンスに基づき、剤型によるデフォルト値を適用する。

2. 圃場における農薬使用者暴露

ジノテフランを含有する農薬製剤で実施した圃場における農薬使用者暴露試験結果は提出されていない。

3. 暴露量の推計

申請された製剤について、Ⅰ．の5．適用病害虫雑草等の範囲及び使用方法（別添1）に従って使用した場合の暴露量を予測式により推計した。

推計に当たっては、農薬使用者への影響評価ガイダンス及び予測式に分類していない使用方法についての使用者安全確保の考え方（令和4年12月1日農業資材審議会農薬分科会農薬使用者安全評価部会決定、令和6年10月24日最終改訂）（以下「部会決定」という。）に準拠した。

推計に用いたパラメータ等及び暴露量の推計結果を別添2に示す。

Ⅵ. リスク評価結果

Ⅰ．の 5．適用病害虫雑草等の範囲及び使用方法（別添 1）に従って使用した場合の暴露量は、AOEL 及び AAOEL を下回っていた（別添 2）。

評価資料

資料番号	報告年	表題、出典（試験施設以外の場合） GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無
1	2024	農薬評価書　ジノテフラン（第 7 版）　食品安全委員会、公表 URL： https://www.fsc.go.jp/fsciis/attachedFile/download?retrievalId=kya20221214231&fileId=210
2	2000	Metabolism of [^{14}C]MTI-446 in Rats GLP、未公表
3	2000	MTI-446 の代謝研究　^{14}C 標識ジノテフランを用いたラット体内における代謝試験-2 非 GLP、未公表
4	1997	Acute Oral Toxicity Study of MTI-446 in Rats GLP、未公表
5	1997	Acute Oral Toxicity Study of MTI-446 in Mice GLP、未公表
6	1997	Acute Dermal Toxicity Study of MTI-446 in Rats GLP、未公表
7	1999	MTI-446: Acute Inhalation (Nose-Only) Toxicity Study in the Rat GLP、未公表
8	1997	Dermal Sensitization Study of MTI-446 in Guinea Pigs - Maximization Test GLP、未公表
9	1998	Primary Dermal Irritation Study of MTI-446 in Rabbits GLP、未公表
10	1998	Primary Eye Irritation Study of MTI-446 in Rabbits GLP、未公表
11	1997	13-Week Dietary Toxicity Study with MTI-446 in Rats GLP、未公表
12	1997	4-Week Dietary Toxicity Study with MTI-446 in Rats GLP、未公表
13	1997	13-Week Dietary Toxicity Study with MTI-446 in Mice GLP、未公表
14	1997	4-Week Dietary Toxicity Study with MTI-446 in Mice GLP、未公表
15	1999	13-Week Dietary Toxicity Study with MTI-446 in Dogs GLP、未公表
16	1998	MTI-446のイヌにおける強制経口投与による1週間反復投与毒性試験 非 GLP、未公表
17	1998	MTI-446のイヌにおける混餌投与による1週間反復投与毒性試験 非 GLP、未公表
18	1999	52-Week Dietary Chronic Toxicity Study with MTI-446 in Dogs GLP、未公表
19	2002	MTI-446: 28 Day Inhalation (nose-only) Toxicity Study in the Rat GLP、未公表
20	2003	MTI-446: 6 Day Inhalation (Nose-only) Toxicity Study in the Rat GLP、未公表

資料番号	報告年	表題、出典（試験施設以外の場合） GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無
21	2001	28-Day Dermal Toxicity Study with MTI-446 in Rats GLP、未公表
22	2001	14-Day Range-Finding Dermal Toxicity Study with MTI-446 in Rats GLP、未公表
23	1996	MTI-446の細菌を用いる復帰突然変異試験 GLP、未公表
24	1996	MTI-446 の in vitro 哺乳動物細胞遺伝学的試験 GLP、未公表
25	1995	MTI-446のマウスを用いる小核試験 GLP、未公表
26	2002	MTI-446 Technical Material: Mutation at the Thymidine Kinase (tk) Locus of Mouse Lymphoma L5178Y Cells (MLA) using the Microtitre^{R} Fluctuation Technique GLP、未公表
27	1996	MTI-446の細菌を用いるDNA修復試験 GLP、未公表
28	2000	104-Week Dietary Combined Chronic Toxicity and Carcinogenicity Study with MTI-446 in Rats GLP、未公表
29	2000	78-Week Dietary Carcinogenicity Study with MTI-446 in Mice GLP、未公表
30	2000	MTI-446のラットにおける混餌経口投与による2世代繁殖試験 GLP、未公表
31	2000	MTI-446のラットにおける混餌経口投与による二世代繁殖試験追加試験 非 GLP、未公表
32	2002	MTI-446: Two-Generation Reproduction Study in the Han Wistar Rat by Oral (dietary) Administration GLP、未公表
33	2001	MTI-446 Technical Preliminary Two Generation Study in the Han Wistar Rat GLP、未公表
34	1998	MTI-446のラットにおける強制経口投与による催奇形性試験 GLP、未公表
35	1998	MTI-446のラットにおける強制経口投与による催奇形性試験のための用量設定試験 非 GLP、未公表
36	1998	MTI-446のウサギにおける強制経口投与による催奇形性試験 GLP、未公表
37	1998	MTI-446のウサギにおける単回および2週間反復強制経口投与による予備試験 非 GLP、未公表
38	1998	MTI-446のウサギにおける強制経口投与による催奇形性試験のための用量設定試験 非 GLP、未公表
39	2013	Dinotefuran: Prenatal Developmental Toxicity Study in Rabbits GLP、未公表
40	2012	Dinotefuran: Preliminary Prenatal developmental toxicity Study in Rabbits 非 GLP、未公表

資料番号	報告年	表題、出典（試験施設以外の場合） GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無
41	2001	Acute Oral Gavage Neurotoxicity Study with MTI-446 in Rats GLP、未公表
42	2001	13-Week Dietary Neurotoxicity Study with MTI-446 in Rats GLP、未公表
43	2010	Oral (Diet) Developmental Neurotoxicity Study of MTI-446 (Dinotefuran) in Crl:CD(SD) Rats GLP、未公表
44	2009	Oral (Diet) Dosage-Range Finding Developmental Neurotoxicity and Immunotoxicity Study of MTI-446 (Dinotefuran) in Crl:CD(SD) Rats GLP、未公表
45	2011	Dinotefuran: 4 Week Dietary Immunotoxicity Study in the CD Rat GLP、未公表
46	2011	Dinotefuran: 4 Week Dietary Immunotoxicity Study in the CD-1 Mouse GLP、未公表
47	1999	MTI-446の生体機能に及ぼす影響に関する試験 非 GLP、未公表
48	2024	ジノテフラン公表文献報告書 URL : https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_sa-3.pdf
49	2024	ジノテフラン公表文献報告書（追補） URL : https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_sa-4.pdf
50	2024	公表文献に関する情報募集（令和6年5月9日～令和6年6月7日）で寄せられた情報 URL : https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_sa-2.pdf
51	2021	Taira K *et al.*: Urinary concentrations of neonicotinoid insecticides were related to renal tubular dysfunction and neuropsychological complaints in Dry-zone of Sri Lanka: Scientific Reports. 2021; 11:22484.
52	2020	Suh J *et al.*: Effect of agricultural pesticide on precocious puberty in urban children: an exploratory study: Clinical and Experimental Pediatrics. 2020; 63(4) 146-150.
53	2023	Pan D *et al.*: Maternal exposure to neonicotinoid insecticides and fetal growth restriction: A nested case-control study in the guangxi Zhuang birth cohort: Chemosphere. 2023; 336:139217.
54	2021	Zhang N *et al.*: Occurrence of neonicotinoid insecticides and their metabolites in tooth samples collected from south China: Associations with periodontitis: Chemosphere. 2021; 264:128498.
55	2021	The *In Vitro* Percutaneous Absorption of Radiolabelled Dinotefuran in a 20% Water-Soluble Granule (SG) Formulation and a Single In-Use Dilutions Through Human Split-Thickness Skin (OECD 428) GLP、未公表
56	1999	MTI-446 水溶剤（顆粒）のウサギを用いた皮膚一次刺激性試験 GLP、未公表
57	1999	MTI-446 水溶剤（顆粒）のモルモットを用いた皮膚感作性試験（Buehler Test） GLP、未公表

資料番号	報告年	表題、出典（試験施設以外の場合） GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無
58	2009	ジノテフラン 15% クロラントラニリプロール 4%水和剤のウサギを用いる皮膚刺激性試験 GLP、未公表
59	2009	ジノテフラン 15% クロラントラニリプロール 4%水和剤のモルモットを用いる皮膚感作性試験（Buehler 法） GLP、未公表
60	2003	MTI-446 水和剤のウサギを用いた皮膚刺激性試験 GLP、未公表
61	2003	MTI-446 水和剤のモルモットを用いた皮膚感作性試験（Buehler Test 法） GLP、未公表
62	2022	ジノテフランの試験成績の概要及び考察 未公表
63	2016	Osaka A, Ueyama J, Kondo T, Nomura H, Sugiura Y, Saito I et al. Exposure characterization of three major insecticide lines in urine of young children in Japan-neonicotinoids, organophosphates, and pyrethroids. Environmental Research. 2016; 147, 89-96
64	2015	Ueyama J, Harada KH, Koizumi A, Sugiura Y, Kondo T, Saito I et al. Temporal levels of urinary neonicotinoid and dialkylphosphate concentrations in Japanese women between 1994 and 2011. Environmental Science & Technology.2015; 49 (24), 14522-14528
65	2021	Oya N, Ito Y, Ebara T, Kato S, Ueyama J, Aoi A et al. Cumulative exposure assessment of neonicotinoids and an investigation into their intake-related factors in young children in Japan. Science of The Total Environment. 2021; 750
66	2014	Ueyama J, Nomura H, Kondo T, Saito I, Ito Y, Osaka A et al. Biological monitoring method for urinary neonicotinoid insecticides using LC-MS/MS and its application to Japanese adults. Journal of Occupational Health. 2014; 56 (6), 461-468
67	2016	Harada KH, Tanaka K, Sakamoto H, Imanaka M, Niisoe T, Hitomi T et al. Biological Monitoring of Human Exposure to Neonicotinoids Using Urine Samples, and Neonicotinoid Excretion Kinetics. PLoS One. 2016; 11(1): e0146335.

別添１：適用病害虫雑草等の範囲及び使用方法（ジノテフラン）

目　次

１．登録番号 20805：スタークル粒剤、
登録番号 20806：アルバリン粒剤、
登録番号 20807：ホクコースタークル粒剤、
登録番号 20959：三井東圧アルバリン粒剤、
登録番号 22738：スターガード粒剤
（ジノテフラン 1.0 %粒剤） 5

２．登録番号 20808：スタークル箱粒剤、
登録番号 20960：三井東圧アルバリン箱粒剤
（ジノテフラン 2.0 %粒剤） 14

３．登録番号 20811：スタークル顆粒水溶剤、
登録番号 20812：アルバリン顆粒水溶剤、
登録番号 20813：ホクコースタークル顆粒水溶剤、
登録番号 20961：三井東圧アルバリン顆粒水溶剤
（ジノテフラン 20.0 %水溶剤） 15

４．登録番号 20814：スタークル粉剤 DL、
登録番号 20815：アルバリン粉剤 DL、
登録番号 20816：ホクコースタークル粉剤 DL、
登録番号 20962：三井東圧アルバリン粉剤 DL
（ジノテフラン 0.50 %粉剤） 25

５．登録番号 20836：スタークルトレボン粉剤 DL
（エトフェンプロックス 0.30 %・ジノテフラン 0.50 %粉剤） 26

６．登録番号 21025：ホクコーラブサイドスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・フサライド 2.5 %粉剤） 26

７．登録番号 21027：ビームスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・トリシクラゾール 0.50 %粉剤） 26

８．登録番号 21191：ビームバシスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・トリシクラゾール 0.50 %・メプロニル 3.0 %粉剤） 27

９．登録番号 21248：スタークル L 粉剤 DL、
登録番号 21435：スタークルメイト L 粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %粉剤） 27

１０．登録番号 21259：スタークル液剤 10、
登録番号 21260：スタークルメイト液剤 10、
登録番号 24582：アルバリン液剤 10
（ジノテフラン 10.0 %液剤） 28

１１．登録番号 21276：スタークル１キロ H 粒剤、
登録番号 21277：スタークルメイト１キロ H 粒剤
（ジノテフラン 3.0 %粒剤） 35

１２．登録番号 21497：ホクコービルダースタークル箱粒剤
（ジノテフラン 2.0 %・プロベナゾール 10.0 %粒剤） 35

１３．登録番号 21607：スタークルエアー50、
登録番号 21608：スタークルメイトエアー50、
登録番号 24012：ファームスター顆粒水溶剤 50
（ジノテフラン 50.0 %水溶剤） 35

１４．登録番号 21710：ホクコーラブサイドスタークルフロアブル
（ジノテフラン 5.0 %・フサライド 12.0 %水和剤） 36

１５．登録番号 21801：ワイドナーエース粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・テブフェノジド 0.75 %・ブプロフェジン 1.0 %・フサライド 2.5 %・フルトラニル 2.0 %粉剤） 36

１６．登録番号 21871：コラトップスタークル１キロ粒剤
（ジノテフラン 5.0 %・ピロキロン 15.0 %粒剤） 37

１７．登録番号 21886：イモチエーススタークル粒剤、
登録番号 21888：ホクコーイモチエーススタークル粒剤
（ジノテフラン 1.67 %・メトミノストロビン 4.0 %粒剤） 37

１８．登録番号 21975：トレボンスター粉剤 DL
（エトフェンプロックス 0.40 %・ジノテフラン 0.20 %粉剤） 37

１９．登録番号 22036：ビームエイトスタークルゾル
（ジノテフラン 10.0 %・トリシクラゾール 8.0 %水和剤） 38

２０．登録番号 22037：トレボンスターフロアブル
（エトフェンプロックス 7.0 %・ジノテフラン 3.0 %水和剤） 38

２１．登録番号 22063：日農ビームアプロードスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・ブプロフェジン 1.0 %・トリシクラゾール 0.50 %粉剤） 39

２２．登録番号 22102：ビームモンセレンスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・トリシクラゾール 0.50 %・ペンシクロン 1.5 %粉剤） 39

２３．登録番号 22130：わさび用緑風 SG
（ジノテフラン 20.0 %水溶剤） 39

２４．登録番号 22268：ビームモンカットスタークル F 粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・トリシクラゾール 0.50 %・フルトラニル 2.0 %粉剤） 40

２５．登録番号 22332：スタークル豆つぶ、
登録番号 22333：クミアイスタークル豆つぶ、
登録番号 22495：スタークルメイト豆つぶ
（ジノテフラン 12.0 %剤） 40

２６．登録番号 22416：Dr. オリゼスタークル箱粒剤、
登録番号 23950：オリザエートスター箱粒剤
（ジノテフラン 2.0 %・プロベナゾール 25.0 %粒剤） 40

２７．登録番号 22479：ダブルカットスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・カスガマイシン 0.11 %・トリシクラゾール 0.50 %粉剤） 41

２８．登録番号 22642：ホクコートップジンスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・チオファネートメチル 2.0 %粉剤） 41

２９．登録番号 22725：キックオフ顆粒水和剤
（クロラントラニリプロール 4.0 %・ジノテフラン 15.0 %水和剤） 42

３０．登録番号 22924：ホクコートップジンスタークルフロアブル
（ジノテフラン 5.0 %・チオファネートメチル 20.0 %水和剤） 44

３１．登録番号 22981：ダブルカットバリダスタークル粉剤３DL
（ジノテフラン 0.35 %・カスガマイシン 0.34 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %粉剤） 44

３２．登録番号 22995：ダブルカットスタークルフロアブル
（ジノテフラン 10.0 %・カスガマイシン 1.37 %・トリシクラゾール 8.0 %水和剤） 45

３３．登録番号 23074：アトラクトン箱粒剤、
登録番号 23075：スターダム箱粒剤
（ジノテフラン 12.0 %粒剤） 45

３４．登録番号 23076：Dr. オリゼスタークル箱粒剤 OS、
登録番号 23078：ロングリーチ箱粒剤
（ジノテフラン 12.0 %・プロベナゾール 24.0 %粒剤） 46

３５．登録番号 23113：イッカツエース粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・テブフェノジド 0.75 %・カスガマイシン 0.34 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %粉剤） 46

３６．登録番号 23365：フェルテラスタークル箱粒剤 CU
（クロラントラニリプロール 0.75 %・ジノテフラン 6.0 %粒剤） 47

３７．登録番号 23370：スケルカット顆粒水和剤、
登録番号 23371：スケルノック顆粒水和剤
（ジノテフラン 40.0 %水和剤） 47

３８．登録番号 23372：スターガードプラス AL
（ジノテフラン 0.010 %・ペンチオピラド 0.010 %水和剤） 48

３９．登録番号 23405：トライスタークル粉剤 DL、
登録番号 23407：クミアイトライスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・テブフロキン 1.0 %粉剤） 50

４０．登録番号 23506：オールスタースプレー
（ジノテフラン 0.010 %液剤） 51

４１．登録番号 23624：ウッドスター
（ジノテフラン 8.0 %液剤） 55

４２．登録番号 23676：ウッドセーバー
（ジノテフラン 8.0 %液剤） 56

４３．登録番号 23685：ハイポネックス原液 殺虫剤入り
（ジノテフラン 2.5 %複合肥料） 56

４４．登録番号 23705：サンブラススタークル箱粒剤
（ジノテフラン 2.0 %・トルプロカルブ 12.0 %粒剤） 56

４５．登録番号 23706：ガッツスター粒剤、
登録番号 23707：ゴウケツモンスター粒剤
（ジノテフラン 1.67 %・シメコナゾール 1.5 %・トルプロカルブ 3.0 %粒剤） 57

４６．登録番号 23833：ハイパーキック箱粒剤、
登録番号 23834：ゴウケツバスター箱粒剤
（ジノテフラン 12.0 %・トルプロカルブ 9.0 %粒剤） 57

４７．登録番号 23840：サンフェスタ箱粒剤
（クロラントラニリプロール 0.75 %・ジノテフラン 6.0 %・トルプロカルブ 4.0 %粒剤） 58

４８．登録番号 24316：アースガーデン４
（エトフェンプロックス 0.020 %・ジノテフラン 0.010 %・ミルベメクチン 0.00050 %・ペンチオピラド 0.010 %水和剤） 59

４９．登録番号 24344：スタートレボン W10
（エトフェンプロックス 10.0 %・ジノテフラン 10.0 %乳剤） 60

５０．登録番号 24347：ブレードスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤） 61

５１．登録番号 24413：マグァンプ K 殺虫剤入り
（ジノテフラン 0.20 %複合肥料） 61

５２．登録番号 24530：オーケストラスタークルエアー
（ジノテフラン 9.0 %・ベンズピリモキサン 10.0 %水和剤） 62

５３．登録番号 24608：ブレードスタークル R ゾル
（ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤） 62

１．登録番号 20805：スタークル粒剤、
登録番号 20806：アルバリン粒剤、
登録番号 20807：ホクコースタークル粒剤、
登録番号 20959：三井東圧アルバリン粒剤、
登録番号 22738：スターガード粒剤
（ジノテフラン 1.0 %粒剤）

（１）スタークル粒剤、アルバリン粒剤、ホクコースタークル粒剤及び三井東圧アルバリン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｶﾒﾑｼ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ	3kg/10a	収穫7 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3 回以内)
きゅうり	ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	2g/株	育苗期	1 回	株元散布	4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1 回以内、定植後の株元散布は1 回以内、散布は2 回以内)
	ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類		定植時		植穴土壌混和	
	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株				
	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		生育期 但し、収穫開始14 日前まで			
		1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	
うり類 (漬物用)	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	2g/株				3 回以内 (定植時の土壌混和は1 回以内、散布は2 回以内)
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	1~2g/株				
ﾒﾛﾝ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株	育苗期		株元散布	3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1 回以内、散布は2 回以内)
			定植時		植穴土壌混和	
	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
			定植時		植穴土壌混和	
	ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	2g/株	育苗期		株元散布	
			定植時		植穴土壌混和	
	ｱｻﾞﾐｳﾏ類					
すいか	ﾜﾀｱﾌﾞﾗﾑｼ		定植時		植穴土壌混和	4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1 回以内、定植後の株元散布は1 回以内、散布は2 回以内
			生育期 但し、収穫21 日前まで		株元散布	
			育苗期			
かぼちゃ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類		定植時		植穴土壌混和	3 回以内 (定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計1 回以内、散布は2 回以内)
にがうり	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類					3 回以内 (定植時の土壌混和は1 回以内、散布は2 回以内)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
ｽﾞｯｷｰﾆ	ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類	2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株	生育期 但し、収穫開始14日前まで		株元散布	
なす	ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	2g/株	育苗期		株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類	1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	
	ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類		育苗期		株元散布	
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
	ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		生育期 但し、収穫前日まで	2回以内	株元散布	
ﾋﾟｰﾏﾝ	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	1~2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株	生育期 但し、収穫前日まで	2回以内	株元散布	
			育苗期	1回		
	ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類	培土1L当り10g	は種前		培土混和	5回以内 (培土混和及び灌注は合計1回以内、育苗期の株元散布は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
トﾏﾄ ﾐﾆﾄﾏﾄ	ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類	1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	
			育苗期		株元散布	
	ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類	1g/株	生育期 但し、収穫前日まで	2回以内		
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		定植時	1回	植穴土壌混和	
とうがらし類	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株	生育期 但し、収穫開始14日前まで		株元散布	
	ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類		育苗期			
とうがらし(葉)	ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		定植時 但し、収穫30日前まで		植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ジノテフランを含む
農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">キャベツ</td><td>アブラムシ類</td><td>2g/株</td><td>育苗期</td><td rowspan="9">1回</td><td>株元散布</td><td rowspan="3">3回以内
(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>アオムシ
コナガ</td><td>2~3g/株</td><td rowspan="8">定植時</td><td rowspan="8">植穴土壌混和</td></tr>
<tr><td>ハイマダラノメイガ</td><td>3g/株</td></tr>
<tr><td rowspan="3">はくさい</td><td>アブラムシ類</td><td>2g/株</td><td rowspan="3">3回以内(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>アオムシ
コナガ</td><td>2~3g/株</td></tr>
<tr><td>ハイマダラノメイガ</td><td>3g/株</td></tr>
<tr><td>ブロッコリー</td><td>アブラムシ類
コナガ</td><td>2g/株</td><td>3回以内
(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、
散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ねぎ</td><td rowspan="2">アザミウマ類
ハモグリバエ類</td><td rowspan="3">6kg/10a</td><td>は種時</td><td>播溝土壌混和</td><td rowspan="4">4回以内
(は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>定植時</td><td rowspan="3">株元散布</td></tr>
<tr><td>アザミウマ類
クロバネキノコバエ類</td><td rowspan="2">生育期
但し、収穫3日前まで</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>ハモグリバエ類</td><td>6~9kg/10a</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>わけぎ</td><td>アザミウマ類
ハモグリバエ類</td><td rowspan="2">6kg/10a</td><td>生育期
但し、収穫21日前まで</td><td>1回</td><td>4回以内
(定植後の株元散布は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)</td></tr>
<tr><td>らっきょう</td><td>アザミウマ類
ハモグリバエ類</td><td>生育期
但し、収穫前日まで</td><td>3回以内</td><td>散布</td><td>3回以内</td></tr>
<tr><td>にんじん</td><td>ハモグリバエ類</td><td>9kg/10a</td><td>は種時</td><td>1回</td><td>播溝土壌混和</td><td>4回以内
(は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)</td></tr>
<tr><td>セルリー</td><td>アブラムシ類</td><td>2g/株</td><td>定植時</td><td>1回</td><td>植穴土壌混和</td><td>3回以内
(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)</td></tr>
</table>

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
だいこん	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	5回以内 (は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
	キスジノミハムシ	4~6kg/10a				
		9~12kg/10a			全面土壌混和	
		6kg/10a	生育期 但し、 収穫30日前まで		散布	
	タネバエ					
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	6kg/10a	定植時		土壌混和	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類 キスジノミハムシ		は種時		播溝土壌混和	
非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)						3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
かぶ						
ほうれんそう	アブラムシ類					
レタス 非結球レタス	ナモグリバエ	培土1L当り15g	は種前		培土混和	4回以内(は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
		1g/株	育苗期後半		株元散布	
	アブラムシ類 ナモグリバエ	2g/株	定植時		植穴土壌混和	
しゅんぎく	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
			定植時		植溝土壌混和	
いちご	ワタアブラムシ	0.5~1g/株			植穴土壌混和	1回
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ	20g/株	育苗期	5回以内	株元散布	5回以内
なし (苗木)	アブラムシ類	20g/株 (但し、10a当り110kgまで)	育苗期	1回	株元散布	1回
くわい	アブラムシ類	3kg/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
ふき		20kg/10a	定植後～ 生育期 (草丈20cm頃まで) 但し、収穫45日前まで	1回	土壌表面散布	3回以内 (土壌表面散布は1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
しょうが	ｸﾛﾊﾞﾈｷﾅﾉｺﾊﾞｴ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫14日前まで	1回	株元散布	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
ｵｸﾗ さやいんげん	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		生育期 但し、収穫開始14日前まで			
さやえんどう 実えんどう	ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類					
だいず えだまめ	ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)
さとうきび	ｶﾝｼｬｺﾊﾞﾈｶﾞｶﾒﾑｼ	6~9kg/10a	生育期 但し、 収穫45日前まで	2回以内	散布	5回以内 (粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
	ﾒｲﾁｭｳ類	9kg/10a				
葉ごぼう	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	6kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	2回以内 (は種時の全面土壌混和は1回以内、生育期の株元散布は1回以内)
			生育期 但し、収穫21日前まで		株元散布	
しそ	ﾏﾃﾞｲﾗｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ	2g/株 (但し、10a当り25kgまで)	定植時		植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
食用ぎく	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株 (但し、10a当り30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		20kg/10a	生育期 但し、収穫前日まで	3回以内	株元散布	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布及び株元散布は合計3回以内)
	ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	2g/株 (但し、10a当り30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
茶	ｸﾜｼﾛｶｲｶﾞﾗﾑｼ	12kg/10a	摘採7日前まで	2回以内	株元土壌混和	2回以内
きく ｶﾞｰﾍﾞﾗ	ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	2g/株 (但し、10a当り30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	5回以内 (土壌混和は1回以内)
	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株 (但し、10a当り30kgまで)				
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	20kg/10a	生育期	5回以内	株元散布	
花き類・観葉植物(きく、ｶﾞｰﾍﾞﾗを除く)	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1g/株 (但し、10a当り30kgまで)	定植時	1回	植穴土壌混和	5回以内 (土壌混和は1回以内)
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	20kg/10a	生育期	5回以内	株元散布	
つつじ類	ﾂﾂｼﾞｸﾞﾝﾊﾞｲ	6kg/10a	発生初期			5回以内
いぐさ	ｲｸﾞｻｼﾝﾑｼｶﾞ	3~4kg/10a		2回以内	散布	2回以内

（２）スターガード粒剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む
農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">きゅうり</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>2 g/株</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="9">1 回</td><td rowspan="2">植穴
土壌混和</td><td rowspan="3">4 回以内
(育苗期の株元散布及び
定植時の土壌混和は
合計 1 回以内、定植後の
株元散布は 1 回以内、
散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td>1~2 g/株</td></tr>
<tr><td>1 g/株</td><td>生育期
但し、
収穫開始 14
日前まで</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ﾒﾛﾝ</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>2 g/株</td><td rowspan="4">定植時</td><td rowspan="3">植穴
土壌混和</td><td rowspan="3">3 回以内
(育苗期の株元散布及び
定植時の土壌混和は
合計 1 回以内、
散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>1 g/株</td></tr>
<tr><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td>1~2 g/株</td></tr>
<tr><td rowspan="2">すいか</td><td rowspan="2">ﾜﾀｱﾌﾞﾗﾑｼ</td><td rowspan="2">2 g/株</td><td rowspan="2">生育期
但し、収穫
21 日前まで</td><td rowspan="2">株元散布</td><td rowspan="2">4 回以内
(育苗期の株元散布及び
定植時の土壌混和は
合計 1 回以内、定植後の
株元散布は 1 回以内、
散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>かぼちゃ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td>2 g/株</td><td>定植時</td><td rowspan="3">1 回</td><td rowspan="3">植穴
土壌混和</td><td>3 回以内
(定植時の土壌混和及び
育苗ﾄﾚｲへの灌注は
合計 1 回以内、
散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">なす</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>1~2 g/株</td><td>定植時</td><td rowspan="3">3 回以内
(育苗期の株元散布及び
定植時の土壌混和は
合計 1 回以内、散布及び
定植後の株元散布は
合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td rowspan="2">1 g/株</td><td>生育期
但し、
収穫前日まで</td><td>2 回
以内</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="3">定植時</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="2">植穴
土壌混和</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ﾄﾏﾄ
ﾐﾆﾄﾏﾄ</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td>1~2 g/株</td><td rowspan="3">5 回以内
(培土混和及び灌注は
合計 1 回以内、育苗期の
株元散布は 1 回以内、
定植時の土壌混和は
1 回以内、散布及び定植
後の株元散布は
合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td rowspan="2">1 g/株</td><td>生育期
但し、
収穫前日まで</td><td>2 回
以内</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>定植時</td><td>1 回</td><td>植穴
土壌混和</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む
農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾋﾟｰﾏﾝ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>1~2 g/株</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="2">植穴
土壌混和</td><td rowspan="3">3 回以内
(育苗期の株元散布及び
定植時の土壌混和は
合計 1 回以内、散布及び
定植後の株元散布は
合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">1 g/株</td></tr>
<tr><td>生育期
但し、
収穫前日まで</td><td>2 回
以内</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td rowspan="3">とうがらし
類</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>1~2 g/株</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="3">1 回</td><td>植穴
土壌混和</td><td rowspan="3">4 回以内
(育苗期の株元散布及び
定植時の土壌混和は
合計 1 回以内、定植後の
株元散布は 1 回以内、
散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">1 g/株</td></tr>
<tr><td>生育期
但し、
収穫開始 14
日前まで</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ｷｬﾍﾞﾂ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>2 g/株</td><td rowspan="3">定植時</td><td rowspan="9">1 回</td><td rowspan="6">植穴
土壌混和</td><td rowspan="3">3 回以内
(育苗期の株元散布、定
植時の土壌混和及び
灌注は合計 1 回以内、
散布及び無人航空機
散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｱｵﾑｼ
ｺﾅｶﾞ</td><td>2~3 g/株</td></tr>
<tr><td>ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ</td><td>3 g/株</td></tr>
<tr><td rowspan="3">はくさい</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>2 g/株</td><td rowspan="6">定植時</td><td rowspan="3">3 回以内
(定植時の土壌混和及び
灌注は合計 1 回以内、
散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｱｵﾑｼ
ｺﾅｶﾞ</td><td>2~3 g/株</td></tr>
<tr><td>ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ</td><td>3 g/株</td></tr>
<tr><td>ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｶﾞ</td><td>2 g/株</td><td>3 回以内
(定植時の土壌混和及び
灌注は合計 1 回以内、
散布及び無人航空機散
布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ねぎ</td><td rowspan="2">ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td rowspan="2">6 g/m^2</td><td rowspan="2">株元散布</td><td rowspan="2">4 回以内
(は種時の土壌混和、
育苗ﾄﾚｲへの灌注及び定
植時の株元散布は合計
1 回以内、生育期の株元
灌注は 1 回以内、散布、
無人航空機散布及び定
植後の株元散布は
合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>生育期
但し、
収穫 3 日前
まで</td><td>2 回以
内</td></tr>
<tr><td>にんじん</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td>9 g/m^2</td><td>は種時</td><td>1 回</td><td>播溝
土壌混和</td><td>4 回以内
(は種時の土壌混和は
1 回以内、生育期の株元
灌注は 1 回以内、散布は
2 回以内)</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む
農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">だいこん</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>6 g/m^2</td><td rowspan="3">は種時</td><td rowspan="4">1 回</td><td rowspan="2">播溝
土壌混和</td><td rowspan="4">5 回以内
(は種時の播溝土壌混和は 1 回以内、
は種時の全面土壌混和は 1 回以内、
粒剤の散布は 1 回以内、
水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ</td><td>4~6 g/m^2</td></tr>
<tr><td>9 g/m^2</td><td>全面
土壌混和</td></tr>
<tr><td>6 g/m^2</td><td>生育期
但し、
収穫 30 日前
まで</td><td>散布</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ</td><td>ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ</td><td rowspan="6">6 g/m^2</td><td>定植時</td><td rowspan="9">1 回</td><td>土壌混和</td><td rowspan="2">3 回以内
(は種時及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ</td><td rowspan="7">は種時</td><td rowspan="6">播溝
土壌混和</td></tr>
<tr><td>非結球あぶらな科葉菜類
(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲを除く)</td><td rowspan="2">3 回以内
(は種時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>かぶ</td></tr>
<tr><td>ほうれんそう</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td></tr>
<tr><td>だいず
えだまめ</td><td>ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ</td><td>3 回以内
(は種時の土壌混和は 1 回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>しゅんぎく</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td>9 g/m^2</td><td rowspan="3">定植時</td><td rowspan="3">植溝
土壌混和</td><td rowspan="3">3 回以内
(は種時及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>いちご</td><td>ﾜﾀｱﾌﾞﾗﾑｼ</td><td>0.5~1 g/株</td><td>植穴
土壌混和</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>ｵｸﾗ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">9 g/m^2</td><td rowspan="2">生育期
但し、
収穫開始 14 日前まで</td><td rowspan="2">株元散布</td><td rowspan="2">3 回以内
(株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>さやえんどう</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む
農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>ﾚﾀｽ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ</td><td>2 g/株</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="2">植穴
土壌混和</td><td>4 回以内
(は種前の培土混和は
1 回以内、
育苗期の株元散布、
定植時の土壌混和及び
育苗ﾄﾚｲへの灌注は
合計 1 回以内、
散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>しそ</td><td>ﾏﾃﾞｲﾗｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ</td><td>2 g/株
(但し、1 m^2 当り 25 g まで)</td><td>3 回以内
定植時の土壌混和は
1 回以内、散布は
2 回以内）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">きく
ｶﾞｰﾍﾞﾗ</td><td>ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ</td><td>2g/株
(但し､1 m^2 当り 30 g まで)</td><td rowspan="2">定植時</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="2">植穴
土壌混和</td><td rowspan="5">5 回以内
(土壌混和は 1 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>1 g/株
(但し､1 m^2 当り 30 g まで)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">花き類･
観葉植物
(きく､ｶﾞｰﾍﾞﾗを除く)</td><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>20 g/m^2</td><td>生育期</td><td>5 回以内</td><td>株元散布</td></tr>
<tr><td>1 g/株
(但し､1 m^2 当り 30 g まで)</td><td>定植時</td><td>1 回</td><td>植穴
土壌混和</td></tr>
<tr><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>つつじ類</td><td>ﾂﾂｼﾞｸﾞﾝﾊﾞｲ</td><td>6 g/m^2</td><td>発生初期</td><td>5 回以内</td><td>株元散布</td><td>5 回以内</td></tr>
</table>

２．登録番号 **20808**：スタークル箱粒剤、
登録番号 **20960**：三井東圧アルバリン箱粒剤
（ジノテフラン **2.0 %**粒剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">稲
(箱育苗)</td><td rowspan="2">ｳﾝｶ類
ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ
ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ
ｲﾈｸﾛｶﾒﾑｼ</td><td rowspan="3">育苗箱
(30×60×3 cm、
使用土壌約 5 L)
1 箱当り 50 g</td><td>は種前</td><td rowspan="3">1 回</td><td>育苗箱の
床土又は覆
土に均一に
混和する。</td><td rowspan="3">4 回以内
(育苗箱への
処理及び側条
施用は合計
1 回以内、本
田での散布、
空中散布、
無人ﾍﾘ散布は
合計 3 回以内)</td></tr>
<tr><td>は種時覆土前
～
移植当日</td><td rowspan="2">育苗箱の上
から均一に
散布する。</td></tr>
<tr><td>ﾆｶﾒｲﾁｭｳ
ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ</td><td>移植 3 日前
～
移植当日</td></tr>
</table>

３．登録番号 **20811**：スタークル顆粒水溶剤、
登録番号 **20812**：アルバリン顆粒水溶剤、
登録番号 **20813**：ホクコースタークル顆粒水溶剤、
登録番号 **20961**：三井東圧アルバリン顆粒水溶剤
（ジノテフラン **20.0** %水溶剤）

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	—	ｶﾒﾑｼ類	2000 倍	60~150 L/10 a	収穫7 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)
		ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	3000 倍					
未成熟とうもろこし		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類	2000 倍	100~300 L/10 a	収穫前日まで			3 回以内
とうもろこし (子実)		ﾑｷﾞｸﾋﾞﾚｱﾌﾞﾗﾑｼ ｶﾒﾑｼ類						
ﾋﾟｰﾏﾝ		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	3000 倍			2 回以内		3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
		ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	2000~3000 倍					
		ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｶﾒﾑｼ類	2000 倍					
ﾄﾏﾄ ﾐﾆﾄﾏﾄ		ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	100 倍	ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1 箱または ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ 1 冊 (30×60 cm・使用土壌約1.5~4.0 L)当り 0.5L	鉢上時又は定植時	1 回	灌注	5 回以内 (培土混和及び灌注は合計 1 回以内、育苗期の株元散布は 1 回以内、定植時の土壌混和は 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
			2000~3000 倍	100~300 L/10 a	収穫前日まで	2 回以内	散布	
		ｶﾒﾑｼ類	2000 倍					
なす		ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	2000~3000 倍					3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	3000 倍					
		ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｶﾒﾑｼ類	2000 倍					

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用場所</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">とうがらし類</td><td rowspan="9">－</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>3000 倍</td><td rowspan="6">100~300
L/10 a</td><td rowspan="3">収穫前
日まで</td><td rowspan="6">2 回
以内</td><td rowspan="6">散布</td><td rowspan="3">4 回以内
(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1 回以内、定植後の株元散布は1 回以内、散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類</td><td>2000~
3000 倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾅｽﾐﾊﾞｴ</td><td>2000 倍</td></tr>
<tr><td rowspan="3">とうがらし
(葉)</td><td>ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類</td><td>2000~
3000 倍</td><td rowspan="3">収穫 14
日前ま
で</td><td rowspan="3">3 回以内
(定植時の土壌混和は1 回以内、散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>3000 倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>2000 倍</td></tr>
<tr><td rowspan="3">かぼちゃ</td><td>ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">2000 倍</td><td rowspan="2">収穫
前日
まで</td><td rowspan="3">3 回以内
(定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計1 回以内、散布は2 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td></tr>
<tr><td>100 倍</td><td>ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1 箱
または
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1 冊(30×60 cm・使用土壌約1.5~4.0L)当り 0.5L</td><td>定植前日
~
定植時</td><td>1 回</td><td>灌注</td></tr>
<tr><td rowspan="2">きゅうり</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類</td><td>2000~
3000 倍</td><td rowspan="4">100~300
L/10 a</td><td rowspan="2">収穫
前日
まで</td><td rowspan="4">2 回
以内</td><td rowspan="4">散布</td><td rowspan="2">4 回以内
(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1 回以内、定植後の株元散布は1 回以内、散布は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｳﾘﾊﾑｼ
ｶﾒﾑｼ類</td><td>2000 倍</td></tr>
<tr><td>すいか</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>2000~
3000 倍</td><td>収穫7 日
前まで</td><td>4 回以内
(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1 回以内、定植後の株元散布は1 回以内、散布は2 回以内)</td></tr>
</table>

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
ﾒﾛﾝ		ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	2000~3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	3000倍					
		ｱｻﾞﾐｳﾏ類	2000倍					
うり類 (漬物用)		ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類			収穫前日まで			3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	2000~3000倍					
にがうり		ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	2000倍					
ｽﾞｯｷｰﾆ		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類						4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
まくわうり			3000倍		収穫3日前まで			2回以内
きゅうり(葉)		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類						
きゅうり(花)	―				収穫前日まで			
ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	2000~3000倍		収穫3日前まで			3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｶﾞ	100倍	ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5~4.0L)当り0.5L	定植時	1回	灌注	
はくさい		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	2000~3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
		ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ ﾀﾞｲｺﾝﾊﾑｼ	2000倍					
ｷｬﾍﾞﾂ	―	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	2000~3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
		ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｶﾞ ｱｵﾑｼ ﾊﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ	50~100倍	ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊（30×60 cm・使用土壌約3L）当り0.5L	定植前日~定植時	1回	灌注	

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用場所</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ﾚﾀｽ
非結球ﾚﾀｽ</td><td rowspan="9">－</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>2000~
3000倍</td><td>100~300
L/10a</td><td>収穫3日
前まで</td><td>2回
以内</td><td>散布</td><td rowspan="3">4回以内
(は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td><td>50倍</td><td rowspan="2">ｾﾙ成型育苗
ﾄﾚｲ1箱
または
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊
(30×60
cm・
使用土壌
約1.5~4.0L)当
り0.5L</td><td rowspan="2">定植前日
~
定植時</td><td rowspan="2">1回</td><td rowspan="2">灌注</td></tr>
<tr><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ</td><td>50~
100倍</td></tr>
<tr><td>非結球あぶらな科
葉菜類
(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ、
畑わさびを
除く)
かぶ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>3000倍</td><td rowspan="6">100~300
L/10a</td><td rowspan="5">収穫3日
前まで</td><td rowspan="4">2回
以内</td><td rowspan="6">散布</td><td rowspan="2">3回以内
(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)</td></tr>
<tr><td>ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ</td><td>2000倍</td></tr>
<tr><td>ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>3000倍</td><td>3回以内
(は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)</td></tr>
<tr><td></td><td>ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ</td><td rowspan="3">2000倍</td></tr>
<tr><td>畑わさび</td><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅﾄﾋﾞﾊﾑｼ</td><td rowspan="2">3回
以内</td><td rowspan="2">3回以内</td></tr>
<tr><td>わさび</td><td>畑育
苗期</td></tr>
<tr><td rowspan="3">だいこん</td><td rowspan="4">－</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>2000~
3000倍</td><td rowspan="4">100~300
L/10a</td><td rowspan="3">収穫7日
前まで</td><td rowspan="3">2回
以内</td><td rowspan="4">散布</td><td rowspan="3">5回以内
(は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>ﾀﾞｲｺﾝﾊﾑｼ</td><td>2000倍</td></tr>
<tr><td>ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ</td><td>1000倍</td></tr>
<tr><td>ｸﾚｿﾝ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>3000倍</td><td>収穫3日前
まで</td><td>3回
以内</td><td>3回以内</td></tr>
</table>

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
ねぎ	―	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (は種時の土壌混和、育苗ﾄﾚｲへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
		ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ ﾀﾈﾊﾞｴ ﾈｷﾞｺｶﾞ	50倍	ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱 または ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊 (30×60 cm・使用土壌約1.5~4.0 L)当り0.5 L	定植前日～定植時	1回	灌注	
		ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類	1000倍	1 L/m²	生育期 但し、収穫14日前まで		株元灌注	
		ｱｻﾞﾐｳﾏ類						
		ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ﾄﾋﾞｲﾛﾋｮｳﾀﾝｿﾞｳﾑｼ	400倍	0.4 L/m²				
たまねぎ		ｱｻﾞﾐｳﾏ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時の灌注は1回以内、散布は3回以内)
		ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	50倍	ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱又はﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5~4.0 L)当り0.5 L	定植前日～定植時	1回	灌注	
にら	―	ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ	400倍	0.4 L/m²	生育期 但し、収穫14日前まで	1回	株元灌注	3回以内 (生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
		ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
		ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類	1000倍	1 L/m²	生育期 但し、収穫14日前まで	1回	株元灌注	
わけぎ		ｱｻﾞﾐｳﾏ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (定植後の株元散布は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
		ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	400倍	0.4 L/m²	生育期 但し、収穫14日前まで	1回	株元灌注	

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
アスパラガス	—	コナジラミ類 アザミウマ類 カメムシ類 ジュウジホシクビナガハムシ	2000倍	100~800 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
らっきょう		アザミウマ類		100~300 L/10a	収穫7日前まで			5回以内 (粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
さとうきび		アブラムシ類 カンシャコバネナガカメムシ サトウキビチビアザミウマ						
にんじん		アブラムシ類		100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
		トビイロヒョウタンゾウムシ クロバネキノコバエ類	400倍	0.4 L/m^2	生育期 但し、収穫21日前まで	1回	株元灌注	
セルリー		アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ほうれんそう		アブラムシ類 ウリハムシモドキ	3000倍		収穫3日前まで			3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
しゅんぎく		アブラムシ類			収穫前日まで			3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
みつば	—	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで 但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	2回以内	散布	2回以内
だいず		カメムシ類 ダイズサヤタマバエ	2000倍		収穫7日前まで			3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)
		フタスジヒメハムシ	3000倍					
あずき		アブラムシ類				3回以内		3回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、未成熟ささげ、未成熟そらまめを除く)	—	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
えだまめ		カメムシ類 ダイズサヤタマバエ アブラムシ類 ハモグリバエ類						3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)
		フタスジヒメハムシ	3000倍					
未成熟ささげ		アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000倍		収穫前日まで			2回以内
さやいんげん		アブラムシ類 ハモグリバエ類 コナジラミ類 カメムシ類						3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
さやえんどう 実えんどう		アブラムシ類 ハモグリバエ類 ウラナミシジミ カメムシ類						3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
未成熟そらまめ		アブラムシ類 ハモグリバエ類 カメムシ類			収穫7日前まで			2回以内
しょうが	—	クロバネキノコバエ類		100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
オクラ		アブラムシ類 フタテンミドリヒメヨコバイ						
ばれいしょ		ワタアブラムシ			収穫7日前まで			2回以内
かんしょ		コナジラミ類 アブラムシ類			収穫3日前まで	1回		1回
せり	水田	アブラムシ類			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
せり (水耕栽培)	ガラス室等の施設				収穫3日前まで			
すいぜんじな	—	アブラムシ類			収穫3日前まで	2回以内		2回以内
モロヘイヤ		アザミウマ類			収穫前日まで			
なんてん(葉)		アブラムシ類			収穫7日前まで			3回以内 (土壌表面散布は1回以内、散布は2回以内)
ふき		コナジラミ類						

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
りんご	―	アブラムシ類 キンモンホソガ シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
もも ネクタリン		アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類 モモチョッキリゾウムシ						
おうとう		オウトウショウジョウバエ カメムシ類				2回以内		2回以内
なし		アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コナカイガラムシ類 チュウゴクナシキジラミ				3回以内		3回以内
かき		カメムシ類 コナカイガラムシ類 カキノヘタムシガ アザミウマ類						4回以内 (塗布は 1回以内、散布 及び無人航空機 散布は合計 3回以内)
ぶどう	―	フタテンヒメヨコバイ	3000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内 (塗布は1回以内)
		カメムシ類 ブドウトラカミキリ	2000倍					
		チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類	1000~ 2000倍					
ラズベリー		アザミウマ類	2000倍			2回以内		2回以内
かんきつ		チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類	1000~ 2000倍			3回以内		3回以内
		ゴマダラカミキリ	1000倍					
		アブラムシ類 ミカンハモグリガ カメムシ類 コアオハナムグリ ケシキスイ類 ミカンバエ アカマルカイガラムシ ヤノネカイガラムシ サンホーゼカイガラムシ ミカンキジラミ コナジラミ類 チャノミドリヒメヨコバイ アオバハロロモ	2000倍					
小粒核果類		アブラムシ類 カメムシ類 シンクイムシ類 モモヒメヨコバイ						

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
キウイフルーツ	—	カメムシ類	1000~2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
マンゴー		チャノキイロアザミウマ	2000倍					
びわ		カメムシ類 ビワキジラミ				2回以内		2回以内
あけび(果実)		カメムシ類			収穫14日前まで			
オリーブ					収穫前日まで			
オリーブ(葉)					収穫14日前まで			
茶		チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ ツマグロアカスジカメ コミカンアブラムシ		200~400 L/10a	摘採7日前まで			
てんさい		アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ	2000~3000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (灌注は1回以内、散布は2回以内)
		カメノコハムシ	1000~2000倍					
		カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	100~200倍	5L/ペーパーポット6冊(2.5L/m²)	移植前	1回	灌注	
		アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	100~240倍	6L/ペーパーポット6冊(3 L/m²)				
かんきつ(苗木)		ミカンハモグリガ	50倍	100mL/株	育苗期	5回以内	株元灌注	5回以内
えごま(種子)		カメムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	5回以内
アマランサス(茎葉) しそ(花穂) しそ科葉菜類(しそ、バジルを除く)		アブラムシ類	3000倍			2回以内		2回以内
しそ		アブラムシ類 ウリハムシモドキ						3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
バジル しょくようほおずき 食用ミニバラ 食用カーネーション 食用パンジー 食用金魚草 食用トレニア 食用なでしこ 食用プリムラ 食用ヒキザカム 食用せんにちこう		アブラムシ類 コナジラミ類						2回以内
食用コスモス					収穫7日前まで			

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
食用ぎく	—	アブラムシ類 コナジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布及び株元散布は合計3回以内)
花き類・観葉植物(きくを除く)		アブラムシ類 コナジラミ類	2000~3000倍		発生初期	5回以内	散布	5回以内 (土壌混和は1回以内)
		ハモグリバエ類	1000倍	1 L/m²			灌注	
きく		アブラムシ類 コナジラミ類	2000~3000倍	100~300 L/10a			散布	
		カメムシ類	2000倍					
		ハモグリバエ類	1000~2000倍	1 L/m²			灌注	
樹木類(つつじ類、つばき類を除く)		ケムシ類	2000倍	100~700 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
つつじ類		ツツジグンバイケムシ類		100~300 L/10a				
つばき類		ケムシ類		100~700 L/10a				5回以内 (株元灌注は2回以内)
		チャドクガ	100倍	0.5~2 L/樹【但し、220 L/10aまで)		2回以内	株元灌注	
いぐさ		イグサシンムシガ	1000倍	100~150 L/10a	発生初期		散布	2回以内
いね科牧草		アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内		3回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かき	コナカイガラムシ類	20~40 g/樹	発芽前~発芽期	1回	本剤1g当り水1mLの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する。	4回以内 (塗布は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内)
ぶどう			幼果期まで 但し、収穫30日前まで			3回以内 (塗布は1回以内)
	クビアカスカシバ	40 g/樹				

４．登録番号 **20814**：スタークル粉剤 **DL**、
登録番号 **20815**：アルバリン粉剤 **DL**、
登録番号 **20816**：ホクコースタークル粉剤 **DL**、
登録番号 **20962**：三井東圧アルバリン粉剤 **DL**
（ジノテフラン **0.50 %**粉剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>稲</td><td>ｳﾝｶ類
ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
ｶﾒﾑｼ類
ｲﾅｺﾞ類
ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ
ﾆｶﾒｲﾁｭｳ
ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ</td><td rowspan="2">3 kg/10 a</td><td rowspan="2">収穫 7 日前
まで</td><td>3 回
以内</td><td rowspan="2">散布</td><td>4 回以内
(育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)</td></tr>
<tr><td>だいず
えだまめ</td><td>ｶﾒﾑｼ類
ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ
ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ</td><td>2 回
以内</td><td>3 回以内
(は種時の土壌混和は 1 回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計 2 回以内)</td></tr>
</table>

５．登録番号 20836：スタークルトレボン粉剤 DL
（エトフェンプロックス 0.30 %・ジノテフラン 0.50 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ｲﾅｺﾞ類 ﾆｶﾒｲﾁｭｳ	3 kg/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)

６．登録番号 21025：ホクコーラブサイドスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・フサライド 2.5 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	3 回以内
	ｲﾅｺﾞ類 ﾆｶﾒｲﾁｭｳ	4 kg/10 a					

７．登録番号 21027：ビームスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・トリシクラゾール 0.50 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ｲﾅｺﾞ類	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)	4 kg/10 a					

８．登録番号 21191：ビームバシスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・トリシクラゾール 0.50 %・メプロニル 3.0 %粉剤）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを 含む農薬の 総使用回数	ﾒﾌﾟﾛﾆﾙを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ｲﾅｺﾞ類	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	3 回以内
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 紋枯病	4 kg/10 a						

９．登録番号 21248：スタークル L 粉剤 DL、
登録番号 21435：スタークルメイト L 粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	3 kg/10 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、 本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は 合計 3 回以内)
	ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a				

１０．登録番号 21259：スタークル液剤 10、
登録番号 21260：スタークルメイト液剤 10、
登録番号 24582：アルバリン液剤 10
（ジノテフラン 10.0 %液剤）

（１）スタークル液剤 10

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類	30 倍	3 L/10a	収穫7 日前まで	3 回以内	無人航空機による散布	4 回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3 回以内)
		16 倍	1.6 L/10 a				
	ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	1000 倍	60~150 L/10a			散布	
	ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	300 倍	25 L/10 a				
		8 倍	0.8 L/10 a			無人航空機による散布	
						空中散布	
		30 倍	3 L/10a				
小麦	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000 倍	60~150 L/10a		2 回以内	散布	2 回以内
		8 倍	0.8 L/10 a			無人航空機による散布	
だいこん	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	8~16 倍	1.6 L/10 a		2 回以内	無人航空機による散布	5 回以内(は種時の播溝土壌混和は1 回以内、は種時の全面土壌混和は1 回以内、粒剤の散布は1 回以内、水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計2 回以内)
ｷｬﾍﾞﾂ				収穫3 日前まで			3 回以内(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計2 回以内)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	8~16倍	1.6L/10a	収穫3日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3回以内(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
ねぎ	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	10~16倍	1.6L/10a	収穫3日前まで	2回以内	無人航空機による散布	4回以内(は種時の土壌混和、育苗ﾄﾚｲへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
さとうきび	ｶﾝｼｬｺﾊﾞﾈｱｶﾞｶﾒﾑｼ ｲﾅｺﾞ類	1000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	5回以内(粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
		14倍	2.4 L/10a			無人航空機による散布	
だいず えだまめ	ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ	1000倍	100~300 L/10a		2回以内	散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)
		8倍	0.8L/10a			無人航空機による散布	
						空中散布	
らっきょう	ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類		1.6L/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
いね科牧草	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	1000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで		散布	

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td rowspan="3">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="3">8~16倍</td><td rowspan="3">1.6 L/10 a</td><td rowspan="3">収穫3 日
前まで</td><td>1回</td><td rowspan="4">無人航
空機に
よる
散布</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td rowspan="2">2回
以内</td><td>3回以内
(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>ﾚﾀｽ
非結球ﾚﾀｽ</td><td>4回以内
(は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>ｶﾒﾑｼ類</td><td>20倍</td><td>8 L/10 a</td><td>収穫前
日まで</td><td>3回
以内</td><td>4回以内
(塗布は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内)</td></tr>
</table>

（２）スタークルメイト液剤 10

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="7">稲</td><td rowspan="2">ｳﾝｶ類</td><td>30 倍</td><td>3 L/10a</td><td rowspan="11">収穫7 日
前まで</td><td rowspan="7">3 回
以内</td><td rowspan="2">無人航空機
による散布</td><td rowspan="7">4 回以内
(育苗箱への
処理及び側条施用
は合計1 回以内、
本田での散布、空中
散布、無人航空機散
布は合計3 回以内)</td></tr>
<tr><td>16 倍</td><td>1.6L/10a</td></tr>
<tr><td>ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ</td><td rowspan="2">1000 倍</td><td rowspan="2">60~150
L/10a</td><td rowspan="2">散布</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ｳﾝｶ類
ｶﾒﾑｼ類</td></tr>
<tr><td>300 倍</td><td>25L/10a</td></tr>
<tr><td>8 倍</td><td>0.8L/10a</td><td>無人航空機
による散布</td></tr>
<tr><td>30 倍</td><td>3 L/10a</td><td>空中散布</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小麦</td><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>1000 倍</td><td>60~150
L/10a</td><td rowspan="2">2 回
以内</td><td>散布</td><td rowspan="2">2 回以内</td></tr>
<tr><td>8 倍</td><td>0.8 L/10 a</td><td>無人航
空機に
よる散
布</td></tr>
<tr><td>だいこん</td><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">8~16 倍</td><td rowspan="2">1.6L/10a</td><td rowspan="2">2 回
以内</td><td rowspan="2">無人航空機
による散布</td><td>5 回以内
(は種時の播溝土
壌混和は1 回以
内、は種時の全面
土壌混和は1 回
以内、
粒剤の散布は
1 回以内、
水溶剤の散布、
液剤の散布及び
無人航空機散布
は合計2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｷｬﾍﾞﾂ</td><td>収穫3 日
前まで</td><td>3 回以内
(育苗期の株元散
布、定植時の土
壌混和及び灌注
は合計1 回以内、
散布及び無人航
空機散布は合計
2 回以内)</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用方法</th><th>ジノテフランを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>10~16倍</td><td>1.6L/10a</td><td>収穫3日
前まで</td><td>2回
以内</td><td>無人航空機
による散布</td><td>4回以内
(は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">さとうきび</td><td rowspan="2">ｶﾝｼｬｺﾊﾞﾈｶｶﾞｶﾒﾑｼ
ｲﾅｺﾞ類</td><td>1000倍</td><td>100~300
L/10a</td><td rowspan="4">収穫7日
前まで</td><td rowspan="2">3回
以内</td><td>散布</td><td rowspan="2">5回以内
(粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)</td></tr>
<tr><td>14倍</td><td>2.4
L/10a</td><td>無人航空機
による散布</td></tr>
<tr><td rowspan="3">だいず
えだまめ</td><td rowspan="3">ｶﾒﾑｼ類
ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ
ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ</td><td>1000倍</td><td>100~300
L/10a</td><td rowspan="3">2回
以内</td><td>散布</td><td rowspan="3">3回以内
(は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">8倍</td><td rowspan="2">0.8L/10a</td><td>無人航空機
による散布</td></tr>
<tr><td>空中散布</td></tr>
<tr><td>らっきょう</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類</td><td>1.6L/10a</td><td>収穫前日
まで</td><td rowspan="2">3回
以内</td><td>無人航空機
による散布</td><td rowspan="2">3回以内</td></tr>
<tr><td>いね科牧草</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>1000倍</td><td>100~300
L/10a</td><td>収穫7日
前まで</td><td>散布</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td rowspan="3">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="3">8~16倍</td><td rowspan="3">1.6 L/10 a</td><td rowspan="3">収穫3 日
前まで</td><td>1回</td><td rowspan="4">無人航
空機に
よる
散布</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td rowspan="2">2回
以内</td><td>3回以内
(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>ﾚﾀｽ
非結球ﾚﾀｽ</td><td>4回以内
(は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>ｶﾒﾑｼ類</td><td>20倍</td><td>8 L/10 a</td><td>収穫前
日まで</td><td>3回
以内</td><td>4回以内
(塗布は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内)</td></tr>
<tr><td>そてつ</td><td>ｿﾃﾂｼﾛｶｲｶﾞﾗﾑｼ</td><td>5倍</td><td>400～800 mL/株
(但し、40 L/10 aまで)</td><td>新葉展
開前</td><td>1回</td><td>株元灌注</td><td>5回以内</td></tr>
</table>

（３）アルバリン液剤 10

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍率</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む
農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>小麦</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>8 倍</td><td>0.8 L/
10 a</td><td>収穫 7 日
前まで</td><td rowspan="6">2 回
以内</td><td rowspan="10">無人航
空機に
よる散
布</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>だいこん</td><td rowspan="4">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="4">8~16 倍</td><td rowspan="5">1.6 L/10 a</td><td>収穫 7 日
前まで</td><td>5 回以内
(は種時の播溝土壌混和は 1 回以内､は種時の全面土壌混和は 1 回以内、粒剤の散布は 1 回以内、水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ｷｬﾍﾞﾂ</td><td rowspan="3">収穫 3 日
前まで</td><td>3 回以内
(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ</td><td>3 回以内
(定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>10~16 倍</td><td>4 回以内
(は種時の土壌混和、育苗ﾄﾚｲへの灌注及び定植時の株元散布は合計 1 回以内、生育期の株元灌注は 1 回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td rowspan="3">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="3">8~16 倍</td><td rowspan="3">1.6 L/10 a</td><td rowspan="3">収穫 3 日
前まで</td><td>1 回</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td rowspan="2">3 回
以内</td><td>3 回以内
(定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内､散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ﾚﾀｽ
非結球ﾚﾀｽ</td><td>4 回以内
(は種前の培土混和は 1 回以内､育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計 1 回以内､散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>ｶﾒﾑｼ類</td><td>20 倍</td><td>8 L/10 a</td><td>収穫前日
まで</td><td>3 回
以内</td><td>4 回以内
(塗布は 1 回以内､散布及び無人航空機散布は合計 3 回以内)</td></tr>
</table>

１１．登録番号 21276：スタークル１キロ H 粒剤、
登録番号 21277：スタークルメイト１キロ H 粒剤
（ジノテフラン 3.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ	1 kg/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)
					無人航空機による散布	

１２．登録番号 21497：ホクコービルダースタークル箱粒剤
（ジノテフラン 2.0 %・プロベナゾール 10.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌﾟﾛﾍﾞﾅｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ もみ枯細菌病 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3 cm 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 3 日前~移植当日	1 回	育苗箱の苗の上から均一に散布する	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内)
	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｲﾈｸﾛｶﾒﾑｼ いもち病		緑化期~移植当日				

１３．登録番号 21607：スタークルエアー50、
登録番号 21608：スタークルメイトエアー50、
登録番号 24012：ファームスター顆粒水溶剤 50
（ジノテフラン 50.0 %水溶剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	散布液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
稲	ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類	40 倍	0.8 L/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)
						空中散布	

１４．登録番号 21710：ホクコーラブサイドスタークルフロアブル（ジノテフラン 5.0 %・フサライド 12.0 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	500 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	3 回以内
	いもち病 ｶﾒﾑｼ類	150 倍	25 L/10 a					
	いもち病 ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類	4 倍	0.8 L/10 a			無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布		
		原液	0.2 L/10 a			空中散布		

１５．登録番号 21801：ワイドナーエース粉剤 DL（ジノテフラン 0.35 %・テブフェノジド 0.75 %・ブプロフェジン 1.0 %・フサライド 2.5 %・フルトラニル 2.0 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	紋枯病 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾈﾂﾄﾑｼ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ いもち病	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布

ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾃﾌﾞﾌｪﾉｼﾞﾄﾞを含む農薬の総使用回数	ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数	ﾌﾙﾄﾗﾆﾙを含む農薬の総使用回数
4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	2 回以内	4 回以内 (小包装投入は 1 回以内)	3 回以内	3 回以内 (小包装投入は 1 回以内)

１６．登録番号 21871：コラトップスタークル１キロ粒剤
（ジノテフラン 5.0 %・ピロキロン 15.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾋﾟﾛｷﾛﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	1 kg/10 a	出穂 5 日前まで	2 回以内	散布 無人航空機による散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	3 回以内 (直播でのは種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)

１７．登録番号 21886：イモチエーススタークル粒剤、
登録番号 21888：ホクコーイモチエーススタークル粒剤
（ジノテフラン 1.67 %・メトミノストロビン 4.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾒﾄﾐﾉｽﾄﾛﾋﾞﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(ｱﾙﾀﾅﾘｱ菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 墨黒穂病 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ	3 kg/10 a	収穫 35 日前まで	1 回	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	1 回

１８．登録番号 21975：トレボンスター粉剤 DL
（エトフェンプロックス 0.40 %・ジノテフラン 0.20 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
稲	ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ	4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)
	ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	3~4 kg/10 a					
だいず	ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｽｼﾞﾋﾒﾊﾑｼ		収穫 14 日前まで	2 回以内		2 回以内	3 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計 2 回以内)

１９．登録番号 22036：ビームエイトスタークルゾル
（ジノテフラン 10.0 %・トリシクラゾール 8.0 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)
		250~300 倍	25 L/10 a					
		8 倍	0.8 L/10 a			無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる 散布		

２０．登録番号 22037：トレボンスターフロアブル
（エトフェンプロックス 7.0 %・ジノテフラン 3.0 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを 含む農薬の 総使用回数	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数
稲	ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類 ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ	1000 倍	60~ 150 L/10 a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)
	ｶﾒﾑｼ類	300 倍	25 L/10 a					
	ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類 ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	8 倍	0.8 L/10 a			無人航空 機による 散布		
だいず	ｶﾒﾑｼ類				2 回以内		2 回以内	3 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計 2 回以内)

２１．登録番号 22063：日農ビームアプロードスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・ブプロフェジン 1.0 %・トリシクラゾール 0.50 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数
稲	ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ いもち病	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (小包装投入は 1 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)

２２．登録番号 22102：ビームモンセレンスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・トリシクラゾール 0.50 %・ペンシクロン 1.5 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数	ﾍﾟﾝｼｸﾛﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a	収穫 21 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	4 回以内

２３．登録番号 22130：わさび用緑風 SG
（ジノテフラン 20.0 %水溶剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
わさび	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類	2000 倍	100~200 L/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

２４．登録番号 22268：ビームモンカットスタークル F 粉剤５DL
（ジノテフラン 0.35 %・トリシクラゾール 0.50 %・フルトラニル 2.0 %粉剤）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを 含む農薬の 総使用回数	ﾌﾙﾄﾗﾆﾙを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前 まで	3 回以 内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	3回以内 （小包装投入は 1 回以内）

２５．登録番号 22332：スタークル豆つぶ、
登録番号 22333：クミアイスタークル豆つぶ、
登録番号 22495：スタークルメイト豆つぶ
（ジノテフラン 12.0 %剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む 農薬の総使用回数
稲	ｶﾒﾑｼ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ	250 g/10 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)
	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	250~500 g/10 a				

２６．登録番号 22416：Dr. オリゼスタークル箱粒剤、
登録番号 23950：オリザエートスター箱粒剤
（ジノテフラン 2.0 %・プロベナゾール 25.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾌﾟﾛﾍﾞﾅｿﾞｰﾙを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 ｳﾝｶ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾈｸﾛｶﾒﾑｼ もみ枯細菌病 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3 cm 使用 土壌約 5 L)1 箱当 り 50 g	緑化期~ 移植当日	1 回	育苗箱の 苗の上か ら均一に 散布する。	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内)
	ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ		移植 3 日前~ 移植当日				

２７．登録番号 22479：ダブルカットスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・カスガマイシン 0.11 %・トリシクラゾール 0.50 %粉剤）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a	穂揃 期 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (種子浸漬は 1 回以内、育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)
	ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾅｺﾞ類	4 kg/10 a						

２８．登録番号 22642：ホクコートップジンスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・チオファネートメチル 2.0 %粉剤）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類 紋枯病	3~4 kg/10 a	収穫 14 日 前まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	3回以内 (種子への処理は 1回以内)

２９．登録番号 22725：キックオフ顆粒水和剤
（クロラントラニリプロール 4.0 %・ジノテフラン 15.0 %水和剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙを
含む農薬の
総使用回数</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>なし</td><td>ｶﾒﾑｼ類
ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="8">2000 倍</td><td rowspan="6">200~700
L/10a</td><td rowspan="2">収穫前日
まで</td><td>3 回
以内</td><td rowspan="8">散布</td><td>3 回以内</td><td rowspan="4">3 回以内</td></tr>
<tr><td>もも</td><td rowspan="3">ｼﾝｸｲﾑｼ類
ｶﾒﾑｼ類
ﾊﾏｷﾑｼ類
ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ</td><td rowspan="2">2 回
以内</td><td rowspan="2">2 回以内</td></tr>
<tr><td>ﾈｸﾀﾘﾝ</td><td>収穫3 日前
まで</td></tr>
<tr><td>うめ</td><td>ｹﾑｼ類
ｶﾒﾑｼ類</td><td>収穫14 日前
まで</td><td rowspan="4">3 回
以内</td><td rowspan="2">3 回以内</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類
ｶｷﾉﾊﾀﾑｼｶﾞ
ｶﾒﾑｼ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｹﾑｼ類</td><td>収穫前日
まで</td><td>4 回以内
(塗布は 1 回以内、散布及び無人航空機散布は
合計 3 回以内)</td></tr>
<tr><td>さとうきび</td><td>ｶﾝｼｬｺﾊﾞﾈｶﾞｶﾒﾑｼ
ｻﾄｳｷﾋﾞﾁﾋﾞｱｻﾞﾐｳﾏ
ｱﾜﾖﾄｳ
ｲﾅｺﾞ類
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾒｲﾁｭｳ類
ﾂﾏｼﾞﾛｸｻﾖﾄｳ</td><td>100~300
L/10a</td><td>収穫30 日前
まで</td><td>4 回以内
(粒剤は1 回
以内、水和剤
は3 回以内)</td><td>5 回以内
(粒剤は2 回以内、
液剤、水溶剤及び
水和剤は合計3 回
以内)</td></tr>
<tr><td>ｷｬﾍﾞﾂ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ﾖﾄｳﾑｼ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ</td><td rowspan="3">100 倍</td><td rowspan="3">ｾﾙ成型育苗
ﾄﾚｲ 1 箱
または
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ
1 冊(30×60
cm・
使用土壌
約1.5~4.0 L)
当り 0.5 L</td><td rowspan="3">定植前日
～
定植時</td><td rowspan="3">1 回</td><td rowspan="3">灌注</td><td rowspan="3">4 回以内
(定植時まで
の処理は1 回
以内、定植後
の処理は3 回以内)</td><td>3 回以内
(育苗期の株元散布、
定植時の土壌混和及
び灌注は合計1 回
以内、散布及び
無人航空機散布は
合計2 回以内)</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ﾖﾄｳﾑｼ
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ</td><td>3 回以内
(定植時の土壌混
和及び灌注は合計
1 回以内、散布及
び無人航空機散布
は合計 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ﾋﾒﾀﾞｲｺﾝﾊﾞｴ</td><td>3 回以内
(定植時の土壌混和及
び灌注は合計
1 回以内、散布及び
無人航空機散布は
合計2 回以内)</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙを
含む農薬の
総使用回数</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む
農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>ﾚﾀｽ</td><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ
ｶﾌﾞﾗﾔｶﾞ
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td><td rowspan="3">100倍</td><td rowspan="2">ｾﾙ成型育苗
ﾄﾚｲ1箱または
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ
1冊
(30×60cm・
使用土壌
約1.5~4.0L)
当り0.5L</td><td rowspan="3">定植前日
~
定植時</td><td rowspan="3">1回</td><td rowspan="3">灌注</td><td>4回以内
(定植時まで
の処理は1回
以内、定植後
の処理は
3回以内)</td><td rowspan="2">4回以内
(は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>非結球ﾚﾀｽ</td><td>4回以内
(灌注は1回
以内、散布は
3回以内)</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ
ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類</td><td>4回以内
(灌注は1回
以内、定植後の
処理は3回以内)</td><td>4回以内
(は種時の土壌混和、育苗ﾄﾚｲへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計
2回以内)</td></tr>
</table>

３０．登録番号 22924：ホクコートップジンスタークルフロアブル
（ジノテフラン 5.0 %・チオファネートメチル 20.0 %水和剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを
含む農薬の
総使用回数</th><th>ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="5">稲</td><td rowspan="3">いもち病
紋枯病
墨黒穂病
稲こうじ病
ｳﾝｶ類
ｶﾒﾑｼ類
ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ</td><td>500 倍</td><td>60~150
L/10 a</td><td rowspan="5">収穫 14 日
前まで</td><td rowspan="5">3 回
以内</td><td rowspan="2">散布</td><td rowspan="5">4 回以内
(育苗箱への処理
及び側条施用は
合計 1 回以内、本
田での散布、空中
散布、無人航空機
散布は合計 3 回
以内)</td><td rowspan="5">3 回以内
(種子への処理は
1 回以内)</td></tr>
<tr><td>150 倍</td><td>25
L/10 a</td></tr>
<tr><td rowspan="3">いもち病
紋枯病
ｶﾒﾑｼ類
ｳﾝｶ類</td><td>4 倍</td><td>0.8
L/10 a</td><td>無人航空
機による
散布</td></tr>
<tr><td rowspan="2">空中
散布</td></tr>
<tr><td>15 倍</td><td>3 L/10 a</td></tr>
</table>

３１．登録番号 22981：ダブルカットバリダスタークル粉剤３DL
（ジノテフラン 0.35 %・カスガマイシン 0.34 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %粉剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">稲</td><td>いもち病
紋枯病
もみ枯細菌病
ｳﾝｶ類
ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
ｶﾒﾑｼ類</td><td>3~4
kg/10 a</td><td rowspan="2">穂揃期
まで</td><td rowspan="2">2 回
以内</td><td rowspan="2">散布</td></tr>
<tr><td>ﾆｶﾒｲﾁｭｳ</td><td>4 kg/10 a</td></tr>
</table>

ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数	カスガマイシンを 含む農薬の 総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを 含む農薬の 総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを 含む農薬の 総使用回数
4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (種子浸漬は 1 回以内、育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	6 回以内 (育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)

３２．登録番号 22995：ダブルカットスタークルフロアブル
（ジノテフラン 10.0 %・カスガマイシン 1.37 %・トリシクラゾール 8.0 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 もみ枯細菌病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	1000 倍	60~150 L/10 a	穂揃期 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	4 回以内 (種子浸漬は 1 回以内、育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)
		300 倍	25 L/10 a						
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布			
						空中散布			

３３．登録番号 23074：アトラクトン箱粒剤、
登録番号 23075：スターダム箱粒剤
（ジノテフラン 12.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	ｶﾒﾑｼ類	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)
		高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)				
	ｳﾝｶ類 ｲﾅｺﾞ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾈｶﾗﾊﾞｴ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ		移植 3 日前 ~ 移植当日			
		育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g				

３４．登録番号 23076：Dr．オリゼスタークル箱粒剤 OS、
登録番号 23078：ロングリーチ箱粒剤
（ジノテフラン 12.0 %・プロベナゾール 24.0 %粒剤）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾌﾟﾛﾍﾞﾅｿﾞｰﾙを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	ｶﾒﾑｼ類	育苗箱 (30×60×3 cm 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 当日	1 回	育苗箱の 苗の上か ら均一に 散布する。	4 回以内 (育苗箱への 処理及び 側条施用は 合計 1 回以 内、本田での 散布、空中散 布、無人ﾍﾘ散 布は合計 3 回 以内)	2 回以内 (移植時まで の処理は 1 回 以内)
	ｳﾝｶ類 ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ｲﾈｶﾗﾊﾞｴ ｲﾅｺﾞ類 いもち病		移植 3 日 前~移植当 日				

３５．登録番号 23113：イッカツエース粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・テブフェノジド 0.75 %・カスガマイシン 0.34 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類 ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾈﾂﾄﾑｼ	3~4 kg/10 a	穂揃期まで	2 回以内	散布

ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む 農薬の総使用回数	ﾃﾌﾞﾌｪﾉｼﾞﾄﾞを含む 農薬の総使用回数	ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝを含む 農薬の総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む 農薬の総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む 農薬の総使用回数
4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	2 回以内	4 回以内 (種子浸漬は 1 回以内、育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 2 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	6 回以内 (育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)

３６．登録番号 23365：フェルテラスタークル箱粒剤 CU
（クロラントラニリプロール 0.75 %・ジノテフラン 6.0 %粒剤）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙを 含む農薬の 総使用回数	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	ｳﾝｶ類 ｲﾈﾐｽﾞｿｳﾑｼ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ｲﾈﾂﾄﾑｼ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り50 g	は種前	1回	育苗箱の 床土又は覆土 に均一に混和 する。	1回	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
		高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)					
			は種時覆土前 ~ 移植当日		育苗箱の 上から 均一に 散布する。		
		育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り50 g					
	ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｲﾈｸﾛｶﾒﾑｼ ｲﾅｺﾞ類	高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)	移植3日前 ~ 移植当日				

３７．登録番号 23370：スケルカット顆粒水和剤、
登録番号 23371：スケルノック顆粒水和剤
（ジノテフラン 40.0 %水和剤）

（１）スケルカット顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数
りんご	ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類	2000 倍	200~700 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ｼﾝｸｲﾑｼ類	2000~4000 倍					

（２）スケルノック顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数
りんご	ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類	2000 倍	200~700 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内

３８．登録番号 23372：スターガードプラス AL
（ジノテフラン 0.010 %・ペンチオピラド 0.010 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞを含む農薬の総使用回数
なす	うどんこ病 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	原液	収穫前日まで	2 回以内	散布	3 回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)	3 回以内
ﾋﾟｰﾏﾝ	うどんこ病 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類					3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)	
ﾄﾏﾄ ﾐﾆﾄﾏﾄ	葉かび病 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類					5 回以内 (育苗期の株元散布は 1 回以内、定植時の灌注は 1 回以内、定植時の土壌混和は 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)	
ｵｸﾗ さやいんげん さやえんどう 実えんどう	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類					3 回以内 (株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)	
きゅうり	うどんこ病 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｳﾘﾊﾑｼ					4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)	
すいか	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		収穫 7 日前まで				
ﾒﾛﾝ	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類		収穫 3 日前まで			3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)	
ｷｬﾍﾞﾂ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類					3 回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)	
はくさい	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類					3 回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)	

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数</th><th>ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="10">原液</td><td rowspan="4">収穫3日前まで</td><td rowspan="5">2回以内</td><td rowspan="10">散布</td><td>3回以内
(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td><td rowspan="2">3回以内</td></tr>
<tr><td>ﾚﾀｽ
非結球ﾚﾀｽ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>4回以内
(は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
さび病</td><td>4回以内
(は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)</td><td>4回以内
(株元灌注は2回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>豆類（未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、未成熟ささげを除く）</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>収穫7日前まで</td><td>2回以内</td><td rowspan="8">3回以内</td></tr>
<tr><td>えだまめ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｶﾒﾑｼ類</td><td>収穫7日前まで</td><td rowspan="2">2回以内</td><td>3回以内
(は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)</td></tr>
<tr><td>未成熟ささげ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>収穫前日まで</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td>ﾐｶﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ</td><td rowspan="4">収穫前日まで</td><td rowspan="4">3回以内</td><td rowspan="3">3回以内</td></tr>
<tr><td>りんご</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類、
うどんこ病</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>ｹﾑｼ類、
うどんこ病</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類</td><td>4回以内
(塗布は1回以内、散布は3回以内)</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数</th><th>ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>ぶどう</td><td>ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類、さび病</td><td rowspan="8">原液</td><td>収穫 7 日前まで</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="8">散布</td><td>3 回以内
(塗布は 1 回以内)</td><td rowspan="8">3 回以内</td></tr>
<tr><td>うめ
もも</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">収穫前日まで</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>おうとう</td><td>ｶﾒﾑｼ類</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>ばら</td><td>うどんこ病
黒星病
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾁｭｳﾚﾝｼﾞﾊﾊﾞﾁ</td><td rowspan="6">発生初期</td><td rowspan="6">3 回以内</td><td rowspan="2">5 回以内
(土壌混和は 1 回以内)</td></tr>
<tr><td>花き類・観葉植物(ばらを除く)</td><td>うどんこ病
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td></tr>
<tr><td>樹木類
(つつじ類、つばき類を除く)</td><td>ｹﾑｼ類
うどんこ病</td><td>5 回以内</td></tr>
<tr><td>つばき類</td><td>ｹﾑｼ類
うどんこ病</td><td>5 回以内
(株元灌注は 2 回以内)</td></tr>
<tr><td>つつじ類</td><td>ｹﾑｼ類
ﾂﾂｼﾞｸﾞﾝﾊﾞｲ
うどんこ病</td><td>5 回以内</td></tr>
</table>

３９．登録番号 23405：トライスタークル粉剤 DL、
登録番号 23407：クミアイトライスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・テブフロキン 1.0 %粉剤）

作物名	適　用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾃﾌﾞﾌﾛｷﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	2 回以内

４０．登録番号 23506：オールスタースプレー
（ジノテフラン 0.010 %液剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
ﾋﾟｰﾏﾝ	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類	原液	収穫前日まで	2回以内	希釈せずそのまま散布する	3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
ﾄﾏﾄ ﾐﾆﾄﾏﾄ	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類					5 回以内 (培土混和及び灌注は合計 1 回以内、育苗期の株元散布は 1 回以内、定植時の土壌混和は 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
なす	ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類					3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
すいか	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		収穫7日前まで			4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
とうがらし類	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類		収穫前日まで			
とうがらし(葉)			収穫14日前まで			3 回以内 (定植時の土壌混和は1 回以内、散布は2 回以内)
にがうり	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類		収穫前日まで			
かぼちゃ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類					3 回以内 (定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計1 回以内、散布は2 回以内)
ｽﾞｯｷｰﾆ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類					4 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
ﾒﾛﾝ	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類		収穫3日前まで			3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
きゅうり	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｳﾘﾊﾑｼ		収穫前日まで			4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
はくさい	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ ﾀﾞｲｺﾝﾊﾑｼ	原液	収穫3日前まで	2回以内	希釈せずそのまま散布する	3 回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類					3 回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
ｷｬﾍﾞﾂ						3 回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)
非結球あぶらな科葉菜類(ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ、畑わさびを除く) かぶ	ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ					3 回以内 (は種時の土壌混和は1 回以内、散布は 2 回以内)
ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ						3 回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
畑わさび	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類			3回以内		3回以内
だいこん	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾀﾞｲｺﾝﾊﾑｼ		収穫7日前まで	2回以内		5 回以内 (は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
ﾚﾀｽ 非結球ﾚﾀｽ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		収穫3日前まで			4 回以内 (は種前の培土混和は1 回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗ﾄﾚｲへの灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
ねぎ	ｱｻﾞﾐｳﾏ類					4 回以内 (は種時の土壌混和、育苗ﾄﾚｲへの灌注及び定植時の株元散布は合計 1 回以内、生育期の株元灌注は 1 回以内、散布、無人航空機散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
にら	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ		収穫前日まで			3 回以内 (生育期の株元灌注は1 回以内、散布は 2 回以内)
ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ	ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｼﾞｭｳｼﾎｼｸﾋﾞﾅｶﾞﾊﾑｼ ｶﾒﾑｼ類			3回以内		3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
らっきょう	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	原液	収穫前日まで	3回以内	希釈せずそのまま散布する	3回以内
未成熟とうもろこし	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類					
ｾﾙﾘｰ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		収穫14日前まで	2回以内		3 回以内 (定植時の土壌混和は1 回以内、散布は 2 回以内)
にんじん			収穫7日前まで			4 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内、生育期の株元灌注は 1 回以内、散布は 2 回以内)
だいず えだまめ	ｶﾒﾑｼ類 ﾀﾞｲｽﾞｻﾔﾀﾏﾊﾞｴ		収穫7日前まで	2回以内		3 回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)
実えんどう さやえんどう	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ｳﾗﾅﾐｼｼﾞﾐ ｶﾒﾑｼ類		収穫前日まで			3 回以内 (株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
さやいんげん	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ｶﾒﾑｼ類					
ｵｸﾗ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾌﾀﾃﾝﾐﾄﾞﾘﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ					
しょうが	ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類					
てんさい	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾃﾝｻｲﾓｸﾞﾘﾊﾅﾊﾞｴ ｶﾒﾉｺﾊﾑｼ		収穫7日前まで	2回以内		3 回以内 (灌注は 1 回以内、散布は 2 回以内)
ばれいしょ	ﾜﾀｱﾌﾞﾗﾑｼ					2回以内
かんしょ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類		収穫3日前まで	1回		1回
すいぜんじな	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類			2回以内		2回以内
ふき	ｺﾅｼﾞﾗﾐ類		収穫7日前まで			3 回以内 (土壌表面散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
りんご	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｷﾝﾓﾝﾎｿｶﾞ ｼﾝｸｲﾑｼ類 ｷﾞﾝﾓﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類		収穫前日まで	3回以内		3回以内
もも ﾈｸﾀﾘﾝ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ ｼﾝｸｲﾑｼ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾓﾓﾁｮｯｷﾘｿﾞｳﾑｼ					

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>なし</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｼﾝｸｲﾑｼ類
ｶﾒﾑｼ類
ｹﾑｼ類
ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="19">原液</td><td rowspan="18">収穫前日まで</td><td rowspan="13">3回以内</td><td rowspan="19">希釈せずそのまま散布する</td><td rowspan="12">3回以内</td></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾐｶﾝﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ
ｶﾒﾑｼ類
ｺｱｵﾊﾅﾑｸﾞﾘ
ｹｼｷｽｲ類
ﾐｶﾝﾊﾞｴ
ｱｶﾏﾙｶｲｶﾞﾗﾑｼ
ﾔﾉﾈｶｲｶﾞﾗﾑｼ
ﾐｶﾝｷｼﾞﾗﾐ
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類
ﾁｬﾉﾐﾄﾞﾘﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ
ｻﾝﾎｰｾﾞｶｲｶﾞﾗﾑｼ
ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ
ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類</td></tr>
<tr><td>小粒核果類</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｶﾒﾑｼ類</td></tr>
<tr><td>ﾏﾝｺﾞｰ</td><td>ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ</td></tr>
<tr><td>ｷｳｲﾌﾙｰﾂ</td><td>ｶﾒﾑｼ類</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>ｶﾒﾑｼ類
ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類
ｶｷﾉﾍﾀﾑｼｶﾞ
ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>4回以内
(塗布は1回以内、散布は3回以内)</td></tr>
<tr><td>ぶどう</td><td>ｶﾒﾑｼ類
ﾌﾞﾄﾞｳﾄﾗｶﾐｷﾘ
ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ
ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類</td><td>3回以内
(塗布は1回以内)</td></tr>
<tr><td>おうとう</td><td>ｵｳﾄｳｼｮｳｼﾞｮｳﾊﾞｴ
ｶﾒﾑｼ類</td><td rowspan="3">2回以内</td><td rowspan="3">2回以内</td></tr>
<tr><td>びわ</td><td>ｶﾒﾑｼ類
ﾋﾞﾜｷｼﾞﾗﾐ</td></tr>
<tr><td>あけび(果実)</td><td>ｶﾒﾑｼ類</td><td>収穫14日前まで</td></tr>
<tr><td>花き類・観葉植物(きくを除く)</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td rowspan="6">発生初期</td><td rowspan="6">5回以内</td><td rowspan="2">5回以内
(土壌混和は1回以内)</td></tr>
<tr><td>きく</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類
ｶﾒﾑｼ類</td></tr>
<tr><td>樹木類(つつじ類、つばき類を除く)</td><td>ｹﾑｼ類</td><td rowspan="2">5回以内</td></tr>
<tr><td>つつじ類</td><td>ｹﾑｼ類
ﾂﾂｼﾞｸﾞﾝﾊﾞｲ</td></tr>
<tr><td>つばき類</td><td>ｹﾑｼ類</td><td>5回以内
(株元灌注は2回以内)</td></tr>
</table>

４１．登録番号 23624：ウッドスター
（ジノテフラン 8.0 %液剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>樹木類(つばき類を除く)</td><td>ｹﾑｼ類</td><td rowspan="5">胸高直径
6 cm~10cm：8~12 mL、
10 cm~20 cm：12~24 mL、
20 cm~30 cm：24~36 mL、
30 cm~40 cm：36~48 mL、
40 cm~50 cm：48~60 mL、
50 cm~60 cm：60~72 mL、
以降、直径が10 cm増す毎に
12 mLを追加する</td><td>幼虫発生前
~
発生初期
但し新葉
展開後</td><td rowspan="9">3回
以内</td><td rowspan="8">樹幹
注入</td><td rowspan="5">5回以内</td></tr>
<tr><td>くすのき</td><td>ｸｽﾍﾞﾆﾋﾗﾀｶｽﾐｶﾒ</td><td>幼虫発生前
~
発生初期</td></tr>
<tr><td>ｱﾒﾘｶﾌｳ</td><td rowspan="2">ｲﾗｶﾞ類</td><td rowspan="2">幼虫発生前
~
発生初期
但し新葉
展開後</td></tr>
<tr><td rowspan="2">さくら</td></tr>
<tr><td>ｸﾋﾞｱｶﾂﾔｶﾐｷﾘ</td><td>注入部直径
6 cm~10cm：8~12 mL、
10 cm~20 cm：12~24 mL、
20 cm~30 cm：24~36 mL、
30 cm~40 cm：36~48 mL、
40 cm~50 cm：48~60 mL、
50 cm~60 cm：60~72 mL、
以降、直径が10 cm増す毎に
12 mLを追加する</td><td>新葉展開後
~
落葉前まで</td><td rowspan="2">5回以内
(株元灌注は2回以内)</td></tr>
<tr><td>つばき類</td><td>ﾁｬﾄﾞｸｶﾞ</td><td>注入部直径
6 cm~10 cm : 2mL、
10 cm~20 cm：2~12mL、
20 cm~30 cm：12~18mL、
30 cm~40 cm：18~24mL、
40 cm~50 cm：24~30mL、
50 cm~60 cm：30~36mL、
以降、直径が10 cm増す毎に
6 mLを追加する</td><td>幼虫発生前
~
発生初期</td><td rowspan="4">5回以内</td></tr>
<tr><td>ﾌﾟﾗﾀﾅｽ</td><td>ﾌﾟﾗﾀﾅｽｸﾞﾝﾊﾞｲ</td><td rowspan="2">胸高直径
6 cm~10 cm：2mL、
10 cm~20 cm：2~12mL、
20 cm~30 cm：12~18mL、
30 cm~40 cm：18~24mL、
40 cm~50 cm：24~30mL、
50 cm~60 cm：30~36mL、
以降、直径が10 cm増す毎に
6 mLを追加する</td><td>新葉展開後</td></tr>
<tr><td>ぶな</td><td>ﾌﾞﾅﾊﾞﾁ</td><td>新葉展開直前</td></tr>
<tr><td>ひのき</td><td>ﾁｬﾊﾞﾈｱｵｶﾒﾑｼ</td><td>注入部直径
6 cm~8 cm : 8mL、
8 cm~11 cm：12mL、
11 cm~14 cm：16mL、
14 cm~17 cm：20mL、
17 cm~20 cm：24mL、
以降、直径が3 cm増す毎に
4 mLを追加する</td><td>成虫飛来前</td><td>主枝
基部
注入</td></tr>
</table>

４２．登録番号 23676：ウッドセーバー
（ジノテフラン 8.0 %液剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
ﾃﾞｲｺﾞ	ﾃﾞｲｺﾞﾋﾒｺﾊﾞﾁ	胸高直径 6 cm~10 cm:15~30 mL 10 cm~20 cm:30~60mL 以降、直径が 10 cm 増す毎に 30~60 mL を追加する	成虫発生前又は虫えい形成期	3回以内	樹幹注入	5回以内
	ﾍﾞﾆﾓﾝﾉﾒｲｶﾞ		発生前 ~ 発生初期			
ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ	ｵｷﾅﾜｲﾁﾓﾝｼﾞﾊﾑｼ					

４３．登録番号 23685：ハイポネックス原液 殺虫剤入り
（ジノテフラン 2.5 %複合肥料）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
花き類・観葉植物	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	250 倍	2 L/m^2	発生初期	5 回以内	灌注	5 回以内 (土壌混和は 1 回以内)

４４．登録番号 23705：サンブラススタークル箱粒剤
（ジノテフラン 2.0 %・トルプロカルブ 12.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾄﾙﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ いもち病	育苗箱 (30×60×3 cm 使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g	移植 3 日前~移植当日	1 回	育苗箱の苗の上から均一に散布する	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での湛水散布、無人航空機散布、投げ入れは合計 1 回以内)

４５．登録番号 23706：ガッツスター粒剤、
登録番号 23707：ゴウケツモンスター粒剤
（ジノテフラン 1.67 %・シメコナゾール 1.5 %・トルプロカルブ 3.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ｼﾒｺﾅｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数	ﾄﾙﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数
稲	ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ いもち病 紋枯病 稲こうじ病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 墨黒穂病 内穎褐変病	3 kg/10 a	出穂 5 日前まで 但し、収穫 30 日前まで	1 回	湛水散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内)	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での湛水散布、無人航空機散布、投げ入れは合計 1 回以内)

４６．登録番号 23833：ハイパーキック箱粒剤、
登録番号 23834：ゴウケツバスター箱粒剤
（ジノテフラン 12.0 %・トルプロカルブ 9.0 %粒剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾄﾙﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ｶﾒﾑｼ類	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り50 g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での湛水散布、無人航空機散布、投げ入れは合計 1 回以内)
	ｳﾝｶ類 ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｲﾅｺﾞ類 ｲﾈｶﾗﾊﾞｴ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ いもち病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 白葉枯病	高密度には種する場合は 1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50~100 g)	移植3日前 ~ 移植当日				
		育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当り 50 g					
稲	いもち病 ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ	1 kg/10 a	移植時		側条施用		

４７．登録番号 23840：サンフェスタ箱粒剤
（クロラントラニリプロール 0.75 %・ジノテフラン 6.0 %・トルプロカルブ 4.0 %粒剤）

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｸﾛﾗﾝﾄﾗﾆﾘﾌﾟﾛｰﾙを 含む農薬の 総使用回数	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾄﾙﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾈﾂﾄﾑｼ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ｲﾅｺﾞ類 ｲﾈｸﾛｶﾒﾑｼ いもち病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り50 g	移植 3日前 ～ 移植 当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内､本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内、本田での湛水散布、無人航空機散布、投げ入れは合計 1 回以内)
		高密度には種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当り 50~100 g)						
稲	いもち病 ｲﾈﾄﾞﾛｵｲﾑｼ ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ	1 kg/10 a	移植 時		側条 施用			

４８．登録番号 24316：アースガーデン４
（エトフェンプロックス 0.020 %・ジノテフラン 0.010 %・ミルベメクチン 0.00050 %・ペンチオピラド 0.010 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ を含む農薬の総 使用回数	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ を含む農薬の 総使用回数	ﾐﾙﾍﾞﾒｸﾁﾝ を含む農薬の 総使用回数	ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ を含む農薬の 総使用回数
ばら	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｸﾛｹｼﾂﾌﾞﾁｮｯｷﾘ ﾁｭｳﾚﾝｼﾞﾊﾊﾞﾁ ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類 ｺｶﾞﾈﾑｼ類 ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ うどんこ病 灰色かび病 黒星病	原液	発生 初期	2 回 以内	散布	6 回 以内	5 回 以内 (土壌混和は 1 回以内)	2 回 以内	3 回 以内
ひまわり	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類 ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ ｱﾜﾀﾞﾁｿｳｸﾞﾝﾊﾞｲ うどんこ病 灰色かび病								
花き類・観葉植物(ばら、ひまわりを除く)	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類 ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ うどんこ病 灰色かび病								
樹木類 (つつじ類、つばき類、ひいらぎもくせい、まさきを除く)	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｹﾑｼ類 ｲﾗｶﾞ類 うどんこ病						5 回 以内		
つばき類 (さざんかを除く)							5 回以内(株元灌注は 2 回以内)		
さざんか	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｹﾑｼ類 ｲﾗｶﾞ類 ﾂﾉﾛｳﾑｼ うどんこ病						5 回 以内		

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ を含む農薬の総 使用回数	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ を含む農薬の 総使用回数	ﾐﾙﾍﾞﾒｸﾁﾝ を含む農薬の 総使用回数	ﾍﾟﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ を含む農薬の 総使用回数
まさき	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｹﾑｼ類 ｲﾗｶﾞ類 ｱｵﾊﾞﾊｺﾞﾛﾓ うどんこ病	原液	発生 初期	2 回 以内	散布	6 回 以内	5 回 以内	2 回 以内	3 回 以内
ひいらぎも くせい	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｹﾑｼ類 ｲﾗｶﾞ類 ﾍﾘｸﾞﾛﾃﾝﾄｳﾉﾐﾊﾑｼ うどんこ病								
つつじ類	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ｹﾑｼ類 ｲﾗｶﾞ類 ﾂﾂｼﾞｸﾞﾝﾊﾞｲ うどんこ病								

４９．登録番号 24344：スタートレボン W10
（エトフェンプロックス 10.0 %・ジノテフラン 10.0 %乳剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを 含む農薬の 総使用回数	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数
稲	ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	1000 倍	60~ 150L/10a	収穫14 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内	4 回以内 (育苗箱への 処理及び側条施用は 合計1 回以内、 本田での散布、 空中散布、無人航空機 散布は合計3 回以内)
		8 倍	0.8L/10a			無人航空機こ よる散布		
	ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ							
だいず えだまめ	ｶﾒﾑｼ類	1000 倍	100~300 L/10 a	収穫14 日 前まで	2 回以内	散布	2 回以内	3 回以内 (は種時の土壌混 和は 1 回以内、 散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計 2 回以内)
		8 倍	0.8 L/10 a			無人航空機に よる散布		

５０．登録番号 24347：ブレードスタークル粉剤 DL
（ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内

５１．登録番号 24413：マグァンプ K 殺虫剤入り
（ジノテフラン 0.20 %複合肥料）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数
なす	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類 ｱｻﾞﾐｳﾏ類	5g/株	定植時	1 回	植穴土壌混和	3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2 回以内)
	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類		生育期 但し、収穫前日まで	2 回以内	株元散布	
ﾋﾟｰﾏﾝ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類		定植時	1 回	植穴土壌混和	
			生育期 但し、収穫前日まで	2 回以内	株元散布	
きゅうり	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類		定植時	1 回	植穴土壌混和	4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1 回以内、定植後の株元散布は1 回以内、散布は2 回以内)
			生育期 但し、収穫開始14 日前まで	1 回以内	株元散布	
ﾄﾏﾄ ﾐﾆﾄﾏﾄ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾑｼ類		定植時	1 回	植穴土壌混和	5 回以内 (培土混和及び灌注は合計1 回以内、育苗期の株元散布は1 回以内、定植時の土壌混和は1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2 回以内)
			生育期 但し、収穫前日まで	2 回以内	株元散布	
いちご	ﾜﾀｱﾌﾞﾗﾑｼ		定植時	1 回	植穴土壌混和	1 回
花き類・観葉植物	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	100 g/m^2	生育期	5 回以内	株元散布	5 回以内 (土壌混和は1 回以内)

５２．登録番号 24530：オーケストラスタークルエアー
（ジノテフラン 9.0 %・ベンズピリモキサン 10.0 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾍﾞﾝｽﾞﾋﾟﾘﾓｷｻﾝを 含む農薬の 総使用回数
稲	ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	3 回以内
		250 倍	25L/10a					
		16 倍	1.6L/10a			無人航空機 による散布		
		8 倍	0.8 L/10 a					

５３．登録番号 24608：ブレードスタークル R ゾル
（ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを 含む農薬の 総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内､本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内
		300 倍	25 L/10 a						
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空 機による 散布			

別添２：暴露量の推計（ジノテフランを有効成分として含む製剤）

目次　　頁

１．登録番号20805：スタークル粒剤、
登録番号20806：アルバリン粒剤、
登録番号20807：ホクコースタークル粒剤、
登録番号20959：三井東圧アルバリン粒剤、
登録番号22738：スターガード粒剤
（ジノテフラン1.0%粒剤）　……　4
２．登録番号20808：スタークル箱粒剤、
登録番号20960：三井東圧アルバリン箱粒剤
（ジノテフラン2.0%粒剤）　……　10
３．登録番号20811：スタークル顆粒水溶剤、
登録番号20812：アルバリン顆粒水溶剤、
登録番号20813：ホクコースタークル顆粒水溶剤、
登録番号20961：三井東圧アルバリン顆粒水溶剤
（ジノテフラン20.0%水溶剤）　……　11
４．登録番号20814：スタークル粉剤DL、
登録番号20815：アルバリン粉剤DL、
登録番号20816：ホクコースタークル粉剤DL、
登録番号20962：三井東圧アルバリン粉剤DL
（ジノテフラン0.50%粉剤）　……　26
５．登録番号20836：スタークルトレボン粉剤DL
（エトフェンプロックス0.30%・ジノテフラン0.50%粉剤）　……　27
６．登録番号21025：ホクコーラブサイドスタークル粉剤DL
（ジノテフラン0.35%・フサライド2.5%粉剤）　……　28
７．登録番号21027：ビームスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン0.35%・トリシクラゾール0.50%粉剤）　……　29
８．登録番号21191：ビームバシスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン0.35%・トリシクラゾール0.50%・メプロニル3.0%粉剤）　……　30
９．登録番号21248：スタークルL粉剤DL、
登録番号21435：スタークルメイトL粉剤DL
（ジノテフラン0.35%粉剤）　……　31
１０．登録番号21259：スタークル液剤10、
登録番号21260：スタークルメイト液剤10、
登録番号24582：アルバリン液剤10
（ジノテフラン10.0%液剤）　……　32
１１．登録番号21276：スタークル１キロH粒剤、
登録番号21277：スタークルメイト１キロH粒剤
（ジノテフラン3.0%粒剤）　……　35
１２．登録番号21497：ホクコービルダースタークル箱粒剤
（ジノテフラン2.0%・プロベナゾール10.0%粒剤）　……　36
１３．登録番号21607：スタークルエアー50、
登録番号21608：スタークルメイトエアー50、
登録番号24012：ファームスター顆粒水溶剤50
（ジノテフラン50.0%水溶剤）　……　37
１４．登録番号21710：ホクコーラブサイドスタークルフロアブル
（ジノテフラン5.0%・フサライド12.0%水和剤）　……　38

１５．登録番号21801：ワイドナーエース粉剤DL
（ジノテフラン0.35%・テブフェノジド0.75%・ブプロフェジン1.0%・フサライド2.5%・フルトラニル2.0%粉剤）
…… 39
１６．登録番号21871：コラトップスタークル１キロ粒剤
（ジノテフラン5.0%・ピロキロン15.0%粒剤）
…… 40
１７．登録番号21886：イモチエーススタークル粒剤、
登録番号21888：ホクコーイモチエーススタークル粒剤
（ジノテフラン1.67%・メトミノストロビン4.0%粒剤）
…… 41
１８．登録番号21975：トレボンスター粉剤DL
（エトフェンプロックス0.40%・ジノテフラン0.20%粉剤）
…… 42
１９．登録番号22036：ビームエイトスタークルゾル
（ジノテフラン10.0%・トリシクラゾール8.0%水和剤）
…… 43
２０．登録番号22037：トレボンスターフロアブル
（エトフェンプロックス7.0%・ジノテフラン3.0%水和剤）
…… 44
２１．登録番号22063：日農ビームアプロードスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン0.35%・ブプロフェジン1.0%・トリシクラゾール0.50%粉剤）
…… 45
２２．登録番号22102：ビームモンセレンスタークル粉剤５DL
（ジノテフラン0.35%・トリシクラゾール0.50%・ペンシクロン1.5%粉剤）
…… 46
２３．登録番号22130：わさび用緑風SG
（ジノテフラン20.0%水溶剤）
…… 47
２４．登録番号22268：ビームモンカットスタークルF粉剤５DL
（ジノテフラン0.35%・トリシクラゾール0.50%・フルトラニル2.0%粉剤）
…… 48
２５．登録番号22332：スタークル豆つぶ、
登録番号22333：クミアイスタークル豆つぶ、
登録番号22495：スタークルメイト豆つぶ
（ジノテフラン12.0%剤）
…… 49
２６．登録番号22416：Dr. オリゼスタークル箱粒剤、
登録番号23950：オリザエートスター箱粒剤
（ジノテフラン2.0%・プロベナゾール25.0%粒剤）
…… 50
２７．登録番号22479：ダブルカットスタークル粉剤DL
（ジノテフラン0.35%・カスガマイシン0.11%・トリシクラゾール0.50%粉剤）
…… 51
２８．登録番号22642：ホクコートップジンスタークル粉剤DL
（ジノテフラン0.35%・チオファネートメチル2.0%粉剤）
…… 52
２９．登録番号22725：キックオフ顆粒水和剤
（クロラントラニリプロール4.0%・ジノテフラン15.0%水和剤）
…… 53
３０．登録番号22924：ホクコートップジンスタークルフロアブル
（ジノテフラン5.0%・チオファネートメチル20.0%水和剤）
…… 55
３１．登録番号22981：ダブルカットバリダスタークル粉剤３DL
（ジノテフラン0.35%・カスガマイシン0.34%・トリシクラゾール0.50%・バリダマイシン0.30%粉剤）
…… 56
３２．登録番号22995：ダブルカットスタークルフロアブル
（ジノテフラン10.0%・カスガマイシン1.37%・トリシクラゾール8.0%水和剤）
…… 57
３３．登録番号23074：アトラクトン箱粒剤、
登録番号23075：スターダム箱粒剤
（ジノテフラン12.0%粒剤）
…… 58
３４．登録番号23076：Dr. オリゼスタークル箱粒剤OS、
登録番号23078：ロングリーチ箱粒剤
（ジノテフラン12.0%・プロベナゾール24.0%粒剤）
…… 59
３５．登録番号23113：イッカツエース粉剤DL
（ジノテフラン0.35%・テブフェノジド0.75%・カスガマイシン0.34%・トリシクラゾール0.50%・バリダマイシン0.30%粉剤）
…… 60
３６．登録番号23365：フェルテラスタークル箱粒剤CU
（クロラントラニリプロール0.75%・ジノテフラン6.0%粒剤）
…… 61

３７．登録番号23370：スケルカット顆粒水和剤、
登録番号23371：スケルノック顆粒水和剤
（ジノテフラン40.0%水和剤） …… 62
３８．登録番号23372：スターガードプラスAL
（ジノテフラン0.010%・ペンチオピラド0.010%水和剤） …… 63
３９．登録番号23405：トライスタークル粉剤DL、
登録番号23407：クミアイトライスタークル粉剤DL
（ジノテフラン0.35%・テブフロキン1.0%粉剤） …… 64
４０．登録番号23506：オールスタースプレー
（ジノテフラン0.010%液剤） …… 65
４１．登録番号23624：ウッドスター
（ジノテフラン8.0%液剤） …… 66
４２．登録番号23676：ウッドセーバー
（ジノテフラン8.0%液剤） …… 67
４３．登録番号23685：ハイポネックス原液殺虫剤入り
（ジノテフラン2.5%複合肥料） …… 68
４４．登録番号23705：サンブラススタークル箱粒剤
（ジノテフラン2.0%・トルプロカルブ12.0%粒剤） …… 69
４５．登録番号23706：ガッツスター粒剤、
登録番号23707：ゴウケツモンスター粒剤
（ジノテフラン1.67%・シメコナゾール1.5%・トルプロカルブ3.0%粒剤） …… 70
４６．登録番号23833：ハイパーキック箱粒剤、
登録番号23834：ゴウケツバスター箱粒剤
（ジノテフラン12.0%・トルプロカルブ9.0%粒剤） …… 71
４７．登録番号23840：サンフェスタ箱粒剤
（クロラントラニリプロール0.75%・ジノテフラン6.0%・トルプロカルブ4.0%
粒剤） …… 72
４８．登録番号24316：アースガーデン４
（エトフェンプロックス0.020%・ジノテフラン0.010%・ミルベメクチン0.00050%
・ペンチオピラド0.010%水和剤） …… 73
４９．登録番号24344：スタートレボンW10
（エトフェンプロックス10.0%・ジノテフラン10.0%乳剤） …… 74
５０．登録番号24347：ブレードスタークル粉剤DL
（ジノテフラン0.35%・フェリムゾン2.0%・フサライド1.5%粉剤） …… 76
５１．登録番号24413：マグァンプK殺虫剤入り
（ジノテフラン0.20%複合肥料） …… 77
５２．登録番号24530：オーケストラスタークルエアー
（ジノテフラン9.0%・ベンズピリモキサン10.0%水和剤） …… 79
５３．登録番号24608：ブレードスタークルRゾル
（ジノテフラン9.0%・フェリムゾン13.5%・フサライド13.5%水和剤） …… 80

＊：本資料は、製剤のハザード区分に応じた防護装備も考慮して作成した。

１．登録番号20805：スタークル粒剤、登録番号20806：アルバリン粒剤、登録番号20807：ホクコースタークル粒剤、登録番号20959：三井東圧アルバリン粒剤、登録番号22738：スターガード粒剤（ジノテフラ

① 製剤情報	登録番号	20805
	種類・名称	ジノテフラン粒剤 (スタークル粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		1 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg 体重/日)	(µg ai/kg 体重)			
1	稲	3 kg/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						6.2	20.1	2.8	1.5	
2	きゅうり	2.2 kg/10a／育苗期／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						1.2	1.7	0.6	0.1	
3	きゅうり	2.2 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.8	2	0.4	0.2	
4	きゅうり	1.1 kg/10a／生育期　但し、収穫開始14日前まで／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.4	1	0.2	0.1	
5	うり類（漬物用）	2.5 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.7	2.2	0.3	0.2	
6	にがうり	0.4 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.1	0.4	0	0	
7	メロン	1.18 kg/10a／育苗期／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						0.7	0.9	0.3	0.1	
8	メロン	1.18 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.3	1	0.1	0.1	
9	すいか	0.92 kg/10a／育苗期／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						0.5	0.7	0.2	0.1	
10	すいか	0.92 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.3	0.8	0.1	0.1	

11	すいか	0.92 kg/10a／生育期　但し、収穫21日前まで／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.3	0.8	0.1	0.1	
12	かぼちゃ	0.76 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.2	0.7	0.1	0.1	
13	ズッキーニ	2.22 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.8	2	0.4	0.2	
14	ズッキーニ	1.11 kg/10a／生育期　但し、収穫開始14日前まで／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.4	1	0.2	0.1	
15	トマト	1.06 kg/10a／は種前／培土混和／５回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						0.6	0.8	0.3	0.1	
16	トマト	3.8 kg/10a／育苗期／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.2	2.9	1	0.2	
17	トマト	3.8 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.9	3.4	0.4	0.3	
18	トマト	1.9 kg/10a／生育期　但し、収穫前日まで／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.4	1.7	0.2	0.1	
19	ミニトマト	1.17 kg/10a／は種前／培土混和／５回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						0.7	0.9	0.3	0.1	
20	ミニトマト	4.2 kg/10a／育苗期／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.4	3.2	1.1	0.2	
21	ミニトマト	4.2 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						1	3.7	0.4	0.3	
22	ミニトマト	2.1 kg/10a／生育期　但し、収穫前日まで／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.5	1.9	0.2	0.1	
23	とうがらし類	2.08 kg/10a／育苗期／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						1.2	1.6	0.5	0.1	
24	とうがらし類	4.16 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.8	3.7	0.3	0.3	
25	とうがらし類	2.08 kg/10a／生育期　但し、収穫開始14日前まで／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.4	1.8	0.2	0.1	
26	とうがらし（葉）	2.08 kg/10a／生育期　但し、収穫30日前まで／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.3	1.8	0.1	0.1	
27	なす	2 kg/10a／育苗期／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						1.1	1.5	0.5	0.1	

28	なす	2 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.3	1.8	0.1	0.1	
29	なす	1 kg/10a／生育期　但し、収穫前日まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.1	0.9	0.1	0.1	
30	ピーマン	1.7 kg/10a／育苗期／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						1	1.3	0.4	0.1	
31	ピーマン	3.4 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.5	3	0.2	0.2	
32	ピーマン	1.7 kg/10a／生育期　但し、収穫前日まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
33	キャベツ	9.6 kg/10a／育苗期／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						7.2	10.9	3.3	0.8	
34	キャベツ	14.4 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						6.4	19.2	2.9	1.5	
35	はくさい	9.6 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						4.3	12.8	1.9	1	
36	ブロッコリー	7.8 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.8	10.4	1.3	0.8	
37	だいこん	6 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						4.4	8	2	0.6	
38	だいこん	12 kg/10a／は種時／全面土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						8.9	16	4	1.2	
39	だいこん	6 kg/10a／生育期　但し、収穫30日前まで／散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						4.4	8	2	0.6	
40	チンゲンサイ	6 kg/10a／定植時／土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.7	8	1.2	0.6	
41	チンゲンサイ	6 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.7	8	1.2	0.6	
42	非結球あぶらな科葉菜類（チンゲンサイを除く）	6 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.7	8	1.2	0.6	
43	かぶ	6 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.7	8	1.2	0.6	
44	レタス	2.955 kg/10a／は種前／培土混和／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.2	3.3	1	0.3	

45	レタス	6.3 kg/10a／育苗期後半／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						4.8	7.1	2.2	0.5	
46	レタス	12.6 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						7.5	16.8	3.4	1.3	
47	非結球レタス	14 kg/10a／は種前／培土混和／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						10.6	15.8	4.8	1.2	
48	非結球レタス	30 kg/10a／育苗期後半／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						22.6	34	10.3	2.6	
49	非結球レタス	60 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						35.5	80	16.2	6.2	
50	ねぎ	6 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.8	8	1.3	0.6	
51	ねぎ	6 kg/10a／定植時／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.8	8	1.3	0.6	
52	ねぎ	9 kg/10a／生育期　但し、収穫3日前まで／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						4.3	12	1.9	0.9	
53	わけぎ	6 kg/10a／生育期　但し、収穫21日前まで／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.8	8	1.3	0.6	
54	にんじん	9 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						5.3	12	2.4	0.9	
55	ほうれんそう	6 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.7	8	1.2	0.6	
56	セルリー	7.4 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						3.3	9.9	1.5	0.8	
57	いちご	8 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／１回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.4	10.7	1.1	0.8	
58	くわい	3 kg/10a／収穫30日前まで／散布／３回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						2	3	0.9	0.2	
59	らっきょう	6 kg/10a／生育期　但し、収穫前日まで／散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.1	8	1	0.6	
60	オクラ	9 kg/10a／生育期　但し、収穫開始14日前まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						8	12	3.6	0.9	

61	さやいんげん	9 kg/10a／生育期　但し、収穫開始14日前まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						8	12	3.6	0.9	
62	しょうが	9 kg/10a／生育期　但し、収穫14日前まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						4	12	1.8	0.9	
63	実えんどう	9 kg/10a／生育期　但し、収穫開始14日前まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						8	12	3.6	0.9	
64	さやえんどう	9 kg/10a／生育期　但し、収穫開始14日前まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						8	12	3.6	0.9	
65	だいず	6 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						5.3	8	2.4	0.6	
66	えだまめ	6 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						5.3	8	2.4	0.6	
67	しそ	25 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						11.1	33.3	5	2.6	
68	しゅんぎく	9 kg/10a／は種時／播溝土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						4	12	1.8	0.9	
69	しゅんぎく	9 kg/10a／定植時／植溝土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						4	12	1.8	0.9	
70	ふき	20 kg/10a／定植後～生育期（草丈20cm頃まで）　但し、収穫45日前まで／土壌表面散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						17.8	26.7	8.1	2.1	
71	葉ごぼう	6 kg/10a／は種時／全面土壌混和／２回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						1.8	8	0.8	0.6	
72	葉ごぼう	6 kg/10a／生育期　但し、収穫21日前まで／株元散布／２回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						1.8	8	0.8	0.6	
73	茶	12 kg/10a／摘採7日前まで／株元土壌混和／２回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						7.1	16	3.2	1.2	
74	さとうきび	9 kg/10a／生育期　但し、収穫45日前まで／散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						8	12	3.6	0.9	
75	かんきつ（苗木）	10 kg/10a／育苗期／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						13.3	22.2	6.1	1.7	
76	なし（苗木）	110 kg/10a／育苗期／株元散布／１回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						26.1	146.6	11.8	11.3	

77	きく	30 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						26.7	40	12.1	3.1	
78	きく	20 kg/10a／生育期／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						17.8	26.7	8.1	2.1	
79	ガーベラ	30 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						26.7	40	12.1	3.1	
80	ガーベラ	20 kg/10a／生育期／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						17.8	26.7	8.1	2.1	
81	花き類・観葉植物（きく・ガーベラを除く）	30 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						26.7	40	12.1	3.1	
82	花き類・観葉植物（きく・ガーベラを除く）	20 kg/10a／生育期／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						17.8	26.7	8.1	2.1	
83	つつじ類	6 kg/10a／発生初期／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						8	13.3	3.6	1	
84	いぐさ	6 kg/10a／発生初期／散布／２回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						2.7	6	1.2	0.5	
85	食用ぎく	30 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						26.7	40	12.1	3.1	
86	食用ぎく	20 kg/10a／生育期　但し、収穫前日まで／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						17.8	26.7	8.1	2.1	

[1]: AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

[2]: AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２．登録番号20808：スタークル箱粒剤、登録番号20960：三井東圧アルバリン箱粒剤（ジノテフラン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	20808
	種類・名称	ジノテフラン粒剤 (スタークル箱粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		2 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲　(箱育苗)	50 g/箱／は種前／育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						5.3	9.1	2.4	0.7	
2	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植３日前～移植当日／育苗箱の上から均一に散布する／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						5.3	9.1	2.4	0.7	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３．登録番号20811：スタークル顆粒水溶剤、登録番号20812：アルバリン顆粒水溶剤、登録番号20813：ホクコースタークル顆粒水溶剤、登録番号20961：三井東圧アルバリン顆粒水溶剤（ジノテフラン20.0%水

① 製剤情報	登録番号	20811
	種類・名称	ジノテフラン水溶剤 (スタークル顆粒水溶剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		20 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		顆粒水和剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	0.34
希釈液	50	5.1
	100	5.1
	400	5.1
	1000	5.1
	2000	5.1
	3000	5.1

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg 体重/日)	(µg ai/kg 体重)			
1	稲	2000 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	2000	液剤_水稲（手散布）						2.2	7.1	1	0.5	
1*	稲	2000 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	2000	液剤_水稲（機械散布）						0.7	2.3	0.3	0.2	
2	とうもろこし（子実）	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
3	未成熟とうもろこし	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
4	もも	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						15.5	193.9	7	14.9	
4*	もも	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						7	74	3.2	5.7	
5	ネクタリン	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						15.5	193.9	7	14.9	
5*	ネクタリン	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						7	74	3.2	5.7	
6	おうとう	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						10.3	193.9	4.7	14.9	
6*	おうとう	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						4.6	74	2.1	5.7	

7	かき	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						13.4	193.9	6.1	14.9	
7*	かき	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						7.1	74	3.2	5.7	
8	マンゴー	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						10.1	193.9	4.6	14.9	
8*	マンゴー	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						5.3	74	2.4	5.7	
9	小粒核果類	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						15.5	193.9	7	14.9	
9*	小粒核果類	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						7	74	3.2	5.7	
10	ぶどう	1000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	1000	液剤_果樹（棚）（手散布）						68.2	408.9	31	31.5	
10*	ぶどう	1000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	1000	液剤_果樹（棚）（機械散布）						30.8	257	14	19.8	
11	あけび（果実）	2000 倍, 700 L/10a／収穫14日前まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（棚）（手散布）						11.8	340.8	5.4	26.2	
11*	あけび（果実）	2000 倍, 700 L/10a／収穫14日前まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（棚）（機械散布）						6.2	128.5	2.8	9.9	
12	キウイフルーツ	1000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	1000	液剤_果樹（棚）（手散布）						35.4	408.9	16.1	31.5	
12*	キウイフルーツ	1000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	1000	液剤_果樹（棚）（機械散布）						18.5	257	8.4	19.8	
13	びわ	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						25.3	193.9	11.5	14.9	
13*	びわ	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						11.3	74	5.2	5.7	
14	りんご	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						38	193.9	17.3	14.9	
14*	りんご	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						17	74	7.7	5.7	

15	なし	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（棚）（手散布）						47.7	204.5	21.7	15.7	
15*	なし	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（棚）（機械散布）						20.6	128.5	9.3	9.9	
16	かんきつ（苗木）	50 倍, 50 L/10a／育苗期／株元灌注／５回	50	液剤_芝（手散布）						2.6	4.4	1.2	0.3	
17	かんきつ	1000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	1000	液剤_果樹（立体）（手散布）						58.2	387.7	26.4	29.8	
17*	かんきつ	1000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	1000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						29.6	148	13.5	11.4	
18	オリーブ	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						6.7	193.9	3.1	14.9	
18*	オリーブ	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						3.6	74	1.6	5.7	
19	ばれいしょ	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1.3	14.6	0.6	1.1	
19*	ばれいしょ	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.9	2.3	0.4	0.2	
20	かんしょ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／１回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.6	14.6	0.3	1.1	
20*	かんしょ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／１回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.4	2.3	0.2	0.2	
21	トマト	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／５回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						1.8	6.9	0.8	0.5	
22	トマト	100 倍, 0.5 L/箱／鉢上時又は定植時／灌注／５回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						1.1	1.9	0.5	0.1	
23	ミニトマト	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／５回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						1.8	6.9	0.8	0.5	
24	ミニトマト	100 倍, 0.5 L/箱／鉢上時又は定植時／灌注／５回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						1.1	1.9	0.5	0.1	
25	ブロッコリー	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.2	14.6	0.1	1.1	

25*	ブロッコリー	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
26	ブロッコリー	100 倍, 0.5 L/箱／定植時／灌注／３回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						1.1	1.9	0.5	0.1	
27	はくさい	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.7	14.6	0.3	1.1	
27*	はくさい	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
28	ピーマン	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						1.1	6.9	0.5	0.5	
29	なす	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						1.1	6.9	0.5	0.5	
30	すいか	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.6	9.7	0.3	0.7	
30*	すいか	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	0.5	0.1	0	
31	とうがらし類	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						1.4	6.9	0.6	0.5	
32	とうがらし類	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.3	9.7	0.1	0.7	
32*	とうがらし類	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	0.5	0	0	
33	とうがらし（葉）	2000 倍, 300 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.2	9.7	0.1	0.7	
33*	とうがらし（葉）	2000 倍, 300 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	0.5	0	0	
34	かぼちゃ	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	9.7	0.2	0.7	
34*	かぼちゃ	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	0.5	0.1	0	
35	かぼちゃ	100 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／３回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						1.1	1.9	0.5	0.1	

36	にがうり	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						2.1	6.9	0.9	0.5	
37	セルリー	2000 倍, 300 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.7	14.6	0.3	1.1	
37*	セルリー	2000 倍, 300 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
38	うり類（漬物用）	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	9.7	0.2	0.7	
38*	うり類（漬物用）	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	0.5	0.1	0	
39	うり類（漬物用）	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						2.1	6.9	0.9	0.5	
40	ズッキーニ	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.6	9.7	0.3	0.7	
40*	ズッキーニ	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	0.5	0.1	0	
41	きゅうり	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						2.7	6.9	1.2	0.5	
42	まくわうり	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.2	6.5	0.1	0.5	
42*	まくわうり	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	0.3	0	0	
43	しそ科葉菜類（しそ、バジルを除く）	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	
43*	しそ科葉菜類（しそ、バジルを除く）	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
44	しそ（花穂）	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.3	9.7	0.1	0.7	
44*	しそ（花穂）	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	1.5	0	0.1	
45	アマランサス（茎葉）	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1.1	9.7	0.5	0.7	

45*	アマランサス（茎葉）	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.4	1.5	0.2	0.1	
46	メロン	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						2.1	6.9	0.9	0.5	
47	メロン	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	9.7	0.2	0.7	
47*	メロン	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	0.5	0.1	0	
48	キャベツ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.7	14.6	0.3	1.1	
48*	キャベツ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
49	キャベツ	50 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／３回	50	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.2	3.8	1	0.3	
50	だいこん	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／５回	1000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	29.1	0.4	2.2	
50*	だいこん	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／５回	1000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.8	4.6	0.3	0.4	
51	わさび	2000 倍, 300 L/10a／畑育苗期／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1.9	14.6	0.9	1.1	
51*	わさび	2000 倍, 300 L/10a／畑育苗期／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.5	2.3	0.2	0.2	
52	畑わさび	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.7	14.6	0.3	1.1	
52*	畑わさび	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
53	クレソン	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	3000	液剤_水稲（手散布）						0.2	1.4	0.1	0.1	
53*	クレソン	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	3000	液剤_水稲（機械散布）						0.3	1.5	0.1	0.1	
54	レタス	50 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／４回	50	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.2	3.8	1	0.3	

55	レタス	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1	14.6	0.4	1.1	
55*	レタス	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.3	2.3	0.1	0.2	
56	非結球レタス	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1	14.6	0.4	1.1	
56*	非結球レタス	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.3	2.3	0.1	0.2	
57	非結球レタス	50 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／４回	50	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.2	3.8	1	0.3	
58	ねぎ	400 倍, 400 L/10a／生育期 但し、収穫14日前まで／株元灌注／４回	400	液剤_芝（手散布）						0.9	2.6	0.4	0.2	
59	ねぎ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.4	14.6	0.2	1.1	
59*	ねぎ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
60	ねぎ	1000 倍, 1000 L/10a／生育期 但し、収穫14日前まで／株元灌注／４回	1000	液剤_芝（手散布）						0.9	2.6	0.4	0.2	
61	ねぎ	50 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／４回	50	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.2	3.8	1	0.3	
62	わけぎ	400 倍, 400 L/10a／生育期 但し、収穫14日前まで／株元灌注／４回	400	液剤_芝（手散布）						0.9	2.6	0.4	0.2	
63	わけぎ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.4	14.6	0.2	1.1	
63*	わけぎ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
64	にんじん	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.3	14.6	0.1	1.1	
64*	にんじん	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.3	2.3	0.1	0.2	
65	にんじん	400 倍, 400 L/10a／生育期 但し、収穫21日前まで／株元灌注／４回	400	液剤_芝（手散布）						1.2	2.6	0.5	0.2	

66	しゅんぎく	3000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	9.7	0.2	0.7	
66*	しゅんぎく	3000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
67	チンゲンサイ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.7	14.6	0.3	1.1	
67*	チンゲンサイ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
68	ほうれんそう	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	9.7	0.2	0.7	
68*	ほうれんそう	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
69	非結球あぶらな科葉菜類（ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ、畑わさびを除く）	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.7	14.6	0.3	1.1	
69*	非結球あぶらな科葉菜類（ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ、畑わさびを除く）	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
70	非結球あぶらな科葉菜類（ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ、畑わさびを除く）	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_水稲（手散布）						0.1	2.1	0	0.2	
701*	非結球あぶらな科葉菜類（ﾁﾝｹﾞﾝｻｲ、畑わさびを除く）	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_水稲（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
71	かぶ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.2	14.6	0.1	1.1	
71*	かぶ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
72	だいず	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						5.3	14.6	2.4	1.1	
72*	だいず	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						1.3	2.3	0.6	0.2	
73	あずき	3000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						3.6	9.7	1.6	0.7	
73*	あずき	3000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.8	1.5	0.4	0.1	

74	豆類（未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、未成熟ささげ、未成熟そらまめを除く）	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
75	未成熟そらまめ	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
76	えだまめ	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1.4	14.6	0.6	1.1	
76*	えだまめ	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.8	2.3	0.3	0.2	
77	未成熟ささげ	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
78	実えんどう	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
79	さやえんどう	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
80	さやいんげん	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
81	モロヘイヤ	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	14.6	0.2	1.1	
81*	モロヘイヤ	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
82	オクラ	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
83	しょうが	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.2	14.6	0.1	1.1	
83*	しょうが	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
84	らっきょう	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.3	14.6	0.1	1.1	
84*	らっきょう	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
85	にら	400 倍, 400 L/10a／生育期 但し、収穫14日前まで／株元灌注／３回	400	液剤_芝（手散布）						0.7	2.6	0.3	0.2	

86	にら	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.3	14.6	0.1	1.1	
86*	にら	2000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
87	にら	1000 倍, 1000 L/10a／生育期 但し､収穫14日前まで／株元灌注／３回	1000	液剤_芝（手散布）						0.7	2.6	0.3	0.2	
88	アスパラガス	2000 倍, 800 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						18.3	27.5	8.3	2.1	
89	てんさい	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	29.1	0.2	2.2	
89*	てんさい	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.5	4.6	0.2	0.4	
90	てんさい	100 倍, 6 L/箱／移植前／灌注／３回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						13.3	22.9	6.1	1.8	
91	きゅうり（葉）	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（立体）（手散布）						0.9	4.6	0.4	0.4	
92	バジル	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.3	9.7	0.1	0.7	
92*	バジル	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	1.5	0	0.1	
93	きゅうり（花）	3000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（立体）（手散布）						0.9	4.6	0.4	0.4	
94	しょくようほおずき	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（立体）（手散布）						0.5	4.6	0.2	0.4	
95	食用ミニバラ	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（立体）（手散布）						3.1	6.9	1.4	0.5	
96	食用カーネーション	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	
96*	食用カーネーション	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
97	食用金魚草	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	

97*	食用金魚草	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
98	食用パンジー	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	
98*	食用パンジー	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
99	食用トレニア	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	
99*	食用トレニア	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
100	食用なでしこ	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	
100*	食用なでしこ	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
101	食用プリムラ	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	
101*	食用プリムラ	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
102	食用エキザカム	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	
102*	食用エキザカム	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
103	食用せんにちこう	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.8	9.7	0.4	0.7	
103*	食用せんにちこう	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
104	食用コスモス	3000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（立体）（手散布）						3.1	6.9	1.4	0.5	
105	しそ	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	9.7	0.2	0.7	
105*	しそ	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	

106	なんてん（葉）	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						49.8	83.1	22.7	6.4	
106*	なんてん（葉）	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						15.9	31.7	7.2	2.4	
107	すいぜんじな	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.5	14.6	0.2	1.1	
107*	すいぜんじな	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
108	ふき	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1.9	14.6	0.9	1.1	
108*	ふき	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.5	2.3	0.2	0.2	
109	せり	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_水稲（手散布）						0.1	2.1	0	0.2	
109*	せり	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_水稲（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
110	せり（水耕栽培）	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_水稲（手散布）						0.1	2.1	0	0.2	
110*	せり（水耕栽培）	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_水稲（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
111	オリーブ（葉）	2000 倍, 700 L/10a／収穫14日前まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						6.7	193.9	3.1	14.9	
111*	オリーブ（葉）	2000 倍, 700 L/10a／収穫14日前まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						3.6	74	1.6	5.7	
112	茶	2000 倍, 400 L/10a／摘採7日前まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1.7	19.4	0.8	1.5	
112*	茶	2000 倍, 400 L/10a／摘採7日前まで／散布／２回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.4	3.1	0.2	0.2	
113	さとうきび	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／５回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
114	いね科牧草	2000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	

115	花き類・観葉植物（きくを除く）	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	
116	花き類・観葉植物（きくを除く）	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						3.2	14.6	1.4	1.1	
116*	花き類・観葉植物（きくを除く）	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.8	2.3	0.3	0.2	
117	花き類・観葉植物（きくを除く）	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_水稲（手散布）						0.5	2.1	0.2	0.2	
117*	花き類・観葉植物（きくを除く）	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_水稲（機械散布）						0.8	2.3	0.3	0.2	
118	花き類・観葉植物（きくを除く）	1000 倍, 1000 L/10a／発生初期／灌注／５回	1000	液剤_芝（手散布）						1.8	2.6	0.8	0.2	
119	きく	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						3.2	14.6	1.4	1.1	
119*	きく	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.8	2.3	0.3	0.2	
120	きく	1000 倍, 1000 L/10a／発生初期／灌注／５回	1000	液剤_芝（手散布）						1.8	2.6	0.8	0.2	
121	樹木類（つつじ類、つばき類を除く）	2000 倍, 700 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						116.3	193.9	52.9	14.9	
121*	樹木類（つつじ類、つばき類を除く）	2000 倍, 700 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						37	74	16.8	5.7	
122	樹木類（つつじ類、つばき類を除く）	2000 倍, 700 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						34	56.7	15.5	4.4	
122*	樹木類（つつじ類、つばき類を除く）	2000 倍, 700 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						2.7	5.3	1.2	0.4	
123	つばき類	100 倍, 220 L/10a／発生初期／株元灌注／５回	100	液剤_芝（手散布）						5.8	9.7	2.6	0.7	
124	つばき類	2000 倍, 700 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						116.3	193.9	52.9	14.9	
124*	つばき類	2000 倍, 700 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						37	74	16.8	5.7	

125	つつじ類	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						49.8	83.1	22.7	6.4	
125*	つつじ類	2000 倍, 300 L/10a／発生初期／散布／５回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						15.9	31.7	7.2	2.4	
126	いぐさ	1000 倍, 150 L/10a／発生初期／散布／２回	1000	液剤_水稲（手散布）						0.2	2.1	0.1	0.2	
126*	いぐさ	1000 倍, 150 L/10a／発生初期／散布／２回	1000	液剤_水稲（機械散布）						0.3	2.3	0.1	0.2	
127	かき	1 倍, 0.001 L/10a／発芽前～発芽期／本剤1g当り水1mlの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する。／４回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
128	ぶどう	1 倍, 0.001 L/10a／幼果期まで　但し、収穫30日前まで／本剤1g当り水1mlの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する。／４回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
129	たまねぎ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.4	14.6	0.2	1.1	
129*	たまねぎ	2000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで／散布／４回	2000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.2	2.3	0.1	0.2	
130	たまねぎ	50 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／４回	50	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.2	3.8	1	0.3	
131	食用ぎく	3000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						1.7	9.7	0.8	0.7	
131*	食用ぎく	3000 倍, 300 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.4	1.5	0.2	0.1	
132	みつば	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで、但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（手散布）						0.3	9.7	0.1	0.7	
132*	みつば	3000 倍, 300 L/10a／収穫3日前まで、但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで／散布／２回	3000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						0.1	1.5	0	0.1	
133	ラズベリー	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						12.9	193.9	5.9	14.9	
133*	ラズベリー	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／２回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						5.9	74	2.7	5.7	
134	えごま（種子）	2000 倍, 300 L/10a／収穫３日前まで／散布／５回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.9	10.3	3.1	0.8	

135	たまねぎ	50 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／４回	50	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						2.2	3.8	1	0.3	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４．登録番号20814：スタークル粉剤DL、登録番号20815：アルバリン粉剤DL、登録番号20816：ホクコースタークル粉剤DL、登録番号20962：三井東圧アルバリン粉剤DL（ジノテフラン0.50%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	20814
	種類・名称	ジノテフラン粉剤 (スタークル粉剤DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.5 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	3 kg/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						29.4	96	13.4	7.4	
2	だいず	3 kg/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1	固形剤（粉剤）_畑作物（手散布）						3.8	5.7	1.7	0.4	
3	えだまめ	3 kg/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1	固形剤（粉剤）_畑作物（手散布）						3.8	5.7	1.7	0.4	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

５．登録番号20836：スタークルトレボン粉剤DL（エトフェンプロックス0.30%・ジノテフラン0.50%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	20836
	種類・名称	エトフェンプロックス・ジノテフラン粉剤 (スタークルトレボン粉剤DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.5 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	3 kg/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	2.1	6.7	0.9	0.5	調製時:長ズボン・長袖の作業衣

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

６．登録番号21025：ホクコーラブサイドスタークル粉剤DL（ジノテフラン0.35%・フサライド2.5%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	21025
	種類・名称	ジノテフラン・フサライド粉剤 (ホクコーラブサイドスタークル粉剤DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

７．登録番号21027：ビームスタークル粉剤５DL（ジノテフラン0.35%・トリシクラゾール0.50%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	21027
	種類・名称	ジノテフラン・トリシクラゾール粉剤 (ビームスタークル粉剤５ＤＬ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫７日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

８．登録番号21191：ビームバシスタークル粉剤５DL（ジノテフラン0.35%・トリシクラゾール0.50%・メプロニル3.0%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	21191
	種類・名称	ジノテフラン・トリシクラゾール・メプロニル粉剤 (ビームバシスタークル粉剤５ＤＬ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 （投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

９．登録番号21248：スタークルL粉剤DL、登録番号21435：スタークルメイトL粉剤DL（ジノテフラン0.35%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	21248
	種類・名称	ジノテフラン粉剤 (スタークルL粉剤ＤＬ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１０．登録番号21259：スタークル液剤10、登録番号21260：スタークルメイト液剤10、登録番号24582：アルバリン液剤10（ジノテフラン10.0%液剤）

① 製剤情報	登録番号	21260
	種類・名称	ジノテフラン液剤 (スタークルメイト液剤１０)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		10 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		乳剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液	5	70
	8	70
	10	70
	14	70
	16	70
	20	70
	30	70
	300	70
	1000	70

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg 体重/日)	(µg ai/kg 体重)			
1	だいこん	8 倍, 1.6 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／５回	8	液剤_無人航空機 (-)						1.1	40.4	0.5	3.1	
2	キャベツ	8 倍, 1.6 L/10a／収穫3日前まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機 (-)						2	40.4	0.9	3.1	
3	ブロッコリー	8 倍, 1.6 L/10a／収穫3日前まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機 (-)						0.7	40.4	0.3	3.1	
4	ねぎ	10 倍, 1.6 L/10a／収穫3日前まで／無人航空機による散布／４回	10	液剤_無人航空機 (-)						0.9	32.3	0.4	2.5	
5	稲	8 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／４回	8	液剤_無人航空機 (-)						41.3	134.7	18.8	10.4	
6	稲	8 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／空中散布／４回	8	散布による暴露なし（手散布）						39	127	17.7	9.8	
7	稲	16 倍, 1.6 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／４回	16	液剤_無人航空機 (-)						41.3	134.7	18.8	10.4	
8	稲	300 倍, 25 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	300	液剤_水稲（手散布）						47.8	155.7	21.7	12	
8*	稲	300 倍, 25 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	300	液剤_水稲（機械散布）						36.5	119	16.6	9.2	

9	稲	30 倍, 3 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／４回	30	液剤_無人航空機(-)						41.3	134.7	18.8	10.4	
10	稲	30 倍, 3 L/10a／収穫7日前まで／空中散布／４回	30	散布による暴露なし（手散布）						39	127	17.7	9.8	
11	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（手散布）						86	280.3	39.1	21.6	
11*	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（機械散布）						65.7	214.2	29.9	16.5	
12	さとうきび	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／５回	1000	液剤_野菜（立体）（手散布）						121.9	182.8	55.4	14.1	
13	さとうきび	14 倍, 2.4 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／５回	14	液剤_無人航空機(-)						7.5	34.6	3.4	2.7	
14	だいず	8 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機(-)						7.4	20.2	3.4	1.6	
15	だいず	8 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／空中散布／３回	8	散布による暴露なし（手散布）						12.7	19.1	5.8	1.5	
16	だいず	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（手散布）						90	245.6	40.9	18.9	
16*	だいず	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						117.8	214.2	53.5	16.5	
17	えだまめ	8 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機(-)						1.9	20.2	0.9	1.6	
18	えだまめ	8 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／空中散布／３回	8	散布による暴露なし（手散布）						12.7	19.1	5.8	1.5	
19	えだまめ	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（手散布）						22.9	245.6	10.4	18.9	
19*	えだまめ	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						70.7	214.2	32.1	16.5	
20	らっきょう	8 倍, 1.6 L/10a／収穫前日まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機(-)						0.8	40.4	0.4	3.1	
21	いね科牧草	1000 倍, 300 L/10a／収穫7日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（立体）（手散布）						121.9	182.8	55.4	14.1	

22	小麦	1000 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	1000	液剤_野菜（平面）（手散布）						81.9	122.8	37.2	9.4	
22*	小麦	1000 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／２回	1000	液剤_野菜（平面）（機械散布）						58.9	107.1	26.8	8.2	
23	小麦	8 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／２回	8	液剤_無人航空機 (-)						13.5	20.2	6.1	1.6	
24	かんしょ	8 倍, 1.6 L/10a／収穫3日前まで／無人航空機による散布／１回	8	液剤_無人航空機 (-)						1.8	40.4	0.8	3.1	
25	はくさい	8 倍, 1.6 L/10a／収穫3日前まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機 (-)						2	40.4	0.9	3.1	
26	レタス	8 倍, 1.6 L/10a／収穫3日前まで／無人航空機による散布／４回	8	液剤_無人航空機 (-)						2.7	40.4	1.2	3.1	
27	非結球レタス	8 倍, 1.6 L/10a／収穫3日前まで／無人航空機による散布／４回	8	液剤_無人航空機 (-)						2.7	40.4	1.2	3.1	
28	かき	20 倍, 8 L/10a／収穫前日まで／無人航空機による散布／４回	20	液剤_無人航空機 (-)						9.3	134.7	4.2	10.4	
29	そてつ	5 倍, 40 L/10a／新葉展開前／株元灌注／５回	5	液剤_芝（手散布）		不浸透性手袋			不浸透性手袋	207.8	346.3	94.4	26.6	

[1]: AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

[2]: AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１１．登録番号21276：スタークル１キロH粒剤、登録番号21277：スタークルメイト１キロH粒剤（ジノテフラン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	21276
	種類・名称	ジノテフラン粒剤 (スタークル１キロH粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		3 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	1 kg/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						6.2	20.1	2.8	1.5	
2	稲	1 kg/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						6.2	20.1	2.8	1.5	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１２．登録番号21497：ホクコービルダースタークル箱粒剤（ジノテフラン2.0%・プロベナゾール10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	21497
	種類・名称	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤 (ホクコービルダースタークル箱粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		2 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植3日前～移植当日／育苗箱の稲の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	0.5	0.8	0.2	0.1	
2	稲　(箱育苗)	50 g/箱／緑化期～移植当日／育苗箱の稲の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	0.5	0.8	0.2	0.1	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（µg ai/kg体重/日）÷1000（µg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（µg ai/kg体重）÷1000（µg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１３．登録番号21607：スタークルエアー50、登録番号21608：スタークルメイトエアー50、登録番号24012：ファームスター顆粒水溶剤50（ジノテフラン50.0%水溶剤）

① 製剤情報	登録番号	21607
	種類・名称	ジノテフラン水溶剤 (スタークルエアー50)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		50 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		顆粒水和剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液	40	50

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	40 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／無人ヘリコプターによる散布／４回	40	液剤_無人航空機 (-)						3.2	10.3	1.4	0.8	
2	稲	40 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／空中散布／４回	40	散布による暴露なし（手散布）						1.5	4.9	0.7	0.4	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１４．登録番号21710：ホクコーラブサイドスタークルフロアブル（ジノテフラン5.0%・フサライド12.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	21710
	種類・名称	ジノテフラン・フサライド水和剤 (ホクコーラブサイドスタークルフロアブル)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		5 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		乳剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液	4	70
	150	70
	500	70

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	500 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	500	液剤_水稲（手散布）						86	280.3	39.1	21.6	
1*	稲	500 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	500	液剤_水稲（機械散布）						65.7	214.2	29.9	16.5	
2	稲	150 倍, 25 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	150	液剤_水稲（手散布）						47.8	155.7	21.7	12	
2*	稲	150 倍, 25 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	150	液剤_水稲（機械散布）						36.5	119	16.6	9.2	
3	稲	4 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／無人ヘリコプターによる散布／４回	4	液剤_無人航空機(-)						41.3	134.7	18.8	10.4	
4	稲	1 倍, 0.2 L/10a／収穫7日前まで／空中散布／４回	1	散布による暴露なし（手散布）						39	127	17.7	9.8	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１５．登録番号21801：ワイドナーエース粉剤DL（ジノテフラン0.35%・テブフェノジド0.75%・ブプロフェジン1.0%・フサライド2.5%・フルトラニル2.0%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	21801
	種類・名称	ジノテフラン・テブフェノジド・ブプロフェジン・フサライド・フルトラニル粉剤 (ワイドナーエース粉剤DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(µg ai/kg体重/日)÷1000(µg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(µg ai/kg体重)÷1000(µg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１６．登録番号21871：コラトップスタークル１キロ粒剤（ジノテフラン5.0%・ピロキロン15.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	21871
	種類・名称	ジノテフラン・ピロキロン粒剤 (コラトップスタークル１キロ粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		5 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	1 kg/10a／出穂５日前まで／散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						10.3	33.5	4.7	2.6	
2	稲	1 kg/10a／出穂５日前まで／無人航空機による散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						10.3	33.5	4.7	2.6	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１７．登録番号21886：イモチエーススタークル粒剤、登録番号21888：ホクコーイモチエーススタークル粒剤（ジノテフラン1.67%・メトミノストロビン4.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	21886
	種類・名称	ジノテフラン・メトミノストロビン粒剤 (イモチエーススタークル粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		1.67 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	3 kg/10a／収穫35日前まで／散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						10.3	33.6	4.7	2.6	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１８．登録番号21975：トレボンスター粉剤DL（エトフェンプロックス0.40%・ジノテフラン0.20%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	21975
	種類・名称	エトフェンプロックス・ジノテフラン粉剤 (トレボンスター粉剤DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.2 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	1.1	3.6	0.5	0.3	調製時:長ズボン・長袖の作業衣
2	だいず	4 kg/10a／収穫14日前まで／散布／３回	1	固形剤（粉剤）_畑作物（手散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	0.2	0.3	0.1	0	調製時:長ズボン・長袖の作業衣

1):AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2):AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

１９．登録番号22036：ビームエイトスタークルゾル（ジノテフラン10.0%・トリシクラゾール8.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	22036
	種類・名称	ジノテフラン・トリシクラゾール水和剤 (ビームエイトスタークルゾル)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		10 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		乳剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液	8	70
	250	70
	1000	70

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫７日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（手散布）						86	280.3	39.1	21.6	
1*	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫７日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（機械散布）						65.7	214.2	29.9	16.5	
2	稲	250 倍, 25 L/10a／収穫７日前まで／散布／４回	250	液剤_水稲（手散布）						57.3	186.9	26.1	14.4	
2*	稲	250 倍, 25 L/10a／収穫７日前まで／散布／４回	250	液剤_水稲（機械散布）						43.8	142.8	19.9	11	
3	稲	8 倍, 0.8 L/10a／収穫７日前まで／無人ヘリコプターによる散布／４回	8	液剤_無人航空機 (-)						41.3	134.7	18.8	10.4	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（µg ai/kg体重/日）÷1000（µg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（µg ai/kg体重）÷1000（µg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２０．登録番号22037：トレボンスターフロアブル（エトフェンプロックス7.0%・ジノテフラン3.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	22037
	種類・名称	エトフェンプロックス・ジノテフラン水和剤 (トレボンスターフロアブル)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		3 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		乳剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液	8	70
	300	70
	1000	70

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（手散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	2.7	8.8	1.2	0.7	調製時:長ズボン・長袖の作業衣
1*	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（機械散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	2.1	6.8	0.9	0.5	調製時:長ズボン・長袖の作業衣
2	稲	300 倍, 25 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	300	液剤_水稲（手散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	1.5	4.9	0.7	0.4	調製時:長ズボン・長袖の作業衣
2*	稲	300 倍, 25 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	300	液剤_水稲（機械散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	1.2	3.8	0.5	0.3	調製時:長ズボン・長袖の作業衣
3	稲	8 倍, 0.8 L/10a／収穫14日前まで／無人航空機による散布／４回	8	液剤_無人航空機(-)	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	1.3	4.3	0.6	0.3	調製時:長ズボン・長袖の作業衣
4	だいず	8 倍, 0.8 L/10a／収穫14日前まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機(-)	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	0.2	0.6	0.1	0	調製時:長ズボン・長袖の作業衣

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２１．登録番号22063：日農ビームアプロードスタークル粉剤５DL（ジノテフラン0.35%・ブプロフェジン1.0%・トリシクラゾール0.50%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	22063
	種類・名称	ジノテフラン・ブプロフェジン・トリシクラゾール粉剤 (日農ビームアプロードスタークル粉剤５DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 （投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫１４日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２２．登録番号22102：ビームモンセレンスタークル粉剤５DL（ジノテフラン0.35%・トリシクラゾール0.50%・ペンシクロン1.5%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	22102
	種類・名称	ジノテフラン・トリシクラゾール・ペンシクロン粉剤 (ビームモンセレンスタークル粉剤５ＤＬ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 （投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫21日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２３．登録番号22130：わさび用緑風SG（ジノテフラン20.0%水溶剤）

① 製剤情報	登録番号	22130
	種類・名称	ジノテフラン水溶剤 (わさび用緑風SG)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		20 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		顆粒水和剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液	2000	50

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	わさび	2000 倍, 200 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	2000	液剤_水稲（手散布）						1.9	14.3	0.8	1.1	
1*	わさび	2000 倍, 200 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	2000	液剤_水稲（機械散布）						3.2	16.1	1.5	1.2	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２４．登録番号22268：ビームモンカットスタークルF粉剤５DL　（ジノテフラン0.35%・トリシクラゾール0.50%・フルトラニル2.0%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	22268
	種類・名称	ジノテフラン・トリシクラゾール・フルトラニル粉剤 (ビームモンカットスタークルＦ粉剤5DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 （投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２５．登録番号22332：スタークル豆つぶ、登録番号22333：クミアイスタークル豆つぶ、登録番号22495：スタークルメイト豆つぶ（ジノテフラン12.0%剤）

① 製剤情報	登録番号	22333
	種類・名称	ジノテフラン剤 (クミアイスタークル豆つぶ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		12 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	0.5 kg/10a／収穫７日前まで／散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						12.3	40.2	5.6	3.1	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２６．登録番号22416：Dr．オリゼスタークル箱粒剤、登録番号23950：オリザエートスター箱粒剤（ジノテフラン2.0%・プロベナゾール25.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22416
	種類・名称	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤 (Ｄｒ．オリゼスタークル箱粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		2 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲　(箱育苗)	50 g/箱／緑化期～移植当日／育苗箱の苗の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	0.5	0.8	0.2	0.1	
2	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植3日前～移植当日／育苗箱の苗の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	0.5	0.8	0.2	0.1	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（µg ai/kg体重/日）÷1000（µg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（µg ai/kg体重）÷1000（µg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２７．登録番号22479：ダブルカットスタークル粉剤DL　（ジノテフラン0.35%・カスガマイシン0.11%・トリシクラゾール0.50%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	22479
	種類・名称	ジノテフラン・カスガマイシン・トリシクラゾール粉剤 (ダブルカットスタークル粉剤ＤＬ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 （投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／穂揃期まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２８．登録番号22642：ホクコートップジンスタークル粉剤DL　（ジノテフラン0.35%・チオファネートメチル2.0%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	22642
	種類・名称	ジノテフラン・チオファネートメチル粉剤 (ホクコートップジンスタークル粉剤DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

２９．登録番号22725：キックオフ顆粒水和剤（クロラントラニリプロール4.0%・ジノテフラン15.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	22725
	種類・名称	クロラントラニリプロール・ジノテフラン水和剤 (キックオフ顆粒水和剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		15 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		顆粒水和剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液	100	5.1
	2000	5.1

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg 体重/日)	(µg ai/kg 体重)			
1	なし	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（棚）（手散布）						36.6	156.9	16.6	12.1	
1*	なし	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（棚）（機械散布）						17.3	108.3	7.9	8.3	
2	もも	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						12.1	151.4	5.5	11.6	
2*	もも	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						6.3	67.5	2.9	5.2	
3	ネクタリン	2000 倍, 700 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						12.1	151.4	5.5	11.6	
3*	ネクタリン	2000 倍, 700 L/10a／収穫3日前まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						6.3	67.5	2.9	5.2	
4	うめ	2000 倍, 700 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						12.1	151.4	5.5	11.6	
4*	うめ	2000 倍, 700 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						6.3	67.5	2.9	5.2	
5	かき	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						10.5	151.4	4.8	11.6	
5*	かき	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／４回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						6.5	67.5	2.9	5.2	

6	キャベツ	100 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／３回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						3.2	5.5	1.5	0.4	
7	はくさい	100 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／３回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						3.2	5.5	1.5	0.4	
8	ブロッコリー	100 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／３回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						3.2	5.5	1.5	0.4	
9	レタス	100 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／４回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						3.2	5.5	1.5	0.4	
10	非結球レタス	100 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／４回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						3.2	5.5	1.5	0.4	
11	ねぎ	100 倍, 0.5 L/箱／定植前日～定植時／灌注／４回	100	液剤_水稲_育苗箱（育苗箱）						3.2	5.5	1.5	0.4	
12	さとうきび	2000 倍, 300 L/10a／収穫30日前まで／散布／５回	2000	液剤_野菜（立体）（手散布）						6.2	9.3	2.8	0.7	

[1]：AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

[2]：AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３０．登録番号22924：ホクコートップジンスタークルフロアブル（ジノテフラン5.0%・チオファネートメチル20.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	22924
	種類・名称	ジノテフラン・チオファネートメチル水和剤 (ホクコートップジンスタークルフロアブル)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		5.0 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		フロアブル剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液	4	50
	15	50
	150	50
	500	50

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲	500 倍, 150 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	500	液剤_水稲（手散布）						41.4	134.9	18.8	10.4	
1*	稲	500 倍, 150 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	500	液剤_水稲（機械散布）						26.9	87.7	12.2	6.7	
2	稲	150 倍, 25 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	150	液剤_水稲（手散布）						23	75	10.4	5.8	
2*	稲	150 倍, 25 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	150	液剤_水稲（機械散布）						14.9	48.7	6.8	3.7	
3	稲	4 倍, 0.8 L/10a／収穫14日前まで／無人航空機による散布／４回	4	液剤_無人航空機(-)						16.1	52.7	7.3	4.1	
4	稲	4 倍, 0.8 L/10a／収穫14日前まで／空中散布／４回	4	散布による暴露なし（手散布）						14.5	47.2	6.6	3.6	
5	稲	15 倍, 3 L/10a／収穫14日前まで／空中散布／４回	15	散布による暴露なし（手散布）						14.5	47.2	6.6	3.6	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（µg ai/kg体重/日）÷1000（µg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（µg ai/kg体重）÷1000（µg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３１．登録番号22981：ダブルカットバリダスタークル粉剤３DL　（ジノテフラン0.35%・カスガマイシン0.34%・トリシクラゾール0.50%・バリダマイシン0.30%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	22981
	種類・名称	ジノテフラン・カスガマイシン・トリシクラゾール・バリダマイシン粉剤 (ダブルカットバリダスタークル粉剤3DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／穂揃期まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(µg ai/kg体重/日)÷1000(µg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(µg ai/kg体重)÷1000(µg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３２．登録番号22995：ダブルカットスタークルフロアブル（ジノテフラン10.0%・カスガマイシン1.37%・トリシクラゾール8.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	22995
	種類・名称	ジノテフラン・カスガマイシン・トリシクラゾール水和剤 (ダブルカットスタークルフロアブル)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		10.0 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		フロアブル剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液	8	50
	300	50
	1000	50

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg 体重/日)	(µg ai/kg 体重)			
1	稲	1000 倍, 150 L/10a／穂揃期まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（手散布）						41.4	134.9	18.8	10.4	
1*	稲	1000 倍, 150 L/10a／穂揃期まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（機械散布）						26.9	87.7	12.2	6.7	
2	稲	300 倍, 25 L/10a／穂揃期まで／散布／４回	300	液剤_水稲（手散布）						23	75	10.4	5.8	
2*	稲	300 倍, 25 L/10a／穂揃期まで／散布／４回	300	液剤_水稲（機械散布）						14.9	48.7	6.8	3.7	
3	稲	8 倍, 0.8 L/10a／穂揃期まで／無人航空機による散布／４回	8	液剤_無人航空機 (-)						16.1	52.7	7.3	4.1	
4	稲	8 倍, 0.8 L/10a／穂揃期まで／空中散布／４回	8	散布による暴露なし（手散布）						14.5	47.2	6.6	3.6	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（µg ai/kg体重/日）÷1000（µg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（µg ai/kg体重）÷1000（µg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３３．登録番号23074：アトラクトン箱粒剤、登録番号23075：スターダム箱粒剤（ジノテフラン12.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23074
	種類・名称	ジノテフラン粒剤 (アトラクトン箱粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		12 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植当日／育苗箱の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						31.7	54.3	14.4	4.2	
2	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植3日前～移植当日／育苗箱の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						31.7	54.3	14.4	4.2	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（µg ai/kg体重/日）÷1000（µg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（µg ai/kg体重）÷1000（µg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３４．登録番号23076：Dr．オリゼスタークル箱粒剤OS、登録番号23078：ロングリーチ箱粒剤（ジノテフラン12.0%・プロベナゾール24.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23076
	種類・名称	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤 (Ｄｒ．オリゼスタークル箱粒剤ＯＳ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		12 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植当日／育苗箱の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	2.9	4.9	1.3	0.4	
2	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植3日前～移植当日／育苗箱の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	2.9	4.9	1.3	0.4	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(µg ai/kg体重/日)÷1000(µg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(µg ai/kg体重)÷1000(µg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３５．登録番号23113：イッカツエース粉剤DL　（ジノテフラン0.35%・テブフェノジド0.75%・カスガマイシン0.34%・トリシクラゾール0.50%・バリダマイシン0.30%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	23113
	種類・名称	ジノテフラン・テブフェノジド・カスガマイシン・トリシクラゾール・バリダマイシン粉剤 (イッカツエース粉剤ＤＬ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／穂揃期まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(µg ai/kg体重/日)÷1000(µg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(µg ai/kg体重)÷1000(µg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３６．登録番号23365：フェルテラスタークル箱粒剤CU　（クロラントラニリプロール0.75%・ジノテフラン6.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23365
	種類・名称	クロラントラニリプロール・ジノテフラン粒剤 (フェルテラスタークル箱粒剤ＣＵ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		6 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲　(箱育苗)	50 g/箱／は種前／育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						15.8	27.2	7.2	2.1	
2	稲　(箱育苗)	50 g/箱／は種時覆土前～移植当日／育苗箱の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						15.8	27.2	7.2	2.1	
3	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植3日前～移植当日／育苗箱の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						15.8	27.2	7.2	2.1	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３７．登録番号23370：スケルカット顆粒水和剤、登録番号23371：スケルノック顆粒水和剤（ジノテフラン40.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	23371
	種類・名称	ジノテフラン水和剤 (スケルノック顆粒水和剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		40 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		顆粒水和剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	0.34
希釈液	2000	5.1

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	りんご	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（手散布）						76	387.7	34.5	29.8	調製時、散布時:保護眼鏡
1*	りんご	2000 倍, 700 L/10a／収穫前日まで／散布／３回	2000	液剤_果樹（立体）（機械散布）						34	148	15.5	11.4	調製時、散布時:保護眼鏡

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３８．登録番号23372：スターガードプラスAL　（ジノテフラン0.010%・ペンチオピラド0.010%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	23372
	種類・名称	ジノテフラン・ペンチオピラド水和剤 (スターガードプラスAL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.01 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		エアゾル剤等
⑥ 調製時の予測式		調製作業による暴露なし

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	70
希釈液		

使用番号	⑦剤の種類	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	トリガースプレー剤	1 L/回／ - ／ 散布 ／5回	1	トリガースプレー剤						0.0233	0.1396	0.0106	0.0107	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

３９．登録番号23405：トライスタークル粉剤DL、登録番号23407：クミアイトライスタークル粉剤DL　（ジノテフラン0.35%・テブフロキン1.0%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	23405
	種類・名称	ジノテフラン・テブフロキン粉剤 (トライスタークル粉剤DL)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）						27.5	89.6	12.5	6.9	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４０．登録番号23506：オールスタースプレー（ジノテフラン0.010%液剤）

① 製剤情報	登録番号	23506
	種類・名称	ジノテフラン液剤 (オールスタースプレー)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.01 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		エアゾル剤等
⑥ 調製時の予測式		調製作業による暴露なし

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	5
希釈液		

使用番号	⑦剤の種類	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg 体重/日)	(μg ai/kg 体重)			
1	トリガースプレー剤	1 L/回／ - ／ 散布 ／5回	1	トリガースプレー剤						0.0019	0.0113	0.0009	0.0009	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４１．登録番号23624：ウッドスター（ジノテフラン8.0%液剤）

① 製剤情報	登録番号	23624
	種類・名称	ジノテフラン液剤 (ウッドスター)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		8 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		乳剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	樹木類（つばき類を除く）	1 倍, L/10a／幼虫発生前～発生初期　但し新葉展開後／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	アメリカフウ	1 倍, L/10a／幼虫発生前～発生初期　但し新葉展開後／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
3	さくら	1 倍, L/10a／幼虫発生前～発生初期　但し新葉展開後、新葉展開後～落葉前まで／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
4	つばき類	1 倍, L/10a／幼虫発生前～発生初期／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
5	プラタナス	1 倍, L/10a／新葉展開後／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
6	ぶな	1 倍, L/10a／新葉展開直前／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
7	くすのき	1 倍, L/10a／幼虫発生前～発生初期／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
8	ひのき	1 倍, L/10a／成虫飛来前／主枝基部注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４２．登録番号23676：ウッドセーバー（ジノテフラン8.0%液剤）

① 製剤情報	登録番号	23676
	種類・名称	ジノテフラン液剤 (ウッドセーバー)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		8 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		乳剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	デイゴ	1 倍, L/10a／成虫発生前又は虫えい形成期、発生前～発生初期／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	ガジュマル	1 倍, L/10a／発生前～発生初期／樹幹注入／５回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４３．登録番号23685：ハイポネックス原液殺虫剤入り（ジノテフラン2.5%複合肥料）

① 製剤情報	登録番号	23685
	種類・名称	ジノテフラン複合肥料 (ハイポネックス原液　殺虫剤入り)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		2.5 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		乳剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液	250	70

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	花き類・観葉植物	250 倍, 2000 L/10a／発生初期／灌注／５回	250	液剤_芝（手散布）		不浸透性手袋				41	61.6	18.7	4.7	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４４．登録番号23705：サンブラススタークル箱粒剤（ジノテフラン2.0%・トルプロカルブ12.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23705
	種類・名称	ジノテフラン・トルプロカルブ粒剤 (サンブラススタークル箱粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		2 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲　(箱育苗)	50 g/箱／移植3日前～移植当日／育苗箱の上から均一に散布する／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						5.3	9.1	2.4	0.7	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４５．登録番号23706：ガッツスター粒剤、登録番号23707：ゴウケツモンスター粒剤（ジノテフラン1.67%・シメコナゾール1.5%・トルプロカルブ3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23706
	種類・名称	ジノテフラン・シメコナゾール・トルプロカルブ粒剤 (ガッツスター粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		1.67 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 （投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg 体重/日)	(μg ai/kg 体重)			
1	稲	3 kg/10a／出穂５日前まで 但し、収穫４５日前まで／湛水散布／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲（手散布）						10.3	33.6	4.7	2.6	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４６．登録番号23833：ハイパーキック箱粒剤、登録番号23834：ゴウケツバスター箱粒剤（ジノテフラン12.0%・トルプロカルブ9.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23833
	種類・名称	ジノテフラン・トルプロカルブ粒剤 (ハイパーキック箱粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		12 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲（箱育苗）	50 g/箱／移植当日／育苗箱の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						31.7	54.3	14.4	4.2	
2	稲（箱育苗）	50 g/箱／移植3日前～移植当日／育苗箱の上から均一に散布する。／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						31.7	54.3	14.4	4.2	
3	稲	1 kg/10a／移植時／側条施用／４回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４７．登録番号23840：サンフェスタ箱粒剤（クロラントラニリプロール0.75%・ジノテフラン6.0%・トルプロカルブ4.0%　粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23840
	種類・名称	クロラントラニリプロール・ジノテフラン・トルプロカルブ粒剤 (サンフェスタ箱粒剤)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		6 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲（箱育苗）	50 g/箱／移植3日前～移植当日／育苗箱の上から均一に散布する／４回	1	固形剤（粒剤）_水稲_育苗箱（育苗箱）						15.8	27.2	7.2	2.1	
2	稲	1 kg/10a／移植時／側条施用／４回	1	－	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４８．登録番号24316：アースガーデン４（エトフェンプロックス0.020%・ジノテフラン0.010%・ミルベメクチン0.00050%　・ペンチオピラド0.010%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	24316
	種類・名称	エトフェンプロックス・ジノテフラン・ミルベメクチン・ペンチオピラド水和剤 (アースガーデン4)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.01 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		エアゾル剤等
⑥ 調製時の予測式		調製作業による暴露なし

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	70
希釈液		

使用番号	⑦剤の種類	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	トリガースプレー剤	1 L/回／ - ／ 散布 ／5回	1	トリガースプレー剤			不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	0.0021	0.0124	0.0009	0.0010	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

４９．登録番号24344：スタートレボンW10　（エトフェンプロックス10.0%・ジノテフラン10.0%乳剤）

① 製剤情報	登録番号	24344
	種類・名称	エトフェンプロックス・ジノテフラン乳剤 (スタートレボンＷ１０)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		10 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		乳剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液	8	70
	1000	70

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg 体重/日)	(µg ai/kg 体重)			
1	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（手散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	9	29.5	4.1	2.3	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡
1*	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫14日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（機械散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	6.9	22.6	3.2	1.7	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡
2	稲	8 倍, 0.8 L/10a／収穫14日前まで／無人航空機による散布／４回	8	液剤_無人航空機（-）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	4.4	14.2	2	1.1	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡
3	だいず	1000 倍, 300 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（手散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	9.7	26.4	4.4	2	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡
3*	だいず	1000 倍, 300 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（機械散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	12.5	22.6	5.7	1.7	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡

4	だいず	8 倍, 0.8 L/10a／収穫14日前まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機(-)	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	0.8	2.1	0.4	0.2	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡
5	えだまめ	1000 倍, 300 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（手散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	2.5	26.4	1.1	2	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡
5*	えだまめ	1000 倍, 300 L/10a／収穫14日前まで／散布／３回	1000	液剤_野菜（平面）（機械散布）	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	7.5	22.6	3.4	1.7	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡
6	えだまめ	8 倍, 0.8 L/10a／収穫14日前まで／無人航空機による散布／３回	8	液剤_無人航空機(-)	マスク１	不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣	マスク１	不浸透性手袋	0.2	2.1	0.1	0.2	調製時:保護眼鏡、長ズボン・長袖の作業衣、散布時:保護眼鏡

1):AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2):AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

５０．登録番号24347：ブレードスタークル粉剤DL　（ジノテフラン0.35%・フェリムゾン2.0%・フサライド1.5%粉剤）

① 製剤情報	登録番号	24347
	種類・名称	ジノテフラン・フェリムゾン・フサライド粉剤 (ブレードスタークル粉剤ＤＬ)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.35 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg体重/日)	(μg ai/kg体重)			
1	稲	4 kg/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1	固形剤（粉剤）_水稲（手散布）					不浸透性手袋	8.2	26.8	3.7	2.1	

1): AOEL占有率＝反復暴露量(μg ai/kg体重/日)÷1000(μg/mg)÷AOEL(mg/kg体重/日)×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量(μg ai/kg体重)÷1000(μg/mg)÷AAOEL(mg/kg体重)×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

５１．登録番号24413：マグァンプK殺虫剤入り（ジノテフラン0.20%複合肥料）

① 製剤情報	登録番号	24413
	種類・名称	ジノテフラン複合肥料 (マグァンプK　殺虫剤入り)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		0.2 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 固体／散布時: 固体
⑥ 調製時の予測式		固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg 体重/日)	(μg ai/kg 体重)			
1	なす	5 kg/10a／生育期 但し､収穫前日まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.1	0.9	0.1	0.1	
2	なす	5 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.1	0.9	0.1	0.1	
3	ピーマン	8.5 kg/10a／生育期 但し､収穫前日まで／株元散布／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
4	ピーマン	8.5 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／３回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.2	1.5	0.1	0.1	
5	きゅうり	5.5 kg/10a／生育期 但し､収穫開始14日前まで／株元散布／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.4	1	0.2	0.1	
6	きゅうり	5.5 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／４回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.4	1	0.2	0.1	
7	トマト	9.5 kg/10a／生育期 但し､収穫前日まで／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.4	1.7	0.2	0.1	
8	トマト	9.5 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.4	1.7	0.2	0.1	
9	ミニトマト	10.5 kg/10a／生育期 但し､収穫前日まで／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.5	1.9	0.2	0.1	
10	ミニトマト	10.5 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						0.5	1.9	0.2	0.1	

11	いちご	40 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／１回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						2.4	10.7	1.1	0.8	
12	花き類・観葉植物	100 kg/10a／生育期／株元散布／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						17.8	26.7	8.1	2.1	
13	花き類・観葉植物	130 kg/10a／定植時／植穴土壌混和／５回	1	固形剤（粒剤）_畑作物（手散布）						23.1	34.7	10.5	2.7	

[1]: AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

[2]: AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

５２．登録番号24530：オーケストラスタークルエアー（ジノテフラン9.0%・ベンズピリモキサン10.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	24530
	種類・名称	ジノテフラン・ベンズピリモキサン水和剤 (オーケストラスタークルエアー)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		9 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		フロアブル剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液	8	50
	16	50
	250	50
	1000	50

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(μg ai/kg 体重/日)	(μg ai/kg 体重)			
1	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫７日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（手散布）						37.2	121.4	16.9	9.3	
1*	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫７日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（機械散布）						24.2	78.9	11	6.1	
2	稲	8 倍, 0.8 L/10a／収穫７日前まで／無人航空機による散布／４回	8	液剤_無人航空機 (-)						14.5	47.4	6.6	3.6	
3	稲	250 倍, 25 L/10a／収穫７日前まで／散布／４回	250	液剤_水稲（手散布）						24.8	81	11.3	6.2	
3*	稲	250 倍, 25 L/10a／収穫７日前まで／散布／４回	250	液剤_水稲（機械散布）						16.1	52.6	7.3	4	
4	稲	16 倍, 1.6 L/10a／収穫７日前まで／無人航空機による散布／４回	16	液剤_無人航空機 (-)						14.5	47.4	6.6	3.6	

1): AOEL占有率＝反復暴露量（μg ai/kg体重/日）÷1000（μg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（μg ai/kg体重）÷1000（μg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

５３．登録番号24608：ブレードスタークルRゾル（ジノテフラン9.0%・フェリムゾン13.5%・フサライド13.5%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	24608
	種類・名称	ジノテフラン・フェリムゾン・フサライド水和剤 (ブレードスタークルRゾル)
② 評価対象有効成分		ジノテフラン
③-1 AOEL		0.22 (mg/kg体重/日)
③-2 AAOEL		1.3 (mg/kg体重)
④ 有効成分濃度・含有率		9 %
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)		製剤: 液体／散布時: 液体
⑥ 調製時の予測式		フロアブル剤等

【補助１】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助２】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液	8	50
	300	50
	1000	50

使用番号	⑦作物名	使用方法等（投下量／使用時期／使用方法／評価に用いた使用回数）	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり									備考
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	(µg ai/kg体重/日)	(µg ai/kg体重)			
1	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（手散布）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	3.6	11.6	1.6	0.9	調製時:保護眼鏡
1*	稲	1000 倍, 150 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	1000	液剤_水稲（機械散布）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	2.5	8	1.1	0.6	調製時:保護眼鏡
2	稲	300 倍, 25 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	300	液剤_水稲（手散布）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	2	6.4	0.9	0.5	調製時:保護眼鏡
2*	稲	300 倍, 25 L/10a／収穫7日前まで／散布／４回	300	液剤_水稲（機械散布）		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	1.4	4.5	0.6	0.3	調製時:保護眼鏡
3	稲	8 倍, 0.8 L/10a／収穫7日前まで／無人航空機による散布／４回	8	液剤_無人航空機(-)		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク１	不浸透性手袋	1.5	5	0.7	0.4	調製時:保護眼鏡

1): AOEL占有率＝反復暴露量（µg ai/kg体重/日）÷1000（µg/mg）÷AOEL（mg/kg体重/日）×100

2): AAOEL占有率＝急性暴露量（µg ai/kg体重）÷1000（µg/mg）÷AAOEL（mg/kg体重）×100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。